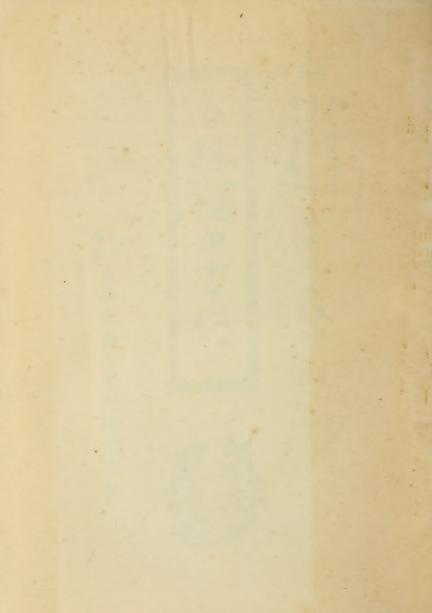


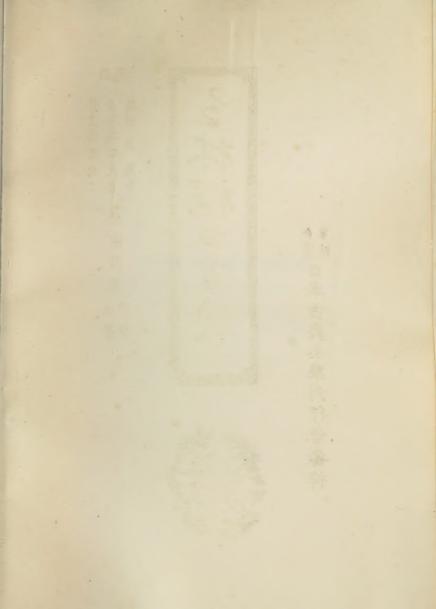
RS 180 J3Y8 1936 v.3 Yurin
Yurin Fukuden ho

East Asia

PLEASE DO NOT REMOVE
CARDS OR SLIPS FROM THIS POCKET

UNIVERSITY OF TORONTO LIBRARY







問顧

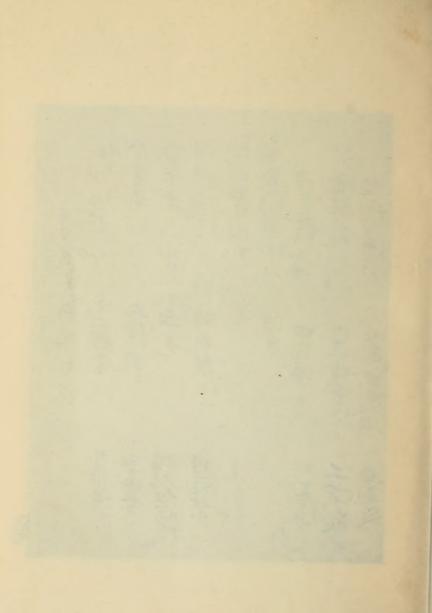
新村出 先生

正宗敦夫賴等

會其日本古典全集刊行會壽梓

RS 180 1348 1936 V.3





空腹 常下者 七宝老 運時禁 著心面 指衛云 内系設 加城 血色者 被血禁 四份湯 九痛者 好 益病者 至支 的疲禁、 带部

產前草色 十七素 思祖治 庭房门指奏 產前十八 行 府服集月取 いる 会男女 勝みる

繁產 龍店 養養華一篇 粉產 でしま 所死 京古電 入月用 如贵湯 惟生多 調中湯 大皇等湯 五積、鼓減 学主生大古意 記記 養後諸隆 高级最 高级场 高公言 葵子思 高级数 如何里种数 後檀法 胞を不下さ 社心场数

養養信事等 名方致いい 心情病登等 修好方 のの一方文文化 新產品京外古 多香瓷 赤和放 かんにう 证 老林 - でとを 地震 ア 市西書朝い 等意味外 度是京 の角を内式なか 性に放 必要で 度積山 小果树思 世本与成立下

滞解顺衡 門高小学 有里邊



1治療でることとしているがあっていまするのですとう 震走 是 柳花 人有了我是 不能不好 京州 有子所等 我也以不是不侵情以於 いてきることいいつころりきる一年金方る助人了病 養少男子。多与一九二十倍添了了一日亦可以去下人 語言 更與人以,都係以作以為中民人 大一、私田方公子九

十六族、同上 又於子道十十分一三十六歲 首七二年下 小小 色、おり下三物之初以中時間 をは、サハノ月ル 八海市 六百 二生 上答 為傷 三国 是也 計歷 的知少了干人 改 心干的

200 三扇為 不生儿 るるので 等 直不通 是

()

所言以方 塞拉正你一前属者 成,病以生之也 衛生方衛派住脈方的门子声言或之十至 ちるすべれ、名品味、「よこら」成、ネストとですす 皇方信之言, 行任虚林人风光的给: 是了 常下者 學稿沒相當了下, 四一本下十五人 - Fred が、場下

我的妻 己行手中的一不言 飯面了 文字 如果 一班 一一 一一 一一 一一 一 当三年十二十 第一个 節病 とな 大手 一川 成 失病 主 方是你所此, 座於,

0

はゆりそうあいなこととして上下りせるういと 多方面是似了玩物一一切一大概的版 ある 生きとんとして 生を とをりとれるのは、一天夜少天久院 新其、所下提出於好什么、不至力力了了 1. 1 空暖

又多多一門十八日門門原學了公三三十七七天 一十、これをラシしアリンというムコトナララしぬ 中でいありもうなくかもういいことできるとういとかいい 問了 迎城·是又不以前,一八八八人 白るからりましてうすっとかってまいたとう 病十一大きの底、外内ですが、こうのので 又をねべりの一般とありなると、まとうとうというと りていないは、いいことにいっていいのはいない人できた 見りをりはスし

は、暖と、夏人があって 松人等血虚、假、所引、一元起初之一人 元子成了年 江多一問題一根二人又記事以下方 至了外五以内市 三版法言教之 大三民然此 智的を的変と次は 所,勝,鱼肉:中京自然是了一次日子之前 放人立法 不正教心面可行 鱼少千鱼林之小 ツノ血ノンニアを進ってることでいいて後り 破回禁

成了上 さいとせらうちのつりこれりしゅう おりっとないと 九級人人後的小面子在文書、自己其中在了人名了了 あったといいう三月度しては 信光婦を被人女子、月言人表時級ではついろけ 久岁的班上了 四首了為人 外作的二十一万町以前之子、小脚袋子及し 大多山町

い八八

京血時大小便"是多多少 店可放好及一京北上三致之外三 直打方指所 不掉金正正教 點以 ここに 以就差での一天ノアトナは前ったる 事和 遊送教 大分大者の こういわかかったかり 近一光沒風和一度散 之其然 人をものれ れりかく

マネラーキモダーしまっていいろうろう かをつていない ではくらり どううのいけに 唐文無意、「小八八十十十二日八八十八日司 海海血三色血板一种教子布中項目了西心之る いいるとこりつりついりがかったりきついていい るろうできず 白艺

但是販方在我一旦多大五十三三八十 1-16 言意はつる下さら 上地下的人方言 W. 介,等以至于三个合作正明中中上了医司刑 一般学之形成以上一大学一同此老女子! 2 できたなべい N. S. か内に言語 ながる。 清南 とん 三 私脈 皇の食病、脈た ちゅう下夢とら 卷後以為人作之、看后 不生 大多なないるればは水一選手大力士方、変メ からない できょうかん あれいより まかころいりこかいかく 學者,調量一至近所看人衛任應模以用必有 文文之一下一人的人成而一九川人 三十五二十一てい、日春日を衛成をり 金のこうこうとりまとりまに焼火とい 四的学 為方方

麦厂人 又原型アテートメルテロちとかり中飲水のはしませるかな 上、一、农业休子以川三下五丁 遇怕力方三人後我 學二十一月七 易尚方元 的黄素、二六了 又 方言 如都言 又 如亦向于 前中下上去六 又大為于其原之了加如不及高多了 大三、から木 後中でリナリナルタッチをこれからい かり 文章 五、他皇馬丁

」とは我時天形不不一点 かちのの 大八八百病 人工如三五世 不動了名名人 又ぬ人ノラーや方もる家と赤いいまあると 又庫村不明以外外分 又実相できまい、か然をとんどは、 又はちゃんと でれいけいろうか 文作縣/的部一不正 五下二方之支、我家下 又图型、成立大大大大小学川下リラグ 之版中到南少天物不下去三分多為 然不行之 直打了一下完 一門馬

之任言 時可不容以 如义素 やなり方といり帰血しるか まくなったりつうちょう ヤヤットロフスラろう ノホル内いまきこりつきりはいちゃししまりては、りついまする 殿支傷 新方血素一方多少行任虚核的水色 在像ノイランとう十子いってするる、麻麻中大阪上江 うっとしたりしいアリシのるあ、断版をいる及 えのれば、めんしてなん、 るるる 可野事和 わるる。 艾芙季 社の言言の

下十八人アヤタリ小原の不明後又考記、其月面、多 はなな、春は方はいやちり中うな神でなり お生型ソウムやきってい、昨日、きち、 方祖夫ノ各水下後水一直西南西 本子 大丁 らずとうしれりあか 遊水,日三夜甚年之三夜是水又飲養一也了八 一面的意中的 私的方的人一切力量不成核 易如我 為人一百病以名之軍 養後以際以 松丁者 ける了 多级中面 白芍王素 教教養 教養主

たのころうこまトックテナンララかといういけまこうをアラ 七四年三四次ノニニーはまりんでは か信意の時 方次完了一次サラテ·三人子卷加加州之前於言 こいルマ人ノスよりせたこう 若不 真、迎寒去不能非 おいる 乃王白宝 松八子十三五五 温輕陽 老前月人大艺初歌都不了了 白的小三五 新言二 三等我以人中一等一年月月八八百多

大きの変ないり、けってをきまり いろうけりいまうなん 左次型ノ三氏せり立今入了安ル政派室になる 前中一下四一元人之一一一八八月十分不明 的节似病的 超人 等前中方去之 多 多级子 川多二、大水方 松榜京中 行為京 公司打了 する。「するまえる 北地は 古文意と名です 白艺不明的小時人多

青里等、白熊下りで病いとするちゃを十張不り 有的数 人 一 下五時五日時 启力来师"多一下一三一白房"多下 后次也以三的山客爱想· 以小三三之 五怪歌是日子大包以是为情人人情以可是 で的する 主义教 第四十二三至联形以上之人多 る所数書 竹精る 後ろう

上九

若付下 作 とう 双病 リーナーナー 教育した 一切一点年但外 不到一又多病而是一日日子 おまいカー二百七一枚入りそうとしては内不之 ずれいあった 右手プニなってあう下 下了人人 本人不会的 整元 老祖子名云 山神教 男 松本之前果上的 香竹子 製ったろい カラー 新恒元 年交为 大有的四三人 外宣子

七二〇

大きうヤ三年老便事成月經版布の場を回過して 又多かり下ることは久とる上、久本白帯にしていた 血ラヤモナンスラッカスカーノの第八又意は子 右マネッ れけること、又も人は年からまりとうとろうしてるできて そります初子ノスなりこれとこれので来のとう ましたないりかられて サテー白ノナルニテモカハラッキのもできころテヒステトがあり ヒメンステニスとテカラノト枝テ田できまいでするり おうするるというとうよこうもやったいないと

五色1地色了作人几香附子、四季二十年的 大九十年飲まるとは何まででありてい、北方は、 え、北京赤水子えからり こ丁病四下れ ううろかやらうけあり空蔵下去うろ的服りせ大路 おナハミアナルキナミアイリテ 四クラストカララテアの桐る 右投資ラーナンキッえけっトア上ノニはノ星ノきしえ、ブラ 放飛口をサーはしてし、いりころのりかつりげん それいまった「かテケアリックランフリノを青ら一ちんかと 牛膝 馬多一在了 七枚麦四八人人

"一大小林子之 和語方: 吟きぬ人」不可以月、ガリ不動する 右到するなせらろ、人人でを大人に 豆花不到, 我也上新鱼上朝付了九病了多人 行行生り水でいき人いったん ソ脈次のアラとれいきまり、チノミチックにそう 五種教 殿四治,吴東是小清皮野城 松二湯 野学書の空川上面はノラス下海シ 为了 我发 北京西部二十年 中至主意 おうはまぬったありをいかいここ

七二三

一大大人 能下四次 至小分文式以流音版 大小 電子形の下 は 水子通 化不通 红国五学 惟一在人 トナリトラできたが、又加人、表ノり、かりといいい場 君来上海アニアロ米於手根之之人地布置、龍子 正方 原门文文· 三和教是花 意外 意味多了意生三方方時 松山子 京城市八人八月成人公子十八十八

社並 胎動不 俊传 脏漏

(智勝ツ南と 又思国子順 滑胎十一花隆多、原門甘意食 又成らようりいろう中できるがセメホメトマシマンシラナス まるいまり作、疾り作に宿かられり子でかり次し 加宿野古更 生力華 馬梅 同美人作受到 とつよりりょうヤマを一度方しりともノリフノミ 恒心二味あ 好顺不語 事题"到我一下了多多 悪門路 直打力力ラマヤし族 次ッイント海 項核 新產 暖胎一人接班

二六

多天で 张春月的月祖母生 後"中了孩心方自此一个十月生一九十八名之 到上脈一 又関上脈骨さき、るうトス 八中ノ脈教 文社九支八胎脈 又九月 以をするいる。ナ月、メケ

七二七

又經五年 を方まる かきトンさ たいらそこ るえたれていいとう小ないことり 小海小脈動華子名、玩了方 三種でれいない 後"主史一在一門被不明 度上部三面のより書三月丁 七二八

から 新ラカ科学

好る不回形けせて七三や

疾注テイリ四股之力多 至三丁的物了校公为以方方之三八月 多人に おなのとでは、七カムーす 青行りはってりょうちょう 限文局 テなる 妊娠ノニニに言いいとして八月" 白花ではまる村でする 人参 陳皮 白木 直门气出家 原引 竹花は 妊娠ノッパーメカスマルスローイララ 西田台方

石文四万面ラ を作 山まり思言 そつよっかうナラろう 宿砂な あせす 生がりきろうしまんでもくろ 胎子 苦病后 除部于股南 只以茂一味の用る 五旅らかっこが下かようろう きりかったろなやしまりゆかい 弘帝 乾 药 塾文 る

一頭五岁小双京老己老三年 不不行城家人人 かるこはりといういかとうこうこうこと 父れこうに たまノーなできりニテクテン下活方のカー でえとりてかろうし 松枝 香竹子名二本 村東 るま 方まり二ろっせる 积裁前 像班下九月月後回了了明明 入月用某 今金元春ぬいを精成り、りても他でする け、スラあるとは

明子ツッち 方主ノ三代からるい 海水百一方的~ 安林北 こ及いられ 年了一大十一年 時心である 奏子男 都看了现在人物等了一本工工 松一数 ぬ人引者了我日本下一月六十五 称句以了 茶子的しれい 甘電 院生場 尚易市多斯孝之三百万代七七七 三丁三三天

以出表习多久 南事為一方変以テ元为了信生場一名テ州 方まり一大八四三丁下ろまるでころれの一意 様七及、年中学三大りと、ろうろう ソステスランテル、ツツス語一ちゃいをっこうとい 版中、天しの宝スリカナシラい デッツアル以外

七三五

- おアナノをノ下そいでゆる 又テをう 声歌/楼は倒りいまご光のといいえてで、テッ先のいえをかりで、アンカーナー 治ヤナテスノ三坊手出一方面東海南京ルで らうこみするとすれまりらうりからし又後の以称さん ロキュラリテゆいと 又逆生る方 いでって、足ノ 年前ラルテ子ノをミッサスアーニッキスでころう 引作人又歌奏ラモルタ 又、精言月子 ヤメれノル 了人的衣不下 記花以下意方、一條写人

とういきはぬり ちりもっりからるとりしたけりとれた 又多里和敬少服了一万八六不下八马方八牛膝馬力服了 いて け方とすいあったった 千金方言 牛膝盖 奏子一五 虚奏帐五即人 又方 苦玉林仁三七年 高りよっ 時月るとりううこう 他下いろうううきするる 右所一番シップハ方、をフコンテ三度ルマ 何な 脱衣不下がらいめかりまでるか 里豆 百对煤 府死

又成了一大九五二十二十二十二十二十二十八日本 又方、巴室一极春、多、 又言意月、多え、月天八品が四天、たりろう 左者何ラいうをプル、三のるい 及方水銀以大豆分一极少名人午至小三五水 又横道好是人方之文子不多的天人版手了 大里言 台院を方子不可能を除すと八十智子 養子 五 可野中山

,方如到于東ノ北之 の下の歌奏ノ去良 "你外了陽的人落場。合於了男形成多 八五一方多 同小意内寺男精在下りいし、日成了 いる湯かりをうちるのをういるることの 在我成事 隐精光,至了信回後,然八精而一一一 等。 作四光·至了陽精後·新·血用了特、素 アルラ教務的は おろけすりすっと言い人きすらし 產移 三點 乾船 传,男女合二情妄想 男故成事

又可考之兄好人等後至于新次水彩写的 九 章後三主後並防病 腰門方子中内こやろう 的另一一大九八五年宝 八月年 中からすわれなけれりろくなって 军主 這風

又看時房中村一一一一一一一一一人一人 又看は、断下のうりとついコトハアであういったこ 发现後引以并水少少吗多,正要中心不见。 拉京 教起意 りかった。たう生べ切れるいけのこうらえ 場の北下の大所下、地教をうきテアラデは湯 家がなるいで、あり血学、さいかと ·又看後班菜 九春後七月内八四点去 たかだ 四書 章屋 别食

一又奉任"倫力力計刺出了布、血風人 一種之のうる只個和ノエラ以了街方次了か好福 達成於十方作陽便三成 断で けりかこと 四二 里神教らん 又同時以方至產後三常一時少人至。图》是下人 又るが、クラリサスといいけんえいあいまると思味ノマ るりはアマナなりカケテソノスノカラカクでしまうりい 是後籍路 马下松带了新莲中面下了多个人

四四二

一美方言是因为小家相母中心爱多意 又奏修、到付了不多、我回了行之主以一个限处表了 鱼歌 好度ラ乳けらうないのではらこ せたことの意のは、そここのはようなられたり 先意示四村的ら 一子人多る的教 直宣觀 カチでれれないまり面ノミナラブ、四大はるま切したラカラ ラケイタイテかう まりつる 又をはショリサメントンリ 大豆香港 夢行をでは、ところで、血アンリダイリなるかと、

ありろう 右主ノ一豆計、街天子皇丁中、少ろいやとう まるありしゅうち カアキマテナムのこ、千なら 明天常子を言る事でした他のはこぬかる 痛女子私いる事 多なで ちょう 又方赤小室ッまノルラルマ 又酸醋少含了面:此少了了 又种的主がとうた むいすべたからろ

七四四

しめつサルアントラモショクラス・フラウルーラケス ちょうごう リステイスラライテナラは一個のでは、日本にい あしん 二方ちうかる ころろとのアナラトマナントハトホンスリテる 右はロアルスでもニャンストはアルを持って 八月二日三地一个方面的一是任心下 右は黄ゆりけるおちっちょういけっていろうる 住、当了る」まられるり はらりい 城里神教 一声好话病少人多了多 多四 名字 以友 以子 北下 世色之

からかれてきるよ 粉にりかえある 心るないなったでしてりをいかううちことろうの 引きったなる方里は教う用 后主人我之后面,是一下多病、之子人在 唐作·衣花新秋、晚不了了。直到10月十七年 湯使 胎人版中于死之二四九面手比 さりょうを何 るかみずずれか まずから、ある、ななべこと、行るとうかしい人 多面 白芳宝 趣乾地意 精黄 北下 竹夏 乾空台子 里至方がち

ヒーキトラリのよれえとがほるるはかったこ か號的まちげ本見ノ愛かりり 中八子でとうちえいいかかま、おかりなりにころな 大俊科之言、 如本二末主的 我我一家的多 血ると丁血多テナトラルが持ち、いち 西朋名 と又多一多的地 過方とり大手病 か受意りま 面り作 からかり スハウラこアせんこかんたりらまれらるこう マラクを 名言、かれをはないまなりに

ごれなるべ 平不下京外看,是知事洞了 時疾れりいはするプラとへいいするものちえ 院は中三うれてといわいすうつかれるえるとなる 里神教大神 到去 できたまでするいからず 福はなかれん 又陽使 難看 接唇 追產 中春 胎死ノ版中のうる下ではかりできる いす子はかりの方はアーするのするるる方は か動的云事ると称言い

中孩布了多名 ナニルは、空三り大変の長いる掛えたいしノい 八年鬼神中是少人和一名小班 七四枝八百水院一支小班的白宝八名百万四肢中人 九看月六下不被 六ついりするたしわらりり カロカナナシンと、けり血はトムの智陽トたいけし おしいしちいけまりはノラーイ上後をえること 時間からかれり サーヒトミを

かヒキアリ いっろとっくいからう 大中のようなマトリー、看り内できるとは、こ 中六口島中、里人、京然りいちろいまる るま 着了 歌麻りる あまっていばく 中一三年不見ましてアイスハーもひろりねったいる 十七作中、今年十八日でラアテいるの 朱成元·禄子的的 的 ルルス でわしていこり 少ないないとうカラマーをできる外で 下ラリ 後了病した回版しわりるか三年月十二 中主朝之君子子子以外以外以

三分红中風 しょうしゃりついりたるえ 成年不可 ちしろする名町を 方分别学到像 黑种教物人 りけられてないようしと アーしいせきれてき かにく るかしサケミるのは、ラングラテリシのですか、又 又アヤセ ハー・ハー・ハー・ルー・ルー・アントラーを三丁 多江 付子以外では かんをみころ 川のう

ル はまいま神教り版とも更かれてそうち お公之ノる水べん水三を光了一一一変メーシー 痛りんっろういけられるのかのかでし おかりるは三氏がち、女がれれる る的教子·言為院室正を女版中行動 かっきてきっちりろんい 動的散送寺方方 一大なるころうでをりろう 松下松下香 大致 不等 村至了 七年北黄三方

「ちま、まれいからる 大年一日、各限三代的一天三、のラモン、愛、松服 大大大三年一年八月日本大き二十五日三八八月 下三十九八八一奏味 アヤカノなとというるあつきはま あること 大意以外分子之至一一一一大意以外的一大意 上面は我 そんです きないかり プレトラとりまする 多名 日本 多级三文 飲夢為る 七五三

ノカル、其中というし、うつけから、ことはついろ 上了是一大经察是大方利十七 三八又赤里了多人一又對字旗等意 石水 教了水土生活不力力技力 東西分子 古かうでラステ三はりにりますること 事になりいれる いいたととったいりつ 作用 春夜、宝新 用水 下乳草等的大方的小语人听了那些方 在次 一年 古土日本学、東京人生日子

方変がしまりいまなりはないとうけっちょうつけ ちまった。いかいの、ここうり あいっちり をかる 医院 一座後海岸しサリックを勝ちまり不同的方 海光子方人人多成一的心面大方 海後 春後等後大平 松十十十五十五万万万万 高寺です らいかい 立味子ます 落房 始保方,此人作作以行者追 意味 蛇床子石 所格三面 右水之外之是黄水山方

七五五

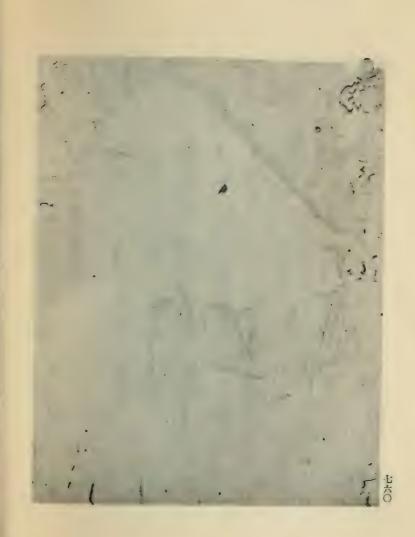
房形又人以不松山東 山東、又名法 右三天 ちゅうで後、宝一が水中只不服けんであいたあり なせん ろうにいろいろいろう 上ニオン上ラニはいるのかかったるのだとス スラカチを言う水無素ノナガリー麻はかいす一日と本名 SELL名という名。三は的「てニマーケー 右手、大意以後か神人 方方へ入り取了一次かとうまとういれたかっているましたし 李高林 无极人家人才多 新走出处人外不在 的 金子放纸点

三百十二日 一万九十六 さナ四日 局が八月 平二月 一百六十日 九十二つ日 きる女が 九市る 一一一一 四家 上氧也若者 差者体担方 = ---二多 不其道服外家村五成了 生肾 生打 SE KE けち後た 过隆丁与此次 泉山の赤

二百八十九日 二百名六日 三百二十日 九小見生了三十二日三七一支、本宝ラ一萬十八十支 都是所以爱意小的这鱼服了蒙古 二年 又三大意 横下台下方方大小茶 以外於此一差別年 言意能可吃風光 一家元十十二六分美不多 夏花り地的一条地 体教テのキトモノラりの直を伝答さ 小夏生大肠病如而行 十五支生高不信服的一分吐到 九元文

春是八代病院,且是如一层之初)身是如此也 見脉帶學生 又再至一至多的老系又多的我不及用也 又一至少如此大小人的五至少小大小国了 五六萬、一息六至 初生、一息十至了一歲、一息八至十 三角。一夏八五 六成二一包在至是 三成心思し至

七五九



〇〇七五九頁「驚風論」以下ノ空白ヲ補フ」

敬風論 急驚風者其證上鼠反張搖搦口ョリ狹波ヲ流 壯熱。也 又左右ヲ引搖 脚手

アスにおかくのうかかかれて、 これのでは、 これのでは、これのであっているかくのうかがないでは、 これのでは、 こ

重也

| 養風者反張牙關緊急テ喉ノ中ニ涎アル也如。牙關ラモ不緊 涎モ無メ 搐 場上 電スル者ハ

未驚風、候トナスへカラス

侵緣風者此是陰癎也陰藏ノ寒氣、虛也更"瀉樂ニ理アラス寒凉ヲ以"是ニ投ハ氣愈 虚ノ洩瀉

マラス陰證イヨノ~重ッノ驚搐ヲ増ス

驚證ト傷寒,差異

ノ壯熱。者ハ 急驚,證也

落搐

瘈旋メ寒熱~者ハ

慢驚,證也

稲田方卷九

糞色,青黄ナル者ハ 胎驚,證也

局方熱論云手足甚。抽搐手足冷テ口中,氣モ亦冷。者二八切一急驚,藥ヲ不」可」與人ヲ誤。て多。

熱論云小見、潮熱ハ瘧ニ似でトモ瘧ニモアラス故「瘧」薬ヲ以ず治以之ヘカラス

私云兒潮熱ノ身發熱シ夜ハ即サム多っ是、武二腹ノヲイ物ニョル 興之効アラスト云コナシ 腹ヲサクリテ能々 取知・ヘシ 舌ナントヲサクルカ如・手ニアク ト云フナシムナライカタカイナント世俗ニ云ハ此病也 紅圓子 積聚ノ薬ヲ與ニイヘス 隔氣散ニ廿草ヲ減メ

ル物是也

ル途点 發熱小兒、冷ヲ感ヲ身大。熱恶寒ハ此ハ表證也汗ヲ發、薬ヲ以、汗ヲ出、遂凉ヘシ又一日ヲ過テ 後ホトラル時醫請表ハ解タレトモ菓ハ末、解云、四順飲子ヲ與テ藏腑ヲ利動スルて一行、クタ スト云で生氣湯ヲ服メ途上京 又一日ヲ隔、再、熱。トキ醫云經熱イマタサメス是ヲ驗ニ小便赤、故、知、心熱末サメ 又二日ラ進テ再、熱、トキ共家手ヲ指トコロ無、醫云脉已、和ス

病ニアラサルナリ郎、汗ヲ發シ 又大便ヲ利ス其兒已、虚テ陽氣歸、トコロ無、皆表ニミへ ヲ見テ其陽氣ヲ取ヲサムレハ歸テ此ヨリ全っ愈 = ノ故 「身熱ハ胃氣ヲ和スル薬ヲ以っセヨ 六神散ノ類、コトキ烏梅ヲ加テ煎メ微、酸味アルフ タリ

云小兒早コトニ食後ニ愛熱夜川凉ハ是ハ血熱也 天傷ヲイタス者、甚、多、此ハ表裏共、虚ノ氣ノ元、歸而陽氣外ニ浮、此故ニ再、發熱ス熱證ニア 何、ヤ世醫此至盡曉了不以能或、再"凉藥ヲ用"或、再"表"解、或、治スヘカラス ラス只六神散ヲ以。粳米ヲ入テ煎メ 其、胃氣ヲ和スレハ則陽氣。収テ內ニ 歸シ身躰便凉。 表熱未り解ナリ此、散ヲ用、ヘシ微汗出、表熱乃去。 湯り以養府ヲ利動スレハ熱則去。 指南云四順飲子小兒表裏トモニ熱スレ 又云惺々散熱。既一去テ後ニマタ ハ則邊身皆熱。頼 又云六神散又表熱去テ後又發熱スル者ハ 赤っロカワキ小便赤っ大便焦黄 熱。者ハ裏熱ステニ解テ トヲ ŧ ~ リ誤テ 叉 此

糞色

福田方卷九

帯黄ハ 脾虚ノ風生ス也

黄者ハ 脾虚ノ肝木、対、ナリ

當「脾ラ養。風ヲ去、藥ヲ可服 半硫圓、如*

白附子蝎捎ヲ加テ可治之脾虚ノ風ヲ生證治ス良久メ後青者ハ病ニアラス

CO以下七六五頁「小見治方」へ續クン

七六四

五香散 利力 ショウカメインがたり ノントにうてりるなるところ 東り年降二直の重和では、到病 者見なはなるかか

かかいうまり、自根いいりははない、教教をして 大震をいうくなななる。 新皮サノダイン 好、十三十八一次 問号方言 は表力一大人 北は、了、又の電で八路、扇子ノ用して行也 きろうスツャしアノスト ハナマカリスハナれるちん 見ノナトリカラテレタ人情ツ不以見三度 又着条りかきト 右北四東、各班一所海南三南河山水市震ノミア 惶哉 完一凤松下疾疹上傷寒時至 人多白本等意動作於養根等 甘草丁二末

一首市理病 大人及通は面こと まちりいをかりらう 八九十見了十分り傷寒情人震動力傷食力勢風不 後京上時奉上意味上京教也 もりらく たれり食むっちらういとなっとろこといういかい まっちゃらいかしいこうでしてく ららない、及の国了 乳をラフト時のい時川不安物面 小茶村的马克一年五七月九八萬萬萬 五十分 小り一時聖上年少男 四月清除於子小吃一点取了苦りますいりのす

一学寺の マサイトアランドはすり大便こつりりとこれとい いる好工と情景快の記り教えを方りる病人」的かん 京九十八二八方服之、又方遇出机或只然高高的多人 元ララモ大意の場合シアラスラ 多性教教教 石名里式大多个人人的时,温水 何号する政家を一八年く 多個 太年が三人は至れ 自持方方 肠病者云 公司及 积亮 すらなういい 好些方言 お子ず、大黄沙でける事か かが変の素はずかです からべる、

我如り後とみ、りょうらう、一一七大又方、下七点 酒酒 热病 眼赤電台 るんしつというらい らってんりりけるとうきす 生うからりき 水塩ありからすからいこと ちまり間でまりたれノニ南ノ見い三日ノアナットアル ありませてり、キッチ ニナリラケー ハチスラモクヤセト 麻養りあっていりきョう内とつらりいうって 是我来了 药三种 青收者京晚年少村 できれる

これにいるの意は、アスカいる三震ラ後スモヤナト名す 福成 国民外不是防风是病以西北流 了一年一大大意情以此 大黃一味 赤小 多地震了教、言者、上上二十八八大奏、七 りつうでか傷寒ノコモ 又張りなと陰野隆 お根本りからう白きをでしいうのするいまででして 里處子言は病心便成了鱼口表 内以子之子 ·胞疹論 夫表底 美爱 拉青内 出了 香豆差別 通河于三村、松月大、如西北 勝るかさ、そっとりろうな

あるいを言しえるりましりし、アカとへ後からいっ お手村草湯 着信方震をしかい ほととり肌屑 はき 又治治持方言为私、大黄品以前。五家是小學康 ころと 自ちまる 中至一方 三世代 二萬ノ交与人なに入るに ·爱出睡年 孩子三两日、如意、少吃之之 北風湯三雪了大小吃!傷凡傷寒温爽 引き たし一階ラスタステョ 又不可見不到

古野ナなノマテにこう院蔵上、林何多随 赤雀いまうれこうちにるくまっち 真是多小的地方多味 看机下去 的過言被應意 等如此一成小我以主政一方如果等 養此不 右担散、アる限大人、五孩、ララア水二為一人でせいるメ ムるサントるってかんりはん外上は 病シーナ 人三丁子 野境 存三教 東ノ教 電子に 外南 葛根 ガス 甘豆冬東 赤葛根路上发 北麻教 明東ラーで一路接及豆腐ノ

かったったし 推,收收,即三周交次等限是引起的 ましたとことでいい、コーサーだりまでしかが手だり 百一元は、無正は死、益親上、小脱子、丁葉之、次/ こういったかっちているとこれできることあるともカルカルして 文於野郎 清家、新門所信官 かいいっとうとうとうところこと かしせしつうす人いタスラナン 学者 三克 小記機口小阪和了生了一七日水明風機口思 方面的第一大意 地上

右末少三大十九十一是力情日交、三四度服 書夜トニラスは、きず一面したりろく 到天人一个方之所一上下,在死人无事才与少去了 矢人言意動見ノ下一寸九三處三世で茶で 三神中一生成的中,治り物情なかりるんでう 高里治方 小兒板皮率 青里的名人 鬼病与方子介音可见,鬼病上版人工家 好帝的方心多明是少多了了 からん、おりなし、方とろうちいる 古成

小孩子有不好了了是少好。一大家、五五百日本人 こうないこととを放けることのできること 三年るアモピガスナの月七天の水、丁、丁不能、一八八八 下去、朝養一文二十七年一下一年 力度に お事別次の多いあってるできるりた一分りはいこ 知代了全病力 的人方是病人人然后 小吃不完全即也多了多被人是是 小吃不行的方点皮数如吃三南三十 冬山 右蒙了人门一家下安 生

紀矢 大ちく 首のの方 う年雨にない 七二七八

七七六

たっしいるかし 满名 四名 ツのころうらしいである 夜啼宝云 ススリーカラ

一首小吃的生了然、金沙丁等 三 不福写老第九 己子传管、大人、以病之、哈小吃了

支明三年二月代七米度所る明行かり

秀祐

七七八

十腫水腫可見。次第並其方出之

先面腫逼身腫者、	名壽水	其根へ	在一肝第九,椎一也
先自腹腫者、	名す、黄水一	其根ハ	在脾第十一,椎也
先自脇腫者、	名す。白水	其根ハ	在肺第三,椎也
先自足腫者、	名寸黑水	其根ハ	在肾第十四,椎也
先自面足腫者、	名寸立水十	其根ハ	在膽第十,推物也
先自四肢腫者、	名計風水	其根ハ	在一胃官也十二椎也
先自四少腹腫者、	名可石水	其根ハ	在寸膀胱第十九椎一
先自胎腫者、	名計筒水十	共根ハ	在大腸第十椎六

福田方卷九

皆春類ヨリ腫者三焦、腑、傷也不載之

並「大腹水一時、中」下方

腫物諸毛、出、秘樂 上品也 唐墨ヲ能々磨・木ニ立。其底ニ位タルヲ取ヘシ 右此四物ラ等分ニ合テ山椒、皮ヲ煎ノ一度、五冬可服一時ニ中ドスヘシ

一白物

膏樂ノ様ニ紙「付テ一切ノハケメニ付へシ皆々能々粉」スヘシ CO以上板本ニョリテ補フリ 松脂 是で三種で等分二合スへシ 又麝香與龍腦ハ少シ入、ヘシ 此五種ヲカモノ油ニ合ラ



野景四 黄四

上八三

· 底線府島南干 · 湯何風鳴意

七八四

清晰能广 七八五

"百色了核了你一个一生一生人 夏安长海省方 麻丁云 春桃天太清計 ラトニとも明行 大震为持江原祖上了了一生 五流 柳花 奶粉 方意 的 一直 新教品 一有一年 十二月三月

七八六

これが、はこれからではとう方を とこれができずの方法 不是一情報彩養都未及一黃代智 以外, 一十二二人又易以外 一切不同形作了之後所右見多 高小水流 すからは 的版を切れる 一 付い人を 说下值三即以稿落作 七八七

赤老者けたり皮赤有是也 受毛不生 中一次方毛り接近空之形方住又 人一十年 生活 はないという 耳是后名 白无子為 多次、する できょう 无溪, 八九字作, 至与无 篇文取上"与十篇·万名广东震·路 精行力機亦良粉乳之是 大美五の色着

七八八

ちゃからくなったりいりろうくころうかいままる いうから 如新山田で後子生 二日二一人人一一三三三十八八甲聚日 好冬成次 は、より今子方のとうな便数常物等以 方不物多少的なとって大地子子 学, 一次, 林名、龙大樓下了 暖うな良 治赤死人 事、我 墨文末、光末 月 はあってないとうけっ ここもフタ

三五、用了又降原了一天丁丁丁的城市一 智地 、又戸金する可以方以文人心が、八八、震るるる。例か、管事 右京八明八八年 一年 一年 年 一日 日子 日子 日子 文的小見以前一小一是一一的中一一一方写精的 度納於城上 并与作以答案行物可以 夜烟牙 優大里下三當所 侵民級犯 終茶 酸感 母老子子 又去一馬路人大十十大大明和八又中旬是 意建了 好房山下 小見一動而了於一樣了生,養水門多人

古微切すべ、房上で 世芸校一展家等力技、衛生工以處了到白 唇っとうこうかいう、随うあった 多院、今茶、塩野、丁、梅菜、一个金色之色 白月 多 夏蒙八十一年 马屑 不是 斯安廷子表電小 不同仍有 治風罪を解する本事人表於人有其人 看發 语的一言给了方是是一方子的 七月経度多名とは、下、三月過り 方面 一篇明日文法

柳尾阁村前各最大時有明人 地味子大小小人の場所は、真原時は 信く見意等 支面上粉料了場方 雄気 流音、 里的一看如在一大大的方面作是有子奉 意原 好的 左等一定所 等日三七日 直地 とうちなに をえて 題けて、気からまいたったれれ

九二

一字行为上上一文 新京的 所、候、一、小、七三人 文朱はなりかったっけるとみれてよく ちきていて、アル うないというかいというというで 耳唇小兒一門門角色班的大方、 夏三 直接下方在非沙下海山的上三天 又方言、小小、水水、高季大村 華達を一分十一代子外路へ 病子作以 "我助此"家 這風い ち、多、生

内籍的祭人罪 五院系通過精力數之十八大歌大方式世 秦精治眼光不以 五精、終果是一、不明素为、空物 務眼是所外仍 五版 八元也 目病了学者行為 節精運服長行,馬不晴青島町面 胃精清子上野家人民工生活 東ラ本に伝でいるようなく 青の鬼い時初 明から、 明かべ

老一是一一一一一一 PM 1 教徒 こういき 三方の一下 所のかし 各既年 马下我们人员,我你自识存了 內情 马方松的 石脂石麻石东不禁腹口 生成 一种 烟火车 暖光者,行风 内は、大山川、一五人とも、三大人 有明日 押班司及 建五次店 からし 松生ないの 七九五

信かつうと人を人用高と海上属用管 又多物以大學鱼門即了老不久一又多四個工人 元小印山へ るけるか、一りはりあうれるできる木八桂のは あっていられて、但臣年、ま、中、りとア内社、行う行 不可以後大力学門多るで、別所金多盛了成り からないとういればいるいとうころして 清多原名思行的系成其多 原伝をハタス明り失り 多る方·旦了心经以京九年了版·其天海

九六

元子>也 八张·春 作力以 并京 情用污意如多文法 一日の日本人の民人のである。 国民的一个一个一里不知人们的我你们 ·死而一件以及 於成月子新量 直接方きを見りるりんするからいてき 文章和照然的男 ラックななど 当から、おれちなどま 月夜晴~ 七九七

こうないでするところいこしてあれるちんく 見医神系上 情告的情情不致人不知病。 台三月初本恭愿後多去界在了眼里的八 不成成務以 李如黑黑花 見震 三京 いりり明えは、あるわりかと 皆然在他"一大地也明外外有了 右京、陳、それ移納子大、凡ノ各水三十回空に温電

一個智信者如為人民 表 多、家高、多意言 多了意言、 骨、是用如八个、肾八素、天光 治之方、州西川北京了上人室一三林后子子又了 するをというところで、東京、アナラサラス 三年からいていてきるうちりりりんと 北三林西ノは三里三半年 かかっちょうち 其子り傷。屋太明、其、多有好子、一人之之 度とりかんしてきています 明一年本 松雪我 和一方文之大的八月毒攻上眼目 多うっちせっよった日湯のね

いお各主小降水上的自水黄元水 老法 污风 歌树 甘夏多小 発 なったるであると 作当是我上降的此以及清子了一一一一 右京一人一大多人一大多 ウンラのですシンラヤスラ、作者が 人集孩方子切罪 一切れる限失 VOO. 」近十十二人了多人人成小月月一神四月了雪 是加井田松为了 たい、一食は夢木、黄物川、 常信香 香附子多学の 付き二八年 又方 防風 前小りもう 白木ツい 一月月天月五十月前日 来羽成集我方言男女以外文等作目自 野家田 るできりはいるとなって、る明八 香のはる最も情感のある

一起的字型事后又 就能也是没多 魔魔者である後の高いる 「サメヒニナッチでりちょく一方前がったる 方まく枝を写四ノ特相うべう三十二八個の さりきとさいこうでいう夜川丁では多うの物で不明 皇下脱食 看上日二一下限了 おめれた。 音庫 右手一次多用二纸枪了震场的地方 多也我和新了多听住了。 安地文

うないのでなまったなり こりを露むし 白地石色明洋着一一田以上于我了了了一个大大十分的 方三石のいかのありかりるであるというかられるころ 馬子消明作者養養用意意 上一大でころ後、大海ッち村テ又人了了病後、西 全王前一切切ってトルラムアこととくろではない る林春散でありり、見知らり、高 けったいおこれ方とはるきの 白膜を取り 地不らろう

李一次 一生 老日三朝都太明 在 一次 ちはいいいいあるからえれたとうちく 有に好多 を 又方例你以下来了一好 福泉下八岁时事 かいはららうアカラとうかってこ 門丁あるり又流方です 鬼民 服放了一千年英元之人 東山 をりんだれい是内かえるともの方が 右急奏火火火軍中八手馬数火男 智里不能量等

せえ付かりるとううちできる場所 三百年大日前のころいか物りに乗り ちずい一元に 北三日三十二十二人属诸人名者又作之 新人時月·不行的·方差本表 大きる人とる人日子である たけるれていてるこけをきう 明多的意志了一大学艺艺艺 明初からはまりる方 初野 右到了了上方目ででる大方程失

一般人耳以下八人名 1事吗也重己的,心を除り分り時耳直耳方 高多耳的,外版と「人美」外号プロモハッと耳です ナスツノンラホマナンを選ち、ハノ耳ってちとし大極来 好量もちりたりテンコ 車馬 真病 事乃明 院で良 又丁木り到了公公方 からいかれてんな一丁面でて 三因方多尔意义面以课具

財友及る 若祖以上自己大孩二至天人 自然村城外三多 なかりからりでするとう時日かり けれたがないまから 都為家一句為家為其及 到的百人意、 をはいるときは ういまするかりかり ううか暖上生、は

为、文本治學方 雄黄 春色,有表 方まっったっとう一般子かりすれました一日でとう 本につたけらりつきツョア、耳に内ちり、二 方でありですりるアセテ とりますっています 一般月青 多种月 石意常各小巴豆及至皮研 都写耳平了了及,想了场 宣指方的多 養精 湯子は所まるずま 西でき 古细、研、一方、アランララ丁町七季

行人的大事地大称意思充意大大大人 金三がかん、光子ラー、ルラけっと一番病ったったで 一たんいくないとうでとうではく 千金三月十二個八岁月一日经了了一个人人人 書き、又をするこれとなるが、あるうちいけれりで トリのラ、以先ノ参補は子を良 1、多人石鱼町人人人の中的海口是四十里高 高海 は八ヶ年でんした地では、歌中で 海東·出死。日子了大

又テムノカンロテゴノカーマテ 中即我看一方方 例不之人 寒心则遇人独別請人實的過少種的教 略等於是 如血行動人所力情意之生,人躁,方、而 かかっちるところうろうとうころ フントキッテサキワロラン 第三年、用外投土日二年中的好所成石间九 日生的から方子できなについい いろうとがあるからはこすりかせんないまし シュラテラナセ

・刘をとは、降のかるでとううニラニノれるで 出 又を拿ひ一般白力をきて又てりノスミリコライテ 時為一年的心逐不可止如為下三法也上了外方 即此人是新以水頂了了人人的一是大多种人又多 タヤナまり入る、全事教育京入官 九孔如明時 年入 マデヤッラルで 第一十二個一三個以上所行,八丁門以下 三黄四 意指方言言教如明路,可考 四山栀子不为多少,大流工一性方法 所生方金江時記り時辺りる大

10、1次十二六個奉与か、 口品多限 聖田上名了 めのうろななすと大、メーロで多水とに ワテンでかったメルシテ、ちけるは一道の方、三 たまりちるとうるいる 高年前 右は、ありいではは、年はれて 展白人 遊えを京うる年う暖を文子 第一等等 第七岁方 ちらろの言語 左小門 子神を良子会が 衛童教方 はちき 子 製いる

在國方 发了去 れるらうというこのは、アラスには、あろくてきるう 第一年外 京小 はまついけること、即代上生老氏 とうない、サント、通史、同道又又思丁中的大学、思う 小丁一下心一带一個年 右子一大八星四十星 道一部等对了此多次所 左京、京、秦和等 面情 一切以了的一点一人是多数方 的能量 発皇 島子を見るるがところ 事時言かららいられる方を多

·茶色~本了好了后京人是限三所茶点了一個下日 来震、故以传"原情深人力力方包良义方机把 電気牌版通流記る東京に八里、大き時間人 三七分又能力方下各大都音等引格 ツ、まりかけってったかは、イレコ 、 在しいいるが、ないっちちかなるにかのホーインは 遍看 乾子四 栀子系多左珍格子大九人

文記一部二京七百首 五十十八八年 - 言をでことうろいくなとはアステーまりまするといでしてもの 一副一方の事中でもかれて又なりっち、すっつかりする福田 及一年一一一三年前去海部上"充义好利益活力,此义利人之至后有方本"原勤了文章五人 作多了次、イン世青麦赤面一十万五日本情水 わりけにはっていまないまれて、ありいりいきもいうからわせいる 八姓校後了八十名看外表了各事了了一切情 書がれる人気をすいりはる、此上れる際性料 服式なるはのないとうというない

又无方腹、云不及姓去与此性的唇 ・島」関語を大きな、ちょう、まとありたらと、宝 真色的歌子自我的 大大 色文言時生, 清殿かたっちはる。明時八九 情見了實法多不多方原到鱼沙 金下墨 左手,所以厚着下待等院去面 方言便是一次一一大大人 一大人 一大人 一天 香館 對意散 各多地上海精的鱼 男かたりたりちなら生力多い

一大地方、子色中をから、つるなとり、よメを下りとして リスフトアニハン為フトンマ南ナトラ 思台でく 九神、家鱼京水入院あ方与は三日、南神の日日 及らをうちえてかられているいるできってあり 又全生からってといういというとういんというできていかっていかっていかっていかい 者意大何罪了我的人里去,又行言之情感更 利者がからかりとれていて、後から 上はきっています。ありけっちゃととうととするとはいいい まちも一二からなるとうろうしていろんはんこう 不古 聖事一万多美不石老 世际次年前了一八大

一年版り生べ生をかってを水でとかろろうでは、一個方 一台が一十一十一年一名上記 青了ないが強人大、四ノを一回りるとは、強くる 里豆安地 右京生地家门老海人了 人病之名を不らいあるる書後や、難る 香船,客仁哥看一時里看不真古 名面 はあいりねべ 石地以下であるを変する。 学九多多 地展 古二五度史 財養

司室 屑皮をリスリッち作皮製 震城地 古所信以一位 四月八日降 等年五面上八二 馬枝生的方 多田方 右我力 根又同食 八一九

即心方里,夜一指一是不慎 かて抽取はことはこくもでううこりも一度をほこ 别通明你以此一位一日里人之 何为了是四四 去八子 山中黄泥古水了两种原品上无為是了 中川東方で 酸サーラ、天心の、西郷之族 為這行上人房面 透透方 機時 古熟多了多好的人不可非多 通河馬及又是了多方孩姓子生人不包 ブットは、ロンニ 又ラスニスしりノメ 日信のない 广外西 就是 中方民 大板板 八天多多下 三万野養蔵根谷の男根表の童茶男の右京東北、八方、黄、三、海、水水の時 明多了 左位了事際は後七多五年水一条日本 らかとえはかってりちっておけていいって方を方子を方ちける つり腹、人、不色ノ情で、大きった。 魔りとここれでよる 口情えるいれれ 公成数上時電表 四至 震力信用住

右揮方大片一時上一一一一一一一一一一一天一一大人 多國乃馬 蘇門 到了一大大學門為男 夏有分方面流水地を こ 東路口疾病方 乳り飲を不らり、 海經 伤路 廢務 國際 战事以及以为原 中病して はあ、時期 大ちご何幸 在美 たとりはも、分を方之方桂の如奉!

アリカッツ ところことろスと 南名 虚初 家好上テハイラ ~ ではなっていていいままれてきるうりを電ける 老弱人大小間席草田でる いるとテロ中、なアランミランろ方の吸数、甘気次 あら、沙州南南村が多くアラマノ山を電がける 马方修若流 拉师 定布 八布 种布 数有名 文教的金布之一并我比了四月二十五人又百年受人 人一大人人福初的一大人一个方然由纸素接色 的种最 各部分方八条种子攻座马军员

一見、カンマーマティア・カイン フランをいスクラ 一つかり 3 味の曲子と 老艺工

しん こすらびでころう はるい 又為耳子多方言表明此手去 うる生活気ラキ おもいっついまかいうりょうくとえいして 八代三元八八

から、いかんりいるうちっちっち をテンノ人ノマ中で入っちをかっち あっていることのできるのは、からする リナベルデノを中午をはっていているの お生まりたりわちくうなっているいいのである 小龍馬八八名我之 出级 となる一天一大

しゃついりうるらるか、一覧のせることもいことうか しいいとろうはいてあているにはままりなかく 文四次校三英世 新泰田民 之多四夜にろうか 一個人人们以下不下了 到情色要数与こ 暖い呼及りなり後でツノあんとうしたりちを 一年一般、天大大で次次であけまた、見ないこ 文月度有 頭頭 经被点、工情等最致多元 湯·阿收名藏之喉~ 用为力的图及了最快 金成を到了るですいこれをようところう いい人多在意で加度 りとごう

一大後にはまると 多凡那些京所ないととき 喝覧を大上了口明了不以水の一名下水 は一次 山多根、白来、青、花、东京 又指布、我以一下沙 かいとをできたり! なりが変きるでとうとう 九月、九八八年前七年年十二十二日日、公司 化學选"下中時不已,山豆根事要意思以与了豆 明的人不可是根 后来了一次下去上一次下板新 前方 前奏 看奏 缩初 将石 真水石 计复名子 会 以至人人一方方名知像工 夏秋 董事 まる腹外、村上 一人一人名 不足以付付け人子子

村清朝でお、州水でき、ちちいま、村子 送年方言和前以為明了一五岁未必同一同考法 ミノマキルとストトカグラ つかっこうけっこうら 吸入了的被此心便可以可喜名以两時不久多死 後の一個後にころいろけっていらことの行がでん はなとちょう うまりかとるとかなんで、吸金人 受情敬 吸片以 百 思表方路河 人院動方人其事。 第一次人名 以代明年 班河南等 我一场人

右名下面一维于意识史、格丁一传、气彩之多 罪是一人是明石就於 三三里了茶一定 又方三里流 三七世三七世多条 動作康宝等電收 アものりか、光をからいありちなノヤノ下のは 外ララッス根ナンラ針きをおぬけっりっかいかい 引於一股/時病为·男·左·大方中大方 ·神弘 年代·旧修 田院田院及からちず 水聖場 不知方文的故事到四班之前

物方方言意為了河でる人為所生方教教者 又傷寒冷。写明有言"与人母好校,奉,尼在 東の数でするかずいるとののりかったがするいちを アと可笑アルラマキ まりかるす 暖をににありかったス 同人的院子师在一大大多年的成立力等五人 のいで、もえかたうろと又難考方四老湯、であり かえいつりってりとこ みるおようういりのできるか 中央的了好人 おいりょる明子は少年 夏、万日子三川 了十二年中的人又伤息四年至人 有度与 をから 横四、ジャームすっとラードイデーはいたしてい

外承 射下 力等、 いるといるをう から何の何後ノ府 ゆっちく 分成为 江北人大人 服して、好しから、又大要しかまったこれへ又を見 おまりを限三城ない時、ライメノスな麻一味 ツーととろうわえる「子付き」という 等一件经历行名 作题 医病方 直括方、出种语方 佐後属三年一時五十十二十八十

八三二

ちまりかられ ソラ野をラースでをを 又方何後人之後に りゅう 地名石二次年 白題をする シンは体ツミナないすののアヤラをソニを 左は被がおねりたからつうりまするころできるころ 京的一生好多公司 的人名 人名英格里特 は、これのは、こうからアメンラで、ま、社会とつのゆう 成情意 知答石及巴思干花 右巴里等了

る河となるとはを慢 四かですれれるいりうらいっち いた勝不れせるではたったってい 一番うちゃしてい 松大の青 八三四

ではは、まるとかたうのうだけナフラテをすること 宝少門テロラマイし 夢震見時根死不多難いり こうなりまるは立てからなうであると えいりりつかうへて他に関うないえているというれて りはいつやラーハノをフタースいるしてもをけて各方 福道多方 又四時八十六月三量八二日日内 食入了碳災後 意場 後所方き雅的八陸書、水下的いる できかかると、雅口、風を外、人ういか

新大的追安· 了方数 門の五小水下回金 水もでにはしつまなせ、可なとしいとえをかき 大村をりからま、いくちかくるいえいいろいて、きたの からからいっているといれることといういともか からて 又付多一年の選上人、限习風者其行り名成了 とすい 古到了廣美人而一了眼等能更物學 是李隆朝深 尚多言一切 思枝深聽頭面 好体場 千里方名 雅道教育 北麻豆 左边了爱水苦怀道 造作力 あっち 南馬方地で変

光行将要之道作:二日、在山門、海声吊る 八舌 東 堂郷 肉色ですりにいたっと るだちん、ちてい 了中日日明日 間易方三河 西考以为三月 秋ラろ院四十ちろう 院成であいりうないま全面でれるいである ちいけれ、いろいけるとろってるきいいは 三月限ノ下アえる 暖い青雨でたちり 呼るるなえるよ おでうないたってい 破らろれあっるとろう うるころ生体

一意大大大的地方是是多人不可以 又了二日 以大公 五方連部の水では京早版を、いまりは、き夜 多為一方地村三国方是西京城後的去人 東生内了我一名特心了四番了至了是不多考慮人 あるいであるときを用表であ、又多けらいにまってっこ 右父旦ノる水で以火三番入了三天ノ空でるる水 天河東等不知像山人人成又的奏者是意 直移元、为に立る人性を自はりかりとう、以方銀 大きいう 見場でいちもいれない方にちたるあし が通 初後を表い

中以下は、年に るちが雨に、まる方 一般三元人本人与人大天文主要 連動院方元主意引力 こいですこくことは、又多の中かった。あろうろうろとえはノ 专作知為以川、新空苦了好少至未以下之及便春吃 あいけっていもようりあいここうでまいいられ、時温 上九八八年前一三角, 及三三八字九子石五 かけたとくそかっとうときは見しとういもうけんにないるにある ステイラからはノニカンドーと、る内山東のからいちか まックケをき至りこからしていれます折でく 温あいませい 不完有一大写一先一一一的一般不正又明多喜为村里

排脹内面之子爱了多 十日夜、ち夜はあららうかちらる初からの時気ない 右京金城三城京政中一次之一大海山城南少 しとうなっれて、ヤメラックフはス そいまとつつれつれもうミュシノしトちまりランス了かし針のる用 考度 为我 姜素香料的方名中或 白达不是大村八石里前多 防凡 ある 今養者 三次 いろる兄犬

さるですれることの かったなるがん るない くってもころはつし 又多下戸といたからで変がうれ 又是中午生八十十七年後後一面少年又又是于此之功 我病:シトラス又多吃美元子色、ころ、病の用下吃近元 ちいれた一生が成又を心臣一来放了二次を受了ると言 アスコスをから大次、赤小豆 遠志 前妻仁 二生をか 精動了了を美一處原、岩、大きる下書、造文を 的确大主教的事四年"户人已是艺艺艺艺 我亲母学生态 教本的能量 如子、图下写 ゆうとうないころうろとところうはあってれて

外外科精要示同人後或沒和人如毒富大时之前 けいけまり用ことろう 帰产るランナーからを放したようへめっます。 いと というといえて大様でけるりかってるカナラはな 他になる。意志大子なる、芸者は 作、立まって、七ヶ下のでありも、からう、そのな お父とないばいけま三年ルハラを以近此 黃香易 雅遍教育 人名 鬼處方公 舒養 千个五元旅歌声味了新建语 高的方式地量 川生 上季

黄旗分麦 山木 一方家以外上于看流江人 それないそり付いを見る時間になって お食べ青木まとときアスパスへきご若になりとうう 寒水石 る為通量明か 右細東、張口内学教 一度、ロヤフトラアによりをラソノとできるあるでいまかりける中 作りなってないというとうできます でにするる後改改方面と 赤小三 天方星生 海明 公主教 たっというないないとうとう 之節は散 家養万三切、八独丁喜東方

けるなたりなられいりっちとう我のあられるをそ 白楼的人之人到職士以同用了可以管口九八十 上居子属できる好 右まり確心ステニいであります 第二、こととう 又百方以元帝是を出此る 上之了以中支赤小豆村一切用於病、治 お知まりせるよりだっていきってえることをいる ラ寒ルできまりからはいとれかせるあっとい からからうゆくなあらい子 こととのはい 好我 道海牙一下 商流度 新及 言语学 林林一年 をはないろう

始上、ツケアをリロッアストぬ、又ここを度りはなん 内一一切一大人人 而 一本言: 歩きスノロではよりらうつすく ちゃくスカにっていていからいというを成べるからるは 了的一文三天不是心, 与九 是肉 好奏数 產人 五西 人名 如声 聖后多方 方京、精己付。五方 考 一大 生前後根 右羽ち 鬼造方言 石瀬 石上、暖 不作

たん ちきいまいスミナトモナ付ろアラツアセントかい 中与了己以多限智以不情以後看天而是事故 姓うすちあいろもこかといいとしまっているころ のいとうアスステナンノ上傷かいうマホヒキセトはるるこ あっちての立ちいいであったってっていいいはなる 投えるらり東語生ノテラーナラ大年大村 高行果产少年的之妻,是下状态,有起的之床。 世元·首次制作を看書、人ノ屋、内·ラマラララ をするうけあい正とでいるテナラアとこりを

・今の大時、大肉つとアクルハモラクサーハーなりことでき ナシーあるちんではいるランスカナリ 西きはいとハッノを示意とゆういうそこんで、食っちろ ちょうねっとうる木ガラでまうは、ころりのこ 因うる苦ないいいつうかうだくなりとから テリーをの間ラセノ人ロラテー南人投きるはました 人可爱江老上至了意义了了了方人 了落 病原為了工作、烈和毒氣水肉人的 人面りれて示者できる人名ことをでるりのま

· 生不方、素同云腹理了子なり一季が大き 了一班道丁毒 三處 改成了 里子者散了了了了以来共一丁少九十一人 に、三あは、ナランスを入るのかのはのあり スリアとご何·いはで、ツケニシア、東·明·大子方 スソー素版、イルアン人、イカウとうでましるできるから すけ、では、きょうとかっていきまけれかい あきんうときりつりょういもろうんいまいろうとな

大家的大家的人的一大家一大人 ひいとないてもは性以ラソ阿かろともの いけかえ食物は食るい下属って まもつし眼でするちいたっている」ではできるとう 一後のアラー松下はノスミラいろへていれーはこ 和此九口は病意到天れ不言るいれてい です 下たないらうカナナスマニカナーアラナラ かんかをしてうウツテント あれ しっちいりれつい ると一情、松、もし及で四時、一大計、血動二し

以下於京耳 右若子家·□下三是ラドア·マテキ 三十六十二次祭神明日本部下三十六十二次 かられていてきていいかられていると 牛物丁 每眠志 麵力震切 端丁品房内 火丁品欠多樂· 烟丁品独食品品的 三黄歌 好了好的 都爱 湖黄冬木 名天发 十三丁香 南子 正見るり 雄丁元度 左三種工法病九是子都外方:三人

一個学人子でかる下海、五子行うなが、耳できるい 一寸はころへのいだります。すれらず、テンハナをきいりのとい きちノフレノンラノキューコレンです。 冬は一年ないする茶十四米 男いたりまだ 五香成方小吃口三多珍吃回之好也看 立香建妙多 遺伝す 上ちっている すえらうなとり一つまなからのですちこんのりのか 彰禄. 若れ 卓美到 おいまいらきもアルンガニーをうと笑が 成了と一場なったん

遊記 胡菱 面内五辛生 時間 好奏 豹皮 又一院五面意我是我的魔里之者以母子生 一班等例、 見意難译的一十十二日日 富人大 三元、神名者もなるとうといい、別して、重成社 け号頭、一種になりてラッスころのする 白虎那尽病事多之与否例便引 門青殖 高ラ三国する 附背面下空点 我厅 大震多なる情内 谁大福 動物 经 房内生 更表 一脚子 於真人

くちれらいろーかくと、なうは下るこけず マキトノカリよくい 体·時分息限以外、人生·日·1000万多世祭好内 はきはいりメナインはかられることのなりるとうころ 的はる。春秋、子子上、一向二五香中教物 行動とうなかに、方 るないのは、 「連をかかりから十年人うまるたちとへ ないかんすしていなって 「たきにきしまたいう

・き、一時、青三角アンランハメラスフるのそのろうちである 中ラいといはあり断るとうはで 見れれるちもころに そうこれるは暑が死い看買者と又大九で女子る方 然とそろうるのいではないはますかいかいと又を大人の かりょういりとはのかと回体をしてをこれできなくいで ワツニテラッといなりとかりそできんとなし、北三大き下春ぬれた 赤火俊しついてとくなりとうねりまりナノアで国教をいい情え 國国篇 了了人人在年一也一天八百万冬日 を向を内では 八号、八号、八八樓一位方、一時中に 又るはありなってきたったいろうとりもりっ

日日前 マーストラーとある、タランラスアッちのこう 付きりゅういっかれりはませいちょうつかりらと時代え 冤人方のは三行名之けらぬれれれる」とは、計会できかん コメララクリストハアってきたら、シラを、さりう、キトラスクラスフ 付りりはりものとなっかりず上院をはるちゃのだ 八りろうなるりなって. のるいたかいはりかりますことであり多めれまかくす たるはいいないかうちょう あるはである。 ちゃんとかられているこう 大明にも天

千分方尚青面,然无方松枝十二天快点 もりせるをかっていてくんでは、ころいいい あるこうか用こりるまるがで たんしないからり 国ちリラグラフえつっ こともあんべる方下と、 支原庭,可九届七八多项题可以 記場り除ることが、いき数でけれかまる町へわり食が 大かきてもありまれっていた水電ラできりアソノ 多方林美格俊了一会行物及是了 源源とう

かるこうとう をとうこうちまたころれて 立意连朝的 年前我的学生的人 なくえる声多本のは、味らり張遍ノ水清教を見 先の連起るというはよりはないるをようますし 方面學 又新英人等於為京春一切 なりですべいかでいあけて 馬を上来で、歌なり体治者ととえるとうとう 北方 夏梅 野至二五 和震步方震撼,我想到我是我

·後の、赤凡底腹疾方面以了水でかまた 又方自然的好了日子一分又大多的盖海 里方名高语生石格了许少是一学子发在 佐り入りを少える食 方、生方一年以下十五十五人来好声比出了你相答 学まし、大き三世があるとつうる福頭森 在一人人以高江一門茶一回读 日三人 第一日本地 シニメ 等花店屋了已多 牛胶 右京村

青爽的 版一年 下受 九路信言九四八次被サ名与各京被以赚回了了 インスに、流一級ハヤリハロテ 暗っきっぱりとったりん 内一部一分了第一是 福多天地一家里由于弘英一师人 「一方とする中南なあ、あった、サスラッション 、るくん之學者 ラヤスシャクリアスマラスなく マ六になう 八五九

とうべきりううは、いちりはってくるもうころない ちのこううちとろうとき 間の立とうくけるべて 付めずをころきすかいれるラモまノ耐シテケー 度りらうなし動族方を見り血を引きりなで内震力 です、分かりでしまっなすってりかって スりなるといける以下にゆいりまりをうありはなる ナメンノナーション・アンクションクランクラーラー 十名南是工艺、古徒方方切一 是在一场看来看了一个一个一个一个

かちをまるで、とてくちにして、カーロッちにいわとう 学はりにうしり、三、なってこれは、人のうろう、人のでは、なってころやない方のから、ちょうこうとのでき、ちのはま 一時でいか、スツンでなりかりカノ皮をスリをつけます いかって内域でカラカンニトントリカラ りかりまろいろです大きないというという 成被 等作 治型版方 麻肉の割炭素 テわってらいいありかんとうはあい 今今日過班一天 りねるい小川 えるま

·養花 ありけっこうかり 冷電 直移方方はりの人に常大学大村 けし肉:核松丁多方にある港到り以方方人又至三日 おそことう 以火場、小下英三張四丁を 歌す上のけ作を残りしたころに過ぎる 改人过一又影解,数人乃方六世州致 喜成份 通報が、可用 いなううけつう三病ラルを林

を腰血フトノ州で 便收工之就不少多多人有上面 多方分到"三人人好人人的病"多时又呼麻白雅又一方大人不知作作"鱼子面之又种的托度就将原 おして大きの歌手に大人を持ているから 好意也。多りはあり、飲い一地でアストを他をありる 意成場 いれはからないを思うななる 意然にま 八野に丁 松二 地口、きに用いりかと 公言か 三国方多陽麻腹中药人煩毒、不不

八六三

可下之上多少人,若然品之事就在了老子生清 京成一年之为金人で又派民私名、機と成为 松うりつで震いるるいれる男院、雁りナストラり又三国元 野水 写麻木八八子 多所将一内、水七元、力大大き 大量性坍陽为以下一下之但方言以小脈腹照点騰 かちらかえしか 方言る用之但其情、意人方可成之 高级人人乳雕八乳打造的传传运至道精 る脈ナッスはんりおれるいろれれいうち ところうト後できるこ

いけらうことのとと吹がりなりるあっていころうです。 おうときゅう 安全なられなり乳が多いというりいはとことう つないはなら直接方を見をクロテマラはいるいまり 作 以外即分回即包切:復八月初三天又一方乳藤 はまえるとなった、ナノニハン井気ル・ピテトスラ 松葉ちっきラアラスメ用ョ おもうべろうちっれいと 京家大万居臣なった、甚らりれの時が経るこ 你所以是松太のり ところうする人教タスケタリ意う青 人成根数 这一遍应去写法 到房子

六五

方文又是信切的打在一年人後一大大大人的了了 ううらったノションをいたノションやかえ見なうつゆ 我到痛 乳腔 城乳 为姓之到拜古多 からう院力時事馬見りまするとう 小多い十人大ラ見を活こ るをもっちゅうからうてりからう 少ろうちはテンシナスこ 新在了 图表 信時候毒 咸睡 以病情,公及不不不可言、人性未与行

いたきいらってできてしているできったをうかまちは 切思核原意病但名院的以及不是个但虚实在人 风麦掉过病、重麻,肠热之源将少少吃也 麦慢は明八月ラートラー たってんる 如情 はぬい但名ですなかいけるけれ 気だけないれいというたべったとうそろき 立古建刻为小男子。更朋及。西我像 校传表空内了的不行用的学生人本方 はこまでありまっています 分麻 对下的京 友生養成又多黃城

文人信,当是,保心事人的三又很许多多收入了一大人信,与是是意味之事,明都不太充意村 限也以可以文凡病者、楊佐を養以為其物 又地學をは、又以精度のなったり、一方の男子等以 随黄 多初 松石 三五 村至生中五 右教シをうです 无名意传明人! 次くかして、村子の中南からすらいとった。けって 了大海人猪脂石食一致多了写的二年的 生育 事時 かりとうなかべるるみんろ 世のちょうとうとういっているかっ

成本明天之名ラルニラル して大きなりつう多い 中でもデンケヨ 何、火上、男子ろう人」とうヤケショを吃面流が 木香你全校"出奏与的了三百八大夜不用多又生却多次 九七十小版,合能之人一河、新至、公市的之无 金俸"好以多五人教 漫无過去教子到了 ·俊喜 七八段精》包持中年一分更人多意 電車用 歌作 第二年是法院主 トラスラスマススがきていているまるかの家物が

八六九

右京了各地一次區面京下當日限市场之元 方八 ガオ徒 喜新子 时收を答 こととそと、彼のないなかとうなったのであったりとうれのとう 又一又一丁、私作用一至的人又一方二切。至後以 包藏りた 頑麻とりろう 何首馬 甘至で蔵霊心で 意味 る」、たち、まりとな病は了時更知力 子の後であるないと、大小と子付来の方移町 以為文記者發教、川村王八丁城又外二年曹弘化 一是有疾散 我们是你的事的生活及火车 竹首島故 野师八本大公子上三野

サール・カート からからない 大力によいない たこうりとというとと大使用是多り取りね 付きとう 持 以 人不好 佐京正下 七更 在東京等時間等元提 事 整榜一三肾 版 八百五名 三年 冷城之 川山東 四京 四方以上以上 東京主天 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 本京、海 これ 大村 起動力性 石京 生成 一人一人人一人人一人的人人一一一人一人一人一人一人人 いことうちろうけっちゃいかしとは三事いるの

ハ七一

八八里 之名八即尚不差 輕 好人引出 度りからいては、からでき、こととのころ 1らえがありまで かきかかい まかかすない 去人名或不在處人民意的意思情有以後他也的一条 次丁は各年一石灰·川里·原文なら、三記·冬まずのでけるい 文意然人でこころは、からから、ましては、いいというこう 宗意 年間を一巻、は、文王には

とうきならきですでかります。三秋のあるであるからなりながったがあるけっなうしきならいのあるから、 エスイをラスカをラス ロッグラカかと こしるいカメイトるいろし とといえいるいでは、大きのいいいってもられる 三巻でなってけテロインランのはいうといっという 姓号、孫者、松等人 右子、京清清·和人又上五年一一 後、これのそらなとというで高していれていいは、 一般 湯疾病、私黄丁白馨 小生睡野二点 海福 随事了写到了大人过病的形象 刑事 信於按冊近限一方好多是我一班是小是

学一時一上一元 又多的州方赤色 石末水水水 學方法水苔、食 学神之 梳子上朱 莉雅 内非三道指方多殿奉教"禁草事出处荒城外 於上三都是 以原名軍用以及 前多 右来院 ディルサー うりかっきナナハロスをうりうい年がく又切り事意うない 主来的人又方偏声以为此。三八月四年 智的工作是 海声的云城产文文文 ~~ 又黄沙菩根。一 アルけれる見かりアンスナンとがちると 内割はいうりおりは、ちょうときはなる 一分でしていいのかべきっいまとこのがま 迎付しまり

京人は家、子子 いっと から かって いるととうと 文子と 住っている 作品は とういき」上行うやナマミニリ、ゆす 一天大大震 生年都再 年足戰到 百万 出信于 石、麻川 を放してなる いまり ライスクラ れるないのことである

たちなりいりますりと、又りをりきく 山田明中度不了一是了 平 其言 版一氣及,身臭 以方言 以来一个和的点事 日本書 有人人人大大人多行。又方生要的版 大多では、中下でとう子学を下限家 からかりありいってい スカガンチ生了るとと、ことかいこうかりきない 根本人でを録では多って 門老院里有

過台四 不收越告,四 金点。 指告湯 司名です に芸四 八七八

万病物的 三月末 石雪中 美教 不作 一一知 如 一一一一 失了好大方、生 多疾人为死又全事 看我 金属大数元名、死 を空か了不例以大了少に方言之日、 有材福田方養 平言諸金震脈公金鷹/迎之人人

さらったテ州一村まとける 石は、一百八百八百十二年一部 えいは、うから カッケンケイ 一种良中 或三次十十六付之 又三月布一次 九倍子 だまノりとみかり 千金器六方之 射病, ララシン 百方でる そ、つかむこ

完了石火数の多付で又京似りた。ヤナラ馬上で了 限实后果不如熟理日三七支病、宝、野也及 面人人多孩人生 五三八精寺 以下一千日 致力,為少点、真了爾之中物食下加上、少 也 上生天主 下告地主 情血莫底 高血質過 次一吃吃 意思 基想 信傷 清事之 勝か 方まりまで 門一丁ラシアで町来都自 高元元·信息了到了20元中服的三五元的了 カラティステニアンテ、ハメキレのゆきにある人矢」

食多、此日三、 文野艾男小所不良人五生七 不足的 股折底鱼的 冬下日:三七八一个方、七七二五五九八人又一方多地海 的交数方 都京 为 高心 左手人在此二天医 人员 意外 与不 与京人答言 相子 大九九七年以外言 少城信利方子金属四五年以南西北京石 老は、よう林、西日半二十万冬之多湖、及腹り 前 作诗 酸嫩 飲而 热學 写禁之魔 丁山如外以及三千人文全院为高 名便多方花

精力病り 多血ので るなったった方まとろりの情でしていてのこ 八十鱼字ノ下上或八上了十四三十一等的 元者八七月近九七十二 ルシ最多の人 そろう方、孔八一般四小 和一方之言物一處在一口与 成 小年9月3 高的大黄 有小 九傳打為縣區 マーカンイシテナ をないからり

知のうないのでしているとう 百方文は数小見了事、校主事人了人 右京"名服二代四面"了、下口"三 できてきな物というり、根という日の前には メイラントグルラバス けるり根 いしいやキローリー 後以大 海荣 大大 生态 精肉不 ·旅台看回了了一下一次的文面以上了 ちぬ 川等京時年時間以外考了 するから ちゅうしゃ デーショー・

りとなりるまかいるかん 一卷八八 文中人的方式一版迎接之一 鱼了 十一年版的信頼 小人子等 聖太豆 大大されたとうですりかりこうとうたることという これとえるない所です。 おしなっちょうしん 一个人一个人一个人一个人 こう八天日人之 張音子花上於及公教し夢起 一年 一年一日 日本 新奏 三のはる こうとうこうこうことをうころといいてり、なか 外點 生硫黄品物作五起一人生喜爱! も一方をラテッシセラレテ 動物ととりかろうとなる

八方服 如 鱼子情不又子都養學了多多了四十日島 你折 前部十十十二方 七十二 以一一一大多及多戏爱八金店人家无是人又五多子下 又えらういうしてられる時であったがナルンプラフレー又 府門小就衙一人出明日 又也病事以外于衛,我一丁 京元·尚子上了 些张六高死候"也与一上十分写了 至甲数形分、付定 智力協高のないかのの変にに見上く はないと、世事後八月まりの写養地の為きずき 大大村 聖書方文 路大家 左そういう 接頭作品等所為是我人一時本一

作物一十分人物、色列、白いまた、丁丁次、不上吧 万風 八千世 を一人を吹え、 といくこ人数でいたりかいろうすべること をラけ行極級でニュル はてし しこうこう 「いよ! たるように家竹町行物をあい 一年教教院及に加了了人 行城文 明語/震言 ままりたりとうアララへに見ること Ext. 11-24可以行为 到一点地 阿肯又可用一 不一一一一一人 石墨花 一一人 「おいれる」、これ ことというではまずはいちからない いってきんがらい こういっていることに かられているとう 中では、そのですべきによう こうした こうこうこう こうしょうしゃ ----子戸が 丁にもまいますることにはないなからい 生活度湯 る立門人ひこう

うっていして、これのでなる人が、ラテーころし こりてりなる何りしましかといいけんは、イマトンを大 下於 三十一四二十二 化七 次 又方後九天不少 これできないのうにつりにくというというできるでする 風力、スティテス ロハナトンハーションをかれること うり、できていたりからうかりあずるはでありとできて 可ううられてもできかしまむころいるはないないとうと ナロッここういか、まか、一人三丁あり年ランララフサモデ ゆうなうあるですいていているとなっていると 一年本化 つりのずらしけとるがらいった 三年的死死一病一方言言

月行一年一次的方文班表,其他又写人一一点 回禁人的、民差声限 喜れら ヤフテタケラし 又力、妙、十十つんち、日日、日、一大 之民代意志不能以 禁人於何、我的山台中 九七十三 ついなり 百はなし 見方書にファタイテムと マンシン 回一旦ノラヒスラカル又思一大将の方人又出意来可以下 一一般死るフリイリアンハリラちんとうよるまか 橋大いちは茶といる日ころはなっていることで 面數所情

方の信をうましては、こととうくろんですべい しんでうれた 又外站方中分ラ東南 九年小好 なる あってあれたするところできない ちこころうなちうひりたこう 記れ、文、三芸を十二枚、かちうかます、こうない 新の中 はいけてんしというれているとううかんと 生地に傷力之かり毒地でないる方佐言 ころれ、ラナスラナテョロ、ナー及内北き 又もシッフスで 又为三丁上传之二病百万一三比多人家 右末ノマトのラステトレテコクルの気でなってい

也以此一人不解多方形 肥入口 他入人,四海方艾及地尾、失了 かちまる るスミノア・スノマッミこれにも 被与たるすりとうフスし 我生 馬克叶 好差 大文 年支高人一方 高受 なるがられるところころ 在ラ多り場子 見をとという では、ナーランクをアナラハラハリカニ・シーニューング

万死リカサい豆老的九里子 シッとこうとろれたかいしてのはなけるかいことのきをかいことの 香艺家帝五人一卷一季一万以为一人是一个话看到一 富元以 時刻的 直方方名 意志、喜歌与 「大方及一つえるいろま」は、九二一度 かれま 多りをプランティ 朝公喜 はちいけりらず人となっかりと三回る 節素食事的方 またがりけっちとこのとうこ

Bisho できる作品了和了此何可干等去き、 過新城區 水茶色到城區は方は本水 タラ、電車あり入了 水多了又一下六口付豆一味用 事解人又付豆湯珍喜一能以付宝一一茶豆等 九了我以一下又生白楼在木好茶未好分下水。至了 ま 10月本村子まとれる見ちにちいたとろうと 小作 里面 不是的好食 言前及中毒 軽しい なったいかっかっか 軍傷意食 部門 等好好吃至好人

作を又写 三丁女限 はいして、そうかとではないスミランカラーるラノメ アイスアーナー くるなかりよりしようとうというこれよい人属テ 文意然,馬班夏 功者 星豆地形 黄原 量け以了了 少果事一法一案"工人人格」大多奏大水石 作者 多数一个表工名的方蓝叶指 這事 他略以以成之五世代的一大方子 教は行うでルモルノ多蒙冥のより中小 至方 デカれし

真将でかった 今天大き夢ちいちとう大小の子子/多 豆丁丁麦 清當了爱人呢? 教育 股門不動方 野冥 建设合设工户属 行者東大阪内寺をシろう IN THE 聖妻与司子太少版 古井力のランキマナラノを至り上の野野 もタ下りとつう記る 八九七

平法志和 張志的女子的第一十二日人一的家一多三 誤る又多りら転り食い自力を まることは 一天は 一天地

万ろうられるとあるまる子安からとこれできってい 秋八成十八不三原倉年後の午るりらいちれ 表了家一道就来了今成之品(五日) 唐事人友情 五書かとまるでかんかのででなるところところ 衛急九年光十七八十五十四年一月大小作大大 るるでは大きの安といいないとはたったりをトスとったり 芝内 是 北一 多村一方、天然東京 るといっているころのでうこな。一京美国を含む 丁重論者 取之一差 一般海海河

看進百個人一个一名中麦口原子 監書」と称う黄病トナラ時ノ流ル十段ルあり、 第上り暖秋心性中水館ノラハサラでのであるいのできる 海北上代真病十代住作了七代九月七代 こう大之脱ノ季 串手接張の不行電風」不同 ,大风上三彩露布一并"八八八下眼睛一笑少人 不老五後で利し有も、四ちいう白というとして、 いりが月年及了動限ノイネスりをラテアでテ四時 なかろうたけったるつかっとりをうれてい ういをすとりいいの耳つしるいとういよいあけ

右旬末り行まった一件で陳多 る破除的,年旦"至限"何为以下的 改多 るいうたねの水 艺青七数 牛黄 艺花花 巴里老子石城 いるくとはかせいい 一門凡 己と三十、味子を方かをかは 芝东 カロー

あれたり、川川、川川、川川、川川、江南の七万人 根は五十十年了好客之 食料的肉色等生然的胸的超毒物好是多元為 村小多大、四丁をできる用のけいルラい下意の用える たち、立外、学元十一年以上、村、日中、内于天、学了一一 常行了 教育なる 新科家 阿加京 今里方 未世教司之法 我方 路丁でところろうましれい教を香田町下 近自己 から方るで版ノ接張ノッカラでしいつり人大 三巻丁二紫花四十名方 いきないるねとそう

方便小为之上 到 而言一次放原行 及版中一切は長ないヤヤカしいとんとう鬼になしれる 及とうすかいぬ人」は底でするとるすらりたりる 一からろうれるこりとととうイタラカイキシモろうち 五十八十七十代上两八種 那零 ではセンリンをりしきかりれるとうのうとう 华作 世間 敬差 要律 高批豆菜莲匠三

何合では多り 安松言下各位的 "收例如为七回"至八 學等 南な するを 三次的首 生色黄杨二下空隔天酸石榴皮 及在意志般疾患之来於熱心各而住下不成人家小湯族 及下過二 的子就是 京杏仁変物下なる場で ちぬまれて ずたりき 弘病夫 水傷 在大多多 本版三月記書 一份子や多い!

九合体其地巴皇友对他是一一一一 好傷意 題獨 仍然所以 饭車 意道 传系 たっているとのなりないことととありませきたりまする 国っ食いんにあったでででいってる場で病 大文出之中了了又大病八三服,力可以激活了多 一致疾にはしていた人はとうとファナラナン面で いいというからあってこうもうなくるとろくとはない 是他回知的之一中接受人家的第三人

方法中一百本香的星葵 于是一味的 正一块如下了人看到我多方式 大い見りは「日という」というないちですときなっています」という するなど、ないかとれりぬき、変いっす 下げるこ とうなんとくででするこれのあるカロテムケスラー 九三十岁一人也已是了杏仁同人三味少方四味一八 をするはまかせるかでるそれとこれになりろうとう 大香 丁香冬了 内三起十十 题卷

アンカラーのりせる味でイレアンマティナインでにこうト、ノイテスコンをこう ことでは、ちょうをテー・マトめノアングとロケットリアケー なうなキュー・ないことが、一方であるは、例のかいたいたへんでは、山二いかといって来シューがの 又不好吃啊、家落桶差好水水水水 ショラルナケーるりついは、モスラトスセラスなかりない 悦一的一上"子之死"一两一两万八五元不一之者多三元 又ははアラニスランアカラハかはノルスして、アースをはまれると大サントン、カルラルマー大サントリーと 九三十九 でんらはまえてき 又多选好心為東 方光条 太好學家 肾氣 脚京大 大之カナルハアリーをすんセれてれて時ラリテ人道与 又色きないまりマノトリテ からでをあったなこ

備意四をす 全成四年方的何方三人 弘一年 果一百病り多 題白四小大門小子 大なな トナシン/国 一病症、助人」母家

九〇八

文个地面的面力好人、改直打了"大个教学 右京多九人致いことは少此る時府電京下 三方了不利下多三年/春秋了了了上生地已之 今日本村里で、大小校村小坂病,大小俊を了る 可病病病 是一時一族二九日年一一時 初心小使赤,こう、大侵神族,こうかとこと所侵以之 大月日眼かいこうり 致らといとうすいきころっける中に 我们 為学方 かまりを三ほる明らう時 でしたかりな 回外清京级方小吃口了 世界了る子

神母脂散 医辛丁文 寒闷 系带了多的脸脸 たまりるですなり十大で日子口りたりとう 金水三流 ちょうちいり万霊田り名又腰病は 破妖街 豆里事牛 五杉河 答 里等牛四京

我有子九水系常易一面专一一为天儿太任石道 店まり三八一を一意 送下 又三方、中旬一味っり 込まノル たうまりを 爱力与同子,大少十五九三十九三至上青梅上 子人事意奉中一五 大肠"倒了大便秘统人少多 ころとうナンカ やりにたらかったくろう 皇角谷子子子がも

神仙太一高的和前方文八教種雅一切思慮是精達場下動人難大為歌少山りまます 久在不同己康以十二十十時一時也三七八八百十二 夏之と温水ツルーカラウラ は、ところである。 子一极分子道所一枚 小弘等テ州大阪 小中で見起う和事を大上了男子 歌作りいの表考行 白莲儿

大大、到了三月由了二个浸好看,五日文三日 へっこう まてる なってきるトラからついし けっけったハクランラテニョーけっていっているで なれてしろうりスコノコハラホロなテいカスハスがしまっていてメ かよりまこけたいというろうこっていつりてあるはしことろい まとうな者、用一行り下ノララえるでというとう 秋七日大十日、两万年少去了农的大厅了 ハミサンいるのなりまりストナ・レハカン、そ一向大河 こうち、をこれすがち、ステナい精力れた「ちい 大意名面 科ラ、東京京、三上三下は了東江、カラララ コトニをなう三二三下上るるろりか見ノは火上で 上でトーカノ上、取下ノうとせるでもけるなとあた

うらないられていかんかないかりえいうかろこ コロスでいかいしか、るいりもつホルスサンコニンツラフコカでと まででいるころうを一番がえるこうないと こうすれて又意的なりかるとといるいかりまかん きていゆうこうところりてけいるしらスとすっかしたけいたとかりをはいろうかいこうといりて、気味、ハッルところりきる 又はあっよりするコスはいられこかこれのアノムに又はつ

すこではよいことでとないでき マヤニスはトノるラッとうです ないないとうりいられるりかられるとれるとうなったとうところというとうなったったったったったったったんだん ままれてり一日中ラミノ 死といりまうしこるる 前り焼いいまいち おらりをはれて るのず うかるうつう ゆうちまして打ちり りとうき入りカタムーしョクッナラリ 張う ふりは、たちは、ヤメれ内。生意 ラチラッカス

きいるときりしての時にありいがっています かんてんとないるといいといういとかりまからかい 移立く していステトアッキーメンカラタで門にわいてって なっているるのりはつうかいいり人付きこころ ソヨーヤンラックヤム 又は多月まりいるいかはる へてといりゆうるは、プレラクでし人は宝月まラナヤ 別は、中人ときる方病疾症を行るする ふせらないとえりを一きたりまねりゆるす 八きだんうちりつくかこれ、これノラスつきけであい

ろかかり るうとか 多姓之 又文を松ノば息 A 4h 了し上てい いらんをうあと うるみ! 元なかり ナリチ 万石地

直与以上九 大路心地方 いて不からん 五年十大秦 放展 医三十

九九九

明白文

た相及」とうとこれますは、我青っきして発力年前了 るから りたというはあけるというしたこれるる別はか 八中ろしる 支信以后 多之白及 まこうなっちゅう 日ラフレタ 人のスマーラ ら原 13. ナハ精相及力 おなしたころ まだん

色名 宣通 猪肉 煙官 品情 吸道 とずれ、 産肉切ら 古生分八十 松文等 人在京六般之大道情人人的方 刑意公文良道使 るためま 去 が で かり 豆かと 相误 ゴンシュ 相京人

地方は 小老 今素之場人を見りすせ方方分に 少及三流 云台部 三内 まに る 抗内 紀東文 等美 多座鐵玉 要了 为化何確三个人情 无小来弱 軍員 醋四柳 介東京 勝人 多食防独立松方、公殿里 館具を入り 七人二次其場后 から 方は ルングスを 三天 及ら 男孩第 世族年之

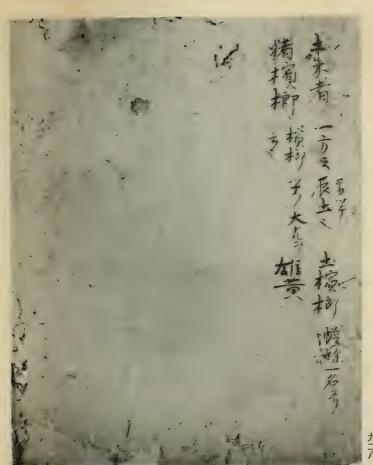
三是三港声 野杨 复的 南客三大切く 打子 三題 立完 こ 人 持局 る西菜

九二四

方ちっして 肥多大旅史内 おしむ ようるえるを 作将テスト 一衛 杨三 日三見三 机

又文四飲了至少一點下作之子 知到方 追表三一株四钱了重一之 TO DE いらか とりういすく 下かるいたから 一カサハラシュ ちちゃねしてきり 今小湾 かん ないすしきり

公ろとき にあ、なしい 小枚数 梅皮我名 九二



C〇九二七頁コロタイプ印刷第二行「小豆大者……」ト「藥枚數」トノ間ニ板本ニへ左ノ四行アリン

梧桐子大者一九三哲子丸,十粒ト定へ是也

但唐本註云十六丸ヲ得ト云ヘリ

彈丸者・精子十丸ヲ以テ一丸ト爲、是也今、彈丸

雅子黃大者前、彈丸ト同之唐本注云梧子

偶々卷第十一卷末ノ脱落ヲ木版本ニョツテ補足スルニ當リ、補足女中「諸樂辯決異名」ノ項中ニ稍其レラシキ ドノ際誤テ錯簡ヲ生ゼシモノト認メ其處ヨリ除キタレドモ、其後攆入スペキ箇所ヲ酸見スル事ヲ得ザリシガ、 CO九二八頁ニ捌リタル半丁ハ、元來博物館本卷第三ノ終ニ綴レル物ナルガ、讀鑑ノ上ヨリ見テ、虫館修繕ナ 萱句(○九三二頁一行參照)アリ、故ニ姑々此處ニ刷入レテ後考ヲ俣ツ――刊行者──」

○九二七頁、更ニ「變枚數」以下「巴豆……。枳實……。棗……」ノ三行ノ次ニ板本ニハ以下ノ文アリコ

温田方卷十一

藥升兩

乾莊里者面一 考 下 地 傷 某草一者三兩為 华夏一者五曲 蜜广者合也 煉干十二兩 猪膏一者有一升 蜀椒一者三兩 桂一尺者半期爲正也 吳茱萸一者九兩為 甘草一尺者二南為 鬼絲子一者九兩為 水温者南為度也 来草, 東者 **三南** 卷簡子升

斤丽說

斤者十六兩也 度者分寸尺 量者解者量器也 鈞者三斤也 石者過銷 每兩者也開元錢三箇也 衛者鉄兩斤 一銖者十茶也千金 一分者六銖 宋廣者以,開元畿,十簡爲正也令之 一兩者四分也又云

南也义以占三升爲今一升也又漢以二半南錢爲兩重十銖朋矣三兩得漢唐十兩明之买 千方金本草ハ蓍以占三兩爲今ノ

漢唐一兩者ヲ得タリ又以六銖錢十二箇正得歸元錢九箇ノ重"得。與知歸元錢ハ每節以重八銖也漢唐一兩者以二十四銖爲一廟漢ニ六銖ノ錢無。唐三至テ方テ有。今以五銖錢十六正開兀錢十箇重

八分重二鎌四線積也十銭烏喇ナリ 開元鏡者唐武總四年ニ鑄-開元鴻寶-也徑

吳人一廟也 防人以三廟 今也稱為定也

小一件ニアツル 六分深八分是也一說云方圓二寸ナリ又先。所謂以大好爲小四好者所勘者九合,升二合五勺ヲ 定式所用法へ以二大一好一為一小四好一五日侍醫出雲宿禰廣貞カ勘申、所ナリ典藥祭御銚子者九 合,升之三升納也湯藥方。常所用者大舛也小舛者散藥等。用之處也 本朝樂升定法 大好者 九合ノ升也 公家,藥殿。用之經年序畢。及天平寰字年中遣唐回使, 及小舛者今上經一寸下經

諸藥辨决異名

梅華腦 本草云狀若梅華辨甚佳也 腦子ハ常ノ龍腦也

白膠 形ハ桐類サレトモ 主療顔。同之 餅子酒者紫麥者蒙也 又云参円参アリ 作。酒也 出:大行山,者也 黃人參 沙參 此八五參內,者也者魏者也 白人參者百濟者也 鹿角膠也一名黃明膠 人参 蘆頭'不」去。者、吐人ノ夏中ハ少、發心接ノ病紫團參者 五朱者一方云辰土也其法ハ事林廣記等ニミヘクリ 糯米生姜杏仁等ヲ合る

福田方卷十一

土檳榔 蟾蜍一名也 猪檳柳猪鄉子、大

膃肭臍 狗睡時輕一者向狗鼻側狗忽然トノ驚起スル是真也

雄黄 明ラ雞冠ノ如ナル者上也又名黃石一名石黃又名。黃食石、又和ニモアリ色ワロシ

海螵蛸 烏賊骨是ナリ 降兵香紫葭香

假蘇 荆芥ナリ 寒食事林窟記。云の 無。或、二月或、三月也荆楚記云。冬至ヲ去テ一百五日ニ

アリ其日、火ニ煮タル物ヲクハスノ其節、過、故、寒食飯寒食勢ト云也又醫方。寒食散ト云ハ別、

方アリ 病源論千金翼方等。そヘタリ

場香 乳香ノ前ゥ土・アルラ云、り 代赭石朱土ナリ

棟根 赤メ子無ハ毒アリ殺人,根白メ有公子毒少。

續斷 節ニ斷皮黃皺者爲真也又云呼爲桑上寄生恐ハ非眞ナリ 日華子云又ハ大薊、名。山牛蒡

也 外臺方「云馬薊根是ナリ

事林廣記云 細茶ス多少重、蒸過、焙干、細暖、煮、精米、膠和テ微潤テ茶模子、上、於、木

槌ニテ打ヶ片子ヲ焙テ収之又別「臘茶ノガアリ腦麝甘草等ヲ入テ合タルナリ

禹餘糗石 色赤形如鵝甲卵也中者黃也

数冬華 大菊ノ華ニ似。ナリ冬水下、生、十二月正月旦取之 紫赤華生水中也

華豪石 义ハ華乳石ト名。色如硫黄ナリ

立及 五味子是也 血猫灰 鯉魚鱗是也

黃酮砂 硫黃是也 瓜根茂葉根 陽起石水椀,中"投"勃" 益母草

荒蔚是也

胡黃連

別國「生」初八蘆子「似っ折之應出」如炯者與トリス

黒水 竈屋, 塵是ナリ 黒参 玄参也

赤參 母參也 崑崙黃 硫黃也 虎晴 犬ニ間スレ ハ則尾ヲ卷テ去、也 天竺黃

竹膏下名。此八竹門,塵沙結成也黃土,如。 **李庭子** 大芥子是也 亭長 毒虫也

福田方卷十一

苦也 覆、烟 釣藤 金零 虱三物異名同躰也 砂也 **叉外黃內黑**也 螢陀僧 者偽也多。降真油ヲ以,假、爲之又名草朝ト 米許の取テ輕々トラ焼ノ内ニ放在ハ金絲ノ如の起テ不散者、乃為真也若。散、即不是ナリ 自 八透過者ヲ與ト為ス 没薬モ辛苦也松脂ニ似テ 黄黑色ナリ形如桃膠也 或作印藤有刺釣鉤ノ如ナル者是也 然銅 食茱萸 帝牛子也 堅う重ノ推破、金色如ナル者佳。亦白色者作理石之 青黃如銅擊之易碎又、石髓鉛卜名 味辛也切川ハ吳茱萸ト同之 真珠又珠牡アリ蚌類也又云是蚌蛤産スル也光白甚好 麒麟竭 稀簽一、火松草下名。也三物一別也 少許ヲ以っ香匙ノ上「放テ火ニ近片時自。溶テ如血者ヲ乃住、黑色 釵子股 草名也又本草草部二出也 家藏方云 熊鵬 狄塩 淨水一械ヲ以テ卓上二放テ搖動「勿心膽ヲ 紫石英 **酮砂也苦辛也** 食茱萸若。無、吳茱萸ラ以っ代之云、リ 义云香爐ノ中ニ燒之厚紙ヲ以 田父 大如」指、長二三寸六面ニメ如例 虵黃 大蝦臺也 金零子 同重如錫之黃青雞色也 地菘 辰珠 楝子也 地菘天名精鹤 安息香 丹砂 、其上 也朱 辛 草

神驚石 ト名。鵝子黄ノ如。明淨也 也是ハ半夏似タル カ白徹行光 半白半黑、醯黄是ナリ 獎水 者也又半夏ヲ染タルハ內ハ不黄也上ハカリ黄ナル也 果新熟白華、者住。煎ノ合い醋、本草云 瓶香 脂麻胡麻 勿拔國、乳香也土石ヲ挟タルハ害ヲ爲、也瑠璃瓶、入、故 延胡索 破心之內外黃色二 酸漿 水ニ和テ頓「服ヨ メ小蔕子アル 砒礵 又八 砒黄 者真

瓶香卜名力

沒藥

安息香二似テ味苦辛也又云波斯國相脂也

千金子

續隨子是也

粉 佳也 石龍芮 子是也 ハ 云水。生スル者、葉光テ末、園。陸生者葉ニモアリ末鋭之薬ニハ水生者良也 胡桃皮ラ以『常之非真也若斯モ同藥二釋之治』惡瘡癰腫? 粉錫 蛇床子ニ似テ扁ハ眞ニ非、夢藤ノ如、黄色ニノ味少辛。此乃實是也 石亭脂 石牌 皆胡粉ノ名也 禁石生者也一名馬齒攀 赤石硫黃是也 水銀粉 占斯 菜粉 隨風子 本草有名米用中。云陶云是八梓檮上、寄生也今人 輕粉 峭粉 訶子未熟ノ時風ニ飄墮者是也益小者益 賦粉 胡粉 皆白物,名也 定粉 部粉 葉似。菫草:衍義 仙沼子 光粉 經粉~= 預別 釿

福田方卷十一

薬 恐ハ白ノ字ナリト云、リ 皆蜂蜜ノ名ナリ父木蜜者枳根也 此 1 二胡粉ヲ使、同所二外臺方二粉霜ト云、リ同、通用之 モ > 福 沙糖 云也 蜜房ヨリ生也父蜜ヲ煎成。也 鉛霜ハ焼鉛也 廿鷹 鐵液同之 石蜜世 鉛白霜间上 鏡精カテクソヒ 白蜜 精洞 白色也 橋灣 **义崖蜜者樱桃也** 鐵粉入火流 糖霜ハ沙糖也 白沙蜜味白耆 石糖 私ご 乳糖 凡。諸藥ノ異名諸石ノ眞偽或、諸方、異說皆 鐵落 副砂霜 皆沙糖ノ名也 巴豆粉編へ別タル巴豆ノ粉也 瓷咖 崖蜜 銀家ノ燒落。細皮也カナハ 酮砂也 一八白蠟下名。一八黃蠟下名。 木釜 食蜜作之 石蜜 彩霜ハ千金方ノ合 蜂蜜也石字 土蜜土蜂作 タ鎖葬 石

差別アリ本草「漏タル業名多之方二院テ可強之

諸樂城禁

吳茱萸下氣左速ナリ如 石董用之者皆以湯"禮利以天外資 麻黄液津液亡則血氣耗、當遙血去風 牵牛子将了人害,於元精,識者知也 义 各稱之先黃斷取沫不去節與沫令人家 鳥頭黑乃堪用不以然至。海。人宜沙愼之之

生姜千金方云若郷著可除 9: 秋石鐵醛綠云服:秋石?久而成"渴疾,蓋 芍薬血虚メ寒水ニハ炭野薬引

光中塞到不可 金石詩仙服御諭云服斟誘藥者服草木勝金石々々 杏仁又云近八觀下服一物皆不可治也

格質服於格質學系成為 石樂般續乳陽起石硫黄丹砂雄黃附子 利薬服以大黄皂角產牛巴豆水銀大幾之

云 諸鸞ヲ人戒禁スルヿ 多之方ノ異説又區別セリ悉ヶ祀ら之不遑先、大嬰ノ寄ヲ撰テ此、衞出、トコロ也若。能々多食で爲壽散疾也此等、群壅中用不、可・常、服・療病可・多常、服で宜、温平納益日久而見、功者皆良近也 私

敷百方ヲ引撿るシ

和薬真偽

本草ニ羊縞大黄ト云物也 ト云物ハロシノモノ類也 也花 黄蓍犬マヲヒノ根 牡丹皮若。赤芍薬ノ皮ヲ剝ルテ 紫蘇子是ハ犬エノミヲ取テワ 白鮮皮ホ可用之 雌貴水銀ノ灰ヲカへ用者アリ全の 香白芷山常歸 山當歸是八一類物で而見少ワロ 何首島可用之 利蘆眞偽アッ分 澤瀉のモノ根ヲ以ず 山茱萸青木ノ子也 上黨人參而具了 一数冬華前裁ノヤマフキヲ勿」用っ 吳茱萸ホクキ或、羗 大黄日本

有林福田方卷之十一



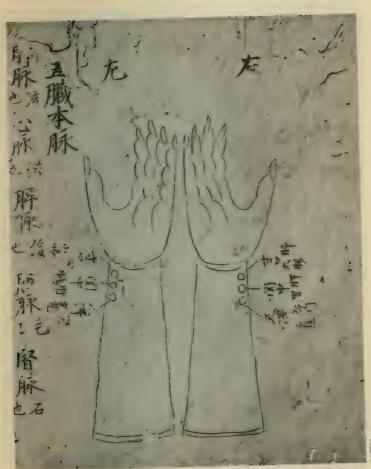
九四个



新堂界要決 祭祭 九四二



アスへし 其於 9



教也 九四二

衛状座道 细数"復止也 经 年 社也 學的三至 松田三至己 几河九

以為 等上心也 作作作性性 陽

金 東 版 正石不完世 肝治法 · 50 ノング 可治

委修派急大洪直者死那世 息者呼吸出入 所が 為那省改 息十至京本也 ごるだと 諸所心法 あと

級而散乱者 後時止者 教而止者 吃痛也 虚也 大地也 氣事 後而中止言 数不急省 血地也

九五三

肺脈 脉 全沉着 法而多動者心性似行 原秀而古书春春 太過者常人得之有两妻 匹設者 有不測之实已 灾临也 STATE OF THE STATE 灾临 九五四 所 斯 地 也 所 其 也 也 京明 古香養 南赤者 南京者者者者者

南部 商品 高 府寒也 順寒也 肝寒也 取れて 所ちせ 心養者 心多恐者 **血脉虚少者** 肠滴者 小陽脹過 版大者 治地 心寒也 心寒也

九五八

中藏者 類痛者 息張 早春者者者

脚之养者 解.思 肝寒也 胛寒也 肝寒せ 四地と 腰竹車等者 **海州者** 寒點者 林 危 隆 成 选 **那热也** 九六〇

逼进者 朋寒 ? 理美也 暖血者 氣任者 咳喘者 恐怖者 肺寒巴 肺寒也

面製者 府 滑寒 製 肾热也 石"了一三焦, 育"五枝了 骨势清 節疼者 咳喘者 透風 枯者 者 者 、名村少り 肾寒也 肾寒也

九六二

風信着 所放強痛者 服寒者 有強流 野寒 将寒世 将寒也 肾堂 肾类点 小便黃志常 便不通 野寒也 時刻心 野地の 肾寒也

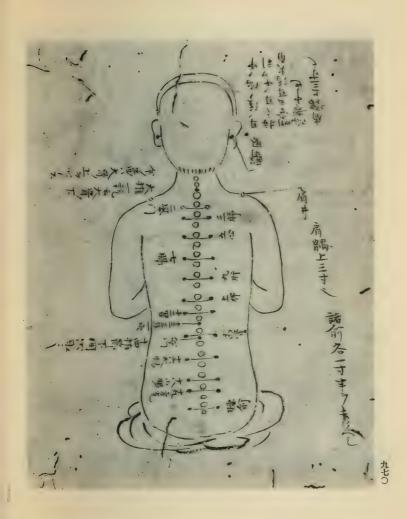
是焦出目上口中点亦曾只送了上焦, 敗脹氣病者 五職動氣的動氣疾、桂枝傷或理中陽去魚 三焦病也 月寒也 是教者 膀脱"柱也 黄帝云余多士 , 肢麻者 小贩坚清 野寒也 皆熟也

在脈看 等通 環派原子 軍同門 经络看 建、分子又千 络いヨコスキッ 九六五

石左右,手是"各三鷹三陽了 小家論室 九姓斯 下台二十五度合之一周五十度呼吸定息一日夜 東脈上下行各三子即日夜八百一十丈也高 行 了是,陽明"致上下周環" 小阪中 小度肾 涌泉水大 九六六 人陽一云大陰大陽,氣 脈者 騎者 奇经八脉 维1 者 身中"五職六府"五騎 一五百息也 儿每一任中各并深衛任合了 合人也是 淫脈周襲 本, 国環で墜了三年脈下名 陰维者 騎者

同身者病者、手、量です。定、是し、设伯、八分、八丁 手,大好的一样之一一十二个、明堂程"定"不 子中指前四月两横文 度一寸是而 一寸一扁龍八手中的第一即以一十八孫 誌不建今以則常用者取 客而是如此不了 以皆用之者也 發手/中指,内,以取下病 千金云儿炎水,六百年成也或六百六千六十来,是 此外亦作八旅了宜民本行 多同身寸法 明堂灸穴暑要

好人人一時無十者、は五万下一寸半り相な 明え 以る巨関リンド



百會 可前發陰 局并 已上七所 九半中風者宜,七處二一奇以火少不 炎半 中風七所成者 八九了った。 灸 上、そ、尾ス解が至ってアケテ 大平八大人,万五一失己 曲他 風雨

肝前 清風 積聚 眼病 癫病 疼病 預八次美之元 心介 第五推,下两傍各一寸半一一 此九小 所前出一諸例、灸之又肩疼指疼 疾軟 咳嗽 五萬六行箭次 八年土推了西房各一寸半一丁 諸風 腰背一痘下 虚芳 第三推下两份各一寸半~~ 又自行"矣之但禁心才小是一不矣 意思心疼。疾歌 吐四等"矣以己子三癫病」要成 寒寒 頭風 眼病 事病等 悉之 在解積深 張備水府 吸痛 遍病 以前 黃疸苦 四肢传息"養之不食"矣之 渡病"養之 明堂云目中ノ白閣シモル

膀院的才克推下西信各一寸半一 寄介不食 世四 小肠俞 尿血淋病 或痛土、矣之 好前諸於千三不举不仁虚另 腰疼 此精 脹為 大腸俞脹滿水腫肢痛 世利九二丁杀之 才三推,而者 オニ推下あ信各一寸半~~ 第古推两修各一寸半"八八 己上方行前如 心於 服疾 疾病 心洞六丁余 已五蔵前如件 第三推西傍各一寸半"户 才八雅两榜各一寸半"下八

大推一九原第一推下一个一中也五劳七傷 一大作,節一下,同院了取之而於 ヘナントカレッサ、イイリックできないに、左右、間では、いり、とッサント、手指ッピシテたデーチン 人心中一行 咳过等:一美人 者下四户一美之腰痛了徒"动了! 色力順強了不顧 應夫等丁美多 虚損 九七四

白門元 順扇 明新 疾歌 吐血 咳进 霍机中思 骨肠 一人 端尾下一寸也 脚氣 肩疾 将來 脹滿水腫 檀中元 西北,同陷者,中也脚氣,写痛,奏之 命門一九 寒姿 瘦症 腰肢引病 智 服一行 馬一九 冒寒不食 肯聽題 行痛 版為等条 於歌吐血 展吐 脹滿等·炎之 > 巨圖下一寸引 藏藏 積聚心痛 第七推一節下八川心被係而最之死之中了

中居 服病 霍乱等 省了美之 八分版服 霍乱 梅筋 陽鳴一如雷丁矣之 一般元 脹滿 水腫 世州 大小便矢禁不過 梅胞小便不過 所上一寸也明堂云下管,下一寸也 積聚 水腫 精聚 沒痛 展痛 脹滿 水腫 職區 霍礼 中意、同先也是巨倒下二寸也 又三上管下一寸"了」 口樂事奏之三海尾一千八十去也 斯·哥· 藏藏 横梁 坚如环 水唐 暖满 改伯三積於歷三時八条之 茂病 癩在 奔豚 頭图 版塊小版疼一次之 大小便不通太子奏う一個人 己上騎上如件

于三里 門时於財家中同脚東北一下於人 、行意だけ 色上版下作 猪風 有指痛 寒痺不仁射痴 悪節 明堂多 前外朝居时田肯,中文,頭師者是也 前省存高 帶不奉下冬之 地方二寸"月枝之肉,起光肉之端也 附品,原伸。雖手不奉,半身不遂,稅乃不用 川川 射東 有法 有皆疾 樓樓 煙病 風南 亦海上丁矣之 一一一一一流痛 高病一奔豚

又三里死,中一月 諸風 脚氣 不仁財疼 腹疼膝痛 法民家原不仁 膝痛 露流 明堂云冷海 して 丁美之 膝目下三寸一門骨外大筋內骨一间一陷者 敢 腿膝酸痛服兒童 起生罪 汽车门 及痛痰軟 鹽吐 霍乱 疾災 肓備 目病 鼻塞壁節 虚劳少氣 疼解 版提水雕 脹滿 淡 秦家相写成随高腿膝隊痛目不明 死代三 老 七傷 并以此之 收 版職有冷心暖暖滿 音歌是陽出版面 要皆丁灸之九該病丁炎之一家多 in in 不可將何 英腹 被馬

西公司民府派 福風日在北京市原丁生 我们可以完在样"安人的官门下"人 我院 街家 家府不仁惠節 又軍外際之三其子 打一脚風 機投 奏編 杨枫 月前 はいうかなかずり 不是 二二病一皆主之腹所 制力 「おいだれ

目不明 題目路童少治 百分後一百とり、アリ 議人唱 後 海清 下二分門被多八十二第五、推上八一分了! 度,起京北骨, 有心南下九 以完多大陽時 知らず穴陷者死し 耳痛 可鳴動力於 院種所象所

微力也の夢一少松り下の一同身一十一季一万百 作思之成为"五人又最民所宝方"了 模樣,那喝,下一頭其间四助三面了情三面! 九次王惟二之就又门人 崔彩都四九人奏届多 中原了可奏之心事務各三寸下り上多可但九月站 余也 又多千金云并立,推"近上又多後脾常上,属 林、村、一年一八千年一以代本所不成又度芳若一事 野丁生花詩雅直沒念所得不敢 上土土 門第二、門碑上、奏

八七日日 所在 少面版细丁五五次 前一八丁多茶 銀上多人 **孟**高 三 三 長 八 鼻 百 音 屬 齊 春 百 音 屬 齊 春 " 股門 主氣間 中四 大艺芸艺 内。深 手陽明 足易 序·诗

十日腰背 製出 後行二地行 100 血出不止 十日亦 五明和 73 野大豆元 是江江 一日半死

位品日 所印 正五未刀 中卯回 春丸肠 主針灸 出恶的人 安心被目 子孩 五七辰十二

幹之循不能生命心通故以地若死年正月中子将此 姓日州而不知者幸草四章 神界亦作日十五 生之都也 将军中以前病所以人民行人 名山以東、十仙人金谷回導養而買去素二女者行 有能民少典之子想致也是一班小龍湖上 有電信的人人一种我二十二日一日上 聖德主不能言後依有選可謂天授日日 公本的工的小街三輪 经限等一个智

花地善於發出於正在廣南不明人看不會心情服 統文を行かかけいという教を記数作事 市王世紀等 安市候後他主共看後以摩察在 八行作品以通常多万姓仰望帝既上界乃把其 迎盖中上界群臣後官役上者七十余人其小臣不得上 受感免級下利為之視火九縣神丹成有黄龍下 可与新心既改後也因名其處不漏網其写名島就 斯林氏 在位百年 又三還前山之了鼎湖之上参爐 府山外在衛門在大大門割取服作和公清所得

在明片門到電流江江江北衛而至公村、神事問四百日 寶厚頂介 聖之書而宣明七年小孙我得一小不敢 君病入骨髓司命亦無所奈何後数日相後乃竟 在皮属鍼灸所及再見另病在血脈湯藥所及今見後又見名城人便走数日病義召越人—四初見君病 之回若有病內可治之皆都以治學病之人一非正明 扁鹊 遇所初見亦 松移 若有症不過後又見 於倉田人

しいい おおっぱずれれ 二 心」 いろれる日東北西港震 三年以待将 いか 一人一人一人一人又五名美国中心下文本作 出京於論中也不敢是謂失道傳作其人 京湖 野衛 該血 電公外宿三日黃命乃三入所屋湯 有水川北言者及文其族力尤握其手右校之書日 司及以大信二京中五河出人不物心天寶也 一日本部三年人等三明日者、丁伙鸡色

图名春本尽矣以間陽度其方其可果。 人亦以以外方安拿一甚九一不不不是一人一个多公为 問當廣多小品方式多利之殿作任智惠 一必得其方為您舒克的本戶慶馬中史記 二初海上意明光展表於不成教之所投行之之一動 个面积 等於 坊言三律古 降不讀本草何以不名地性 用格心意あまる詳 小人管行为时

多原、月表電孔光本草 聖一長中界五人四院九九 へいいる情情行然 重之苦了~不问贵贱食面长切好也不是了了比如 南花京陽張苗新部等熱却於方又何妙解陰陽根 方大門在不介者心學目夜遊動改願強力ご 命結亦相以及一起五北国易六五並沒精熟的山乃得 高者 文义子信息行成高章人之代也名人 孫思樂云九大醫治病失帝南神受志之教 云水 欠食大意 惧 隐之心 整願著收食 高されてからなってきたった

· 殿者特惠 溪京三月的 门员珍在走唐食 人多新子的女子全之一也有患者讀方三年便謂天下 語るころははり 故学者必須特極緊係精動不倦不得過聽追花不是 力を養後意連門不頂は 九作陽葉不可免是夜明日告為完華後又下豆子吃 村川は 千万十年一次六谷竹な典 千金多統行罪為同分左右顧門 孫行 些病,近及治病三年乃如天下每方下用 ちるいりとなれてそのく

八行他報酬午全老者以下陽信人自然 化学生品限事源看有是您 以京辛三 之本意也 根此自得為內、神一所去死之人,所不污事一一 百此病不過湯小和川丁亦 然川九の三 宴不宜而况,病人若種不離此以而問者必此權於 為其一一一一一一一一一一一一一一 "家外、事而礼表法是一日所別年 新陰惡神書之外以二三八八

事、 財路と各計為とい命杖有二十多動九分様の 游沙前一次使了多些足必探懷中物質珠满手与 之既震爲過大行衣鉢世衙出七十餘倘立 乃然外近点相人似今生管女此報難以光心在 之作前 目目的京正是不可動言院數日次前也 就能中了一一一一人一人也是一个一人多隆呼 所後に中害え、子一等者一家い小方為問而 及過州所仍住民 於替的為指之不然是不治 雜之既籍前,所属外代親之母和死生以上死 文、及实過利

八五常 二十二治家以此一行一治縣以寒心亦行之雅 原藥增入如果的人後一般完了一時即甚為 治未病養 经五上光末病 中五治己病 即故克实其即東西令将之所之外也治己あ了司 所至病不晓利修但心治所以回路已居己 適分丁得年 天柱之東京南北此也 通年里子 除不多而於於己臣 問題之意取少以不孝病又起然其 海 海岭而行之海清以图出而行之 注之故寒食葵 治年病者 見肝之病則如所當侍之病与

一面以后,我後奉了所後数陽原劑力也多元 大,湯後十三叶半至三九一中间、食則湯久流 腰具有架八方方病易者,人方羽、人引引茶 い何服事、年人が行う力度不可人之所及出り大権人 灌下脉得藥力之之為大右仰長野冬一受順中處 服湯急滴品湯是怕效也 势備行版中 又多松室中省一步計一日分点外門 大香也

軍者 也又為是是一首人就人和一個不管 方亦回いはで 又多支人性病でる引からみた者 表老年省遊,小品方多表是看高以作其主来 取之其房随作終不能制為是、包方西京城方。 北東 一城 陽松東 多方 鱼到了 马重孩看也 人國一時上小野方方由軍者則不所制病語精 又仍是優示人其人縣病數服并則新名言為多 **展里被妻 童主被者世 又之少北去 病災重立人** 意一不順大了。 及方亦ら引き量

下病病 所名分为不及歷裏 東方引引 山服藥者可易為感勢 あ方かろう でき 神樂海人服小公方多卷處 病于意 而為 外 那五利不可知也自有降風同虚積聚数十利人 藥 小先達高多人東方之後人在 川病情点不 至名餘利乃即光也 本事方文脚乳大抵此言 後服則不得力也是心道既下三日子尚者 不一三五和人物。同人服情力又多中日之后 人能可不能被省人前人而取到 二、 者風病。香水風易脈で青川下

古人家的人 五个,原治了到二个大夫不 補病即復成也重就利之母的也最初老氣力 者床序動於年成也又服利陽月光看 一年辰者當八年和主面利人也 "少年"有一艺不一文久而後如人 小人人人人了了了大小人的人人人 食吸中疾情点或我的丁行神系之 小事等自有中國之人不避風 能行禁心果語精液陷門微

いる祭 也豆流灰吹白肉的包擦明无 (发世行者謹勿妄刑之 有人得日後用古方后 食品點天獨好録言九飲食不可放在到天思无 康備人间之火遇等的要得本の婚可以以大魔情人 看行方。本其所明以其所主要他 上逐 点了又沒有婦人因產病因亦其重方坐過 可以减。我小者们之为疾之大者則最神能文得 恩則潘寒与然相拒,数与寒相連不可以言言不 董一·後奏行二十八八八八分子 各随 飲食十分之令人也後生作

漢榜禁忌 當禁有婦人小児,產品養養之 ·大松不見足人维大公高十見之大思切写頂之。其情 、大和大阪 孔 外令八不与奏之者 何こうでする人は人はあることか 不行んう 紀二元 下、不正下二族下三十二人同地不禁而死 命湯。麻黄湯、清小湯、不在禁忌之限也 了金書不行行心候行之者 俸衣枯燥的 九八百二十七斤之者。それ因塞人人門 と「私をあると

水谷之成。西山北京西川 山山 山下大大河 不说手口上一人之一一人生情,有心 福北门 日 四四四四四四班班通志教 江清一三川三天夜夜一上 高者一計 致之 信題前不明不言若風 成者東西 殿門了 公司 成代第三十二十二个作品之 将关門 三型的版系下 百花一樣 信二十二人 自引系物有信頭者今 一人の問れた人、湯天と に心不は名

也能之形。大几那到为犯色然首先成功无一欲則 評美二 衛義結該病原順知為性我中加城真共幸 至 不行散陽煉陽品福務也 一年 社会但務原於此段 , 給資本草店了一个之思老有与百丁相 於日本花見防災從在有 當後不尽對三得其三仍敢用循膝允 1001 前院が以今八合下が財田三門你以多重に 及原門所有一直管言呈結己就不有於以在此不不 三五 一 一 一 一 一 一 放你自門可不情才命 理應於丁分内三人的心亦三人的化会是行行政分別と 養人的指送而以上令、我類何以大概的古迹多差隆 死何十五而不何然行是念己即害居民合諸藥草 2月日日中京三班馬供公全職等去事 不然 上美國的前那是高江立同欲何食此五春多

不明舍一点出 他可一点光 你不一一一一一一一一一一一 人大等了病 又福因發之意,我有女力三者當地醫 一葉の形成外展を加る 女明元年以上りからその時を見り 多相对方 在市資得 此光三編丁食之住倉後自治不可食 花婆りと一行は蔵でこれは「年月下一は立頭亦と 內斯多然件性程子心 若為京食田者病其相對西明醫玩。可自衛相信 藥施之病與稅棄做九十一却天上人中 厚福快運力 送為物罪身者風為員人因花一可報動

福田方解題

福田と云ふ詞け云ふまでもなく佛家の詞であつて無量壽經浴影疏に「生。世福善」如『田生」物、 故名三福田こな

どある意である。尾崎雅語の群書一覧に

整すものは八編田の善南を植るなり。 おもへらく斯/叢に沿て万名を述ると花器の雪草博/域に贈り潮和の 病都で器百病恐をなはれり云と此方を傳へて人を採ふるのは八苦難の技情を修するなり。彼藥を用て疾を 繼素同じく稲田を参らんことを襲ぶところなり隠土沙門有林序〇世書近來刊本世にまれなり、 筆としるせり,叉他の巻に守憲書⊾之とかきたる奥書もあり○序に曰、 初"諸氣より終。飜病にいたるまで万 此書本文自序となに片假字に しる り、 第十卷の奧に有林福田方卷之十右此一卷者天文四年未六月長圓□

と云つてゐる。富士用博士の日本醫學史に

臓の古寫本を以てこれをしるす

作ルニ至リ、 漢學へ大二衰へ、納粹ナル漢文ヲ綴リ得 女多ク、從テ際學 平安朝ノ時代ニアリテ、神廷 更二此期室町時代二及ピテハ、漢學ノ蹇類更二甚シク、支那醫書ノ浚來スルモノアルモ、之ヲ ノ如キエ 隋 切り二漢學ト佛教トヲ難職セシニョリ、漢文ヲ請ミ、 唐ノ方書ヲ探拡シテ、 ルモノハ稀ニシテ、學者ト野モ、 外觀粲然タルモノアリ 尚赤吾妻館 シガ、 漢交ヲ善タス 風ノー 鎌倉時代ニア 種異様ノ文章ラ リテ ルモノ甚

絶エテ、 徴トスル所ニシテ云マ -1 ミ得ル + ト師モ、 ラントセ エ 歴然トシテ治 得ニ達スルコトヲ 期シタルナリ。此ノ如クニシテ、我ガ醫學ハ鎌 岩時代ノ醫學ガ、 ルモノニシテ、福田方以下ノ營書へ、皆漢語ヲ和字ニ訓ジ、野居ノモノモ理舎シテ方意ヲ明ニシ、 親試實験ニョリテ以テ治循ヲ究メントスルノ狀勢ヲ呈スルニ至レリ。 讚書ノモノ既ニ稀ナリ、緑籍徒ニ鑑シテ、 モノ 漢學ノ素類 シ方針ニ從と、 1 甚が動ナシ。 ニヨリテ漢字ヲ讃ムヲ 福田方ノ序ニ『近代行》醫者へ唐、 實際ノ方面 ニ向フテ開展 得ザリ 日手ヲ全フスルコト シコ シ、 其外觀 1 1 柳、漢、馬ノ如クナレドモ、四部 却テ訓詁是レ事トシ、 八年安河時代二於ケ ナシー = ト日へルハ、 レ此ノ期ニ於ケル醫學ノ特 12 摸倣 方 *ţ*,[] 當時ノ事情ヲ盡 ニ
い
ラナ 祭外タ リ學久 12 n 草澤 モノ ル郷 シク

大日では重要たる資料で有る。 と云つてるられる。此の通りであるが、 獨博士云く 醫學以外に國語方面にも漢語ヲ和字ニ訓ジと博士が云はれた點に於て

+ 野丁 福田方十二卷へ北朝 時代前半期ノ醫學ヲ代堯スペキモノナリ。此書奧書(讃文)ニ依レバ『凡ソ醫書ハ上古ノ方、四千八百九 トテ、 太平御門、 申古り來ノ方へ諸家ノ作、其態極ムベカラズ病ノ數ハ一千八百餘件ナレドモ、獨本奇病ラ盡スコト 醫學ノ困難ヲ説キ、此ノ書中ニハ、 事林廣記 ノ貞治年間 博器鉄、 (西曆 一千三百六十二年乃至一千三百六十七) 最勝王經、 病源候論 止觀、等都テ一百餘部ノ和漢名書ヨリ、 難經、 脉經 素間、 僧有隣ノ著 太素 明堂經、 ハス所ニシテ、 必要ノ論説及ど 图 -+-經 圣

治方ヲ鈔録シ、愛ユルニ自家經濟ノ說ヲ以テセルコトコ日ヘリ

此書記述ノ盟裁 電ゲ、強ノ原偽ヲ辨シ炮災ノ法ヲ詳ニスペキコトラ説キ、 コレヲ倫明、我邦二行ハレタル醫書二比スル二大二同シカラズ、卷首二先が高馨恂氏論ヲ 次デ各病ノ方論ニ移り、 疾病ラト陸ニ預別 シテ

- ()諸伝脾胃 七氯、 元嗣 五.噎 脾胃小和、 暖迹、 嘔吐、戶胃、 電風
- 腹中語的 積聚、 気分、 胸語 門中脹滿 水腫腹臟、 婦人血分門滿、 婦人水分腫臟 四八腹痛 婦人虚浮,
- 9 虚份歸瘦 姙城鹿藻 心腹淵、 相談 六極 脇肋痛、 七傷、 齊氣腹痛、 傳屍. 客熱、 疝氣腹痛、 痼冷、 小腸氣腹涌、 悠悸、 勝痛. 卒腹京、 消湯、 略誤、不限
- (四) 風寒暑濕 中風、中寒、中暑 中濕、四氣兼中
- 76. 則京館區 则派 雅風、 原施、 五輝、 自行、 頭風 穩調 婦人搐搦、
- (二) 傷寒瘧疾 高寒、瘧疾、似瘧病
- (F) 咳喘吐血 暖堂、 概飲 間息、 肺萎、 師題、 吐血血 (血給
- (7) 婦人諸疾 姙娠 題別 問題 横流、 難直 胸衣、 胎光、 產後、 產後然病
- 九 (一) 七孔瘡腫 小兒諸病 班 變点 是以 河河 毛髮的、 旅搶、 眼病 酒瘡 耳病、 高風、 鼻病、口病、瘡腫、幣腫、幣瘡 好所、 態 不行、 不語、疳病、
- (十) 手足脇腋病 尸脚、肉刺、凍搶等、狐臭、漏液

福田方解題

卒病 全創 傷班、 尸麼 万紀、 高憩、 蟲地、所傷 食声

單二支那醫方ノ模倣ノミヲ事トセザリシ 今日吾人ガ手ニスル所ノ書籍ニ於ケルト,其僕式ヲ同クセルヲ認ムルコトナリの蓋シ、豪邦ノ醫學ハ平安朝 ブ。又重要ノ疾病ニアリテハ、特二既往症ノ軍第ヲ意ルベ 次デ脈及ビ教授(診所)ヲ除ジ、相の行 響ゲテ言フベキコ ノ醫心方二於テ、唐風漫版三餘必ナカリシ時代精神ヲ吾人ニ示シ、録者時代ノ頃皆抄、万安方三於テ、支瑞 從前ノ醫書ニ於ケルガ如ク、支那ノ醫害ヨリ 鈔出シテ収捨スルコト無キトハ大ニ其趣ヲ異ニセリ、更ニ特ニ 右ノ十二門トナシ、東ニシヲ漁湯スレドモ、韭疾病へ實驗ニ照シテ、必要ト認ムルモノヲ採リタルガ如ク、 文化ヲ、幾分カ日本化セル當時ノ趨勢ヲ吾人ニ示セシガ、此期ニュリテ我に但ガ實際ノ方面ニ部展シテ、 トハ、計書ニアリテハ、各祠ヲ論ズルニ、先ツ論(原因)ヲ器ゲ、外證(症版)ヲ說キ、 へ福川方ノー書、 「埼症端別)ヲ擧ゲ、死候(豫後)ヲ示シ、終ニ治方(療 カラザ コ レヲ證シテ館ア ルコトヲ読タのスペテ記述ノ次序 リト云フ ~ 3 (本) 二及 門設

假名遺及假名字體治革資料に各書を解説せられたのと同じ形式である。此一枚語は一寸見る事が出來ないのと、 本の現在は衝更大切である。大矢博士は此書を研究せられて一枚摺の物を誇行してゐられる。形は博士の著の 本會が用るた本の解説になるのであるから極めて都合がよいから轉載する は漢言の登訓を假名で傍書し、かつ全殿が假名文に成つてゐるから様々に役立つからである。殊に文明の古寫 と云はれた。本書を醫學史上より見た價值學は此博士の解説で盡きてゐる。本書が國語學上に珍重せらるべき

福田方 者者 沙門有隣 太數。全十二、五六供

也雖干 本ノ軍行ナリーなど見えたるにて、 井少輔为父ノ篇名ヲバ非常野ト御ツケタソ知品調非常人ト云語ヲ取テソ松井得 ~ 川氏日本際學史に「編田方十二卷へ北朝ノ貞治年間僧有隣 識語 人ナリト云説モアリ有体唱出方ト云ホトニ有林ト名ラ云タ者作タト云ソ何標邊師如然ノ再聽ノ著タト云ソ日 加強タモノソト佛ト云心ソ松井モ十佛モ明監告ノ弟子ナリ日本ノ編田万ヲハ明監守ノ作ラレタト云ソ或 部門法限为祖父ノト ヤモ ノナ 金不可傳也文明二年三月口口寺執行坊書了(第一末) 文明二年三月日 所書席末に手畴とありて年月を記さず、次行に洛陽隱士臺經營沙門有隣市とのみるり。 1) としい 佛法眼カラハ上池院ト御ツケアツタソ此カラ取テソ十婦カ子ヲハ土佛ト云タソ士ハ十二 へりつ 計書の成 廣隆寺執行房秀確書寫了極秘不可及他見了 (第二) 此一部書最繼秘 诗殿竹籍記、 此言の、 7.1 りといふ貞治より一百年許 當時の警界に捷威ありしを推すに 下部に多紀氏臓書印等い印を押したり。蓋多紀家舊 ノ著ハス所ニシテ宝門時 泛 の文明年間の姚思 堤時所在 東京帝室博 だるべきなり。 ト一時ニ云ワレタモ 카리 代前半期ノ醫學 尚の 史記抄に されど富士 1.4 ラけ代 次を當時 「双柱松 400 ノソ民 194 八別 大ス

部所は洗に納附 此書極何華上部二時 せるべ、 學同子 誰に与後は初館に移れるたるべして 所

部分寫真 (支次ニ卷二ノ終、本會刊本土、二七九頁ノ文明「年云水ノ県害ュ出ス今暑ス)(太會刊本中、三七六頁ノ小綾命湯ョリ、七行、天色ノマデヲ出ス。今暑ス。) 加製

欄には

明》 吐料 ラトニムヤ 塘 傍訓 7摄 ア系列 灰 匪 タツ、キ **三班** 1 思 なるがたなりのり **臍下築**痛 1 | 1 龜 沙狸 黎 ウテ n 胃ッ 中 急ウチ コ 酷一煮テオ P クヒノ 半夏 第四 紅際送出 デンカラッキッへシ カシテ炮シ裂力 色白っ肌理管明緒オノ , 卷 クリメケ ーノキ 赤った。海道 時,疾 ラよテ 眩がない 神学 愈昏亂人心第二卷 B (第九卷) ?的 **沙块** メ ŀ 坑 横箭幹子 心驚膽寒 3 E シ ٤ リ四 * 狭 《非逆 カ 遺浴 經籍 季動 サナ 丹毒 ハ 如 ラ 杵ま ナ 徒 (第八卷) 一族ト窓ツ 西(第十卷) ケデ IJ 中院 ル 一 塩目、牛光、全。・(序) (第一卷) 紅煙 者良 ŀ **新** 嗜い (第三卷) 連5 ナシテ 3 る信息 ケテ ブ 小腹、擊引, (第十一) 地红 フシテ ソ :輕 菘草 (諸藥炮灰融) コ 验完 調和アハセノ 緩り \exists 脹" 無対 ١ とれるな 青布皂角 抓心 四肢緩縱 簸人 光明 ク 神筋の ツク 'n 道視 IJ 腦一後 激华 沙帽" ٤ が映革徹シ 7 制持痛 ソ ル 柳大 (第七卷) 明淨火滴 小腹 (大核) 氈 クヲ P 鬼家 -7 東の意味 アテ テ捨テ ハ粉 信意 大粒 カス ↑鬼 1) カメ 池

事" 音便 假名字體 ハヤニ行ノ混同ノ例。熱 召员 細索"

青布 輕気

ルコ

ハワニ行ノ混同ノ例。 〇アワニ行ノ混同

所)以:

假名遣 F

ノ例の 唱~

寒烈 垢"

危等

住弱,

沸湯

恍惚。

七

福田方解題

福田方解題

000000

【欄外】文明二 後土須四天皇、七 紀元二十三〇 洋曆一四六五

以上が大矢博士の一枚摺全部である。有隣の傳は本會率一五〇頁に屋代弘賢が本朝高僧傳を抄節して寫贈した のが載つてゐる。本書卷六(本會五二六頁)に

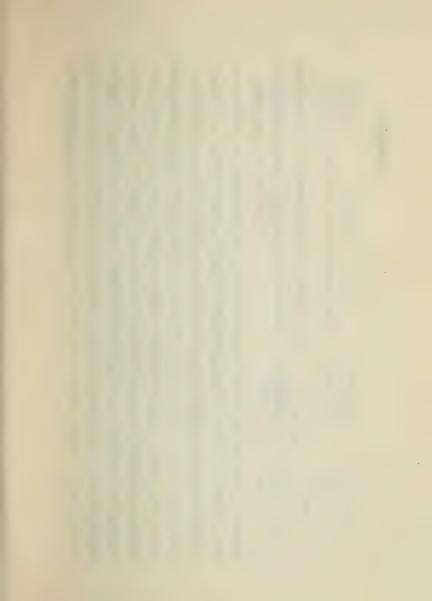
病源ヲモシラス、更"アタラサル藥ヲ與"人ヲ殺者ノミアリ。尤歎息スヘシ。誤ヲ以"誤ニツカハ有材力悲田 テ命の天ニマカスへシの誤テ努水人ヲ殺ヿ勿いのタトヒ干命の頭のトモ深の解去スヘシの庸醫小財ヲ守テ一定ノ 志。祭カリナントス。伏氣へ悲困ヲ先トメ世財ニノソミヲカクヘカラス 一々ノ脉證微細ノ對治ヲサトラスメ只宜"治(之)死スルコ轉職ノ間ニアリ只治セサランニハシカシ。七日ヲ守

此の一條は今の醫師どもによき教訓で有らう。

る。是れにこりて、是れからはコロタイプ版にやと一寫真石版の方に據ったいと考へてゐる。但し共の方法を まかせの世で有ると云ふ事になる。 取ると又或る動きでは補空を受わばなりず、然する事は學術上多少の確實さが最ずる事になる。つきり思ふに 點で簡分小言を認かされて出版者にも交渉したが、會計上と一つはコロタイプ版な。物がかよる出版には都合 れまい。又コロタイプにて出版はしたが何分安本の事で有るから十分の事が出来ない。第學の人からは不明の 嘉が時代にすら稀覯本で有つたとすると、今日世中に殆んど無いのに尤で有る。 非で少しちぐけぐに成 が有つて同じ系統の本では無いらしい。然し缺脱は補つておく方が何かと便利で有り、かつ刑本も既に尾崎雅 此會が此書を變刊するに就ては缺脱の處は刑本で補つたが、刑本と此態物館の文明寫本とは元來よほどの出入 よく行かぬ様に出來てるる爲、十分注意してもどらにも成らなかつた。下管は少々は改善せられてもる筈であ やむなしとして類かる形で出版した。虫はみは多少技出して卷末に添へる事としたが何分虫が湛しくて補ひき るが又

本書出版に對し帝等博物館、京都大學圖書館の厚意を深謝する。又中版者長島氏の苦勞もしるして置きたい。 私の物できから氏を困らせる事に小説つたのである。

(昭和丙子十一月廿六日正宗文庫の山莊にて、 敦夫しるす)



有林福田方虫蝕補塡

と亦領方する事が得ざりきい 日識」「稲田方病序」及び各巻の河に出せる日益の中詳しき分等は、圖書館本には何れる名かれたれば此 得しかど、第十二卷に湾に補張ー得むのきっとなりぬ。幸に此の明卷は比較的虫害少き卷にてはありした、 くもなし。エス倫学特長の際目に觸れし比較的長文の均數箇所は事のついでに掲げおける。網卷頃の一窓 安全を別り得ざりし事遺憾なりき。且又獨考館本と博物館本とは一致せざる處類を多く、全然系統を異に せる物と思はること、阿書館本は後人の増補にても有るらしき派加多く、元より細かき異同など擧け得べ 日を得す多くは帯護情書館の職本を借覽して刊行者の手にて此の稿を作る事になれり。然るに帝議議書館 本書門行に當り命崇簿犯能衛廠本の缺巻及び各登の説満を活版を以て補ふ事となり、其本文は聖慕者の手 に一大版をよる翻訳し、それノーの箇所に補入する事を得たれど、中館の文字領域に其の暇無かりしため、

〇門下の表中「館本」とぜるは帝国調書館本の路絹なり

卷第一

「百數」 行

= つこ」まで館本無し 虚物品接

[5] 六

風寒 傷寒華疾

1/1 〇以下館本無し 門宗衛軍

三七

南無大悲

四〇

Ħ.

九

方興二……先。初尚美

論ヲ出セリ合和ノ者精細二六見メ是 ヲ差震へは誤しセシムルコト無い

諸樂當"神効ヲ得へキ者也

四

九 小

- | -但少维寅八大塊一又黄赤色一又

+ 硫黄ノ香……雄黄極上下、粉ラ

> 「百數」 行

若アハ行 テウル 行雄黄上名の此

為黃

九

湖シツマリ……又生で使

生金能、数人者也凡金銀箔ラハ気 者、不此例一日本物八下品者也

P71

器力の

際ラ洋グ

四 符十

陽起石

紅がク

磁石

九

色……住上ス煨、使、

針ヲ級スルニ……上前よス 黄丹 久。停 炒 得 輕鬆

四四四

唐州、……丹へ黒赤色、元光之

福田方補	九 蘇合香油 陶器居紫槽 相似之	五 雞舌香故丁子	一油アルヲ良トス黄气	四六 焙シャ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・クアフレ	或本章	十 凡此靈ハ十便万。アフレ又	九へ、キ洗ア	八水ノ清ホト	七 藿香		ツ禁之一次沈僧ノ	四五 一 石乳香 玲瓏トメ軽菓アル者真二先	十 入建 "敲碎"研細言"使"	九 本草云镇 1	四 沈香水"沈
	JL	. 八	六			四九	-J-	[1]	四八一	+	九	六	四七一		+
=======================================	村総ジタ		た	一一部碎,蒺葜	黄、老鸡属也心	傷人。也試之以摺、三指甲·上透甲·	牛豆 共重層而拊起氛 "物、多》	降眞香	白膠音又云思香乳香、亂	又云今	総色ノ変者、香ハ不甚之	藥、入二、	禹云諸香汁ヲ煎也アラスト	ル者好ッ	堅實。「芬香之重、如石是ヲ焼」灰白ク

	五四	五三				五.		新 .					五〇	
Ŋ		+		+	五	-	1-	_		+	九	Ħ.	_	- -
7	太長。但鎌倉邊志卜云	遠志 痺者好。唐物、	テ使、ナマシケレハ	班猫 足ト翼っ去・糯米・マセテ炒過	白殩蠶	雅中龜甲 酷"黄赤色"	枝膠ュ能是見弁,可用者こ	在如食洞。凌二天テ人文	中號"	試之法队大、鼻、邊 サシック 驚	又女清切	全蝎	炙テ使、	恵思マカメ観之。
	五八				五七				五六				五元	
L		7												
		-j-	九	八			t	六		- -	九	八		+

[M

四風ヒカセスシテヲクヘシ	三ホリテ生クハ	六二 一 麥門多 堅ク時心ヲ	八十斤調可置	三和淳ラシ付テ	一 香豆酸エクラス …等分。	六一一沸湯ニュ スラシス、クコト七反なり	十 者、胡麻シ・・・・ヒラ円キ	九 使	六〇 一 ムキ去テ但此虫アラへ附	十 肉豆蔻 麺ョコモテ… 頻熟	九春ハタヒテ属一モ	ニハリ炒ニ	五九 一 生キ時乾ッレハアリテヒス	十 鳥頭天雄等"又 如此又日本,
一 六九 一	+	六八 九	六六一		六六	ト七反生ョー	=	六五一	ラへ附	熟六四一		t	リテヒス 六三 一	-
枝子 … 極テ大ナルヲ…・槙子・	ヲヒテ選ヲ	川椒	大穀	モノニッ・ン	質問スパナリ如シ	麻寅十沸ハカリ煮	篩,又皮々~	削っ去。細。エリ取テ三重、吊。	去。切っ日ノ薬、入ば、アラ皮	ニハ蒼白ノ白ラ分でト云	ヲホヘタルヲハ斉朮、云 …但本經	米泔七日"切。	ツヨク搗ヒサキテ極テ	勢スツキノナカラハカリ

帰田方舗

	七: 五.			七四	芸		七二			七一				00
<u></u>		4-	=	-	-	四	=	+	=		-1-	儿	八	=
粉ヲ以ワ、クスル也	物是"化テ張壓也	室醒者是八海母血 … 又壁錦下云	ケッリ去テ焙テ切り	蕪夷 少炒過メ	大腹皮 湾等洗テ又大豆	鳥樹下云	洗テ鎧。核ヲ去ョ	フトキ布ヲ・・・・・・・・・去。 憲汁っ	欲、重"赤瓦器"又	五度ノ後。焙乾 痛アラセシト	心ョコソケ着一如此	一端リ光デ膜ヲ劉去デ	刀、峯、テヤハラ打ァ	以テ押和デデュ
八四	-1-	-fı	7	ス三・1	-1-	八二 一	七八	七七一	-1-	-1:	七六一		-l-	-12
八四 一有"如"心腹絞痛。時段"時止	十 件簡不行為"逐" 緊牢,坏塊	九	五 雖 五種	入三·一 此皆五清失度動寫傷計,終陽不和?	+	八二 二 七氣	七八 「以下八一頁迄館本無シ各卷同」と	七七 一 筆与食氣不,欲,相逢,,,,,,進,樂司	十二時間者	九 空心者	七六一			九

					八七				八六					八五	
司司司	ル	八	I	-		-[-	Ξ		-	+	九	八	五	-	+
幕 担ち電	臺。入安息音符~和寫。	安息言ヲ聚。 研ン	詞利陸	黨 合香油	旅スル神与於幼切養与海切傳足	中人 小兒 吐乳 大人	疾。生セン	差比差、… 中也不可	緊急手足拘罪ノ	気道工行忽然了作風シー・・ 牙展	多… 图事"一 氣不以得 也是点	高三司方氣中高云	一点,時ヲ	息、或、疾飲中節、因テ電道思心	中院 不舒快了或、振趣雅感…喘
			九一			九〇		八九						八八八	
	九	五		+	=	_	-]-	八		+	六	Ξ	=	-	+
	丁香港散	局方為五	冷。真息。絶ナントス出「無りと	又打了福山。"连久"	置テ結テ件ヲ北テ	又職體"ツイテ南火ノ上"	又无祭不和。治一起効了	又方云	最	鬼生一客件一衛生驚怖或一顛漢	智元・・・・・ 川七サルラ治	で闘子、大サ	酒二化テ並容心。服べつシ	第一番ニーツルへ・・・・老人か見た	每"炸円",梧桐

-fe	-fe			41				-11					4,	
九六	九五			九四四				力, 三					九二	
-	九	+	Ξ	=	+	九	八		+	六	=======================================	=	_	-1-
フ傷寒熱混テ	フ脾虚者	即減ヲ得。又食政 … 壅也大壅	私云	桃李 … 苍 宋 酷滑手物,	利アリ近代多がは、川タリ	度, 澤又合 … 第人, 為一光	又一法云	批把集善汁ヲヌレ	自豆蔻… 縮砂人參	領コ 養地	惰シ如シ中焦	多一张道》	隔落思シ脇肋不進/或、	和劉方云中滿下虚胃不和一之智
	101				0			100				九九九		九八
	1011 1		+	九	101 1	+	=	100 1		+	九	九九九		九八一

福田方補	十 五十粒,生薑 煎物。服。時不定服	一一九 右細末 字臺 汁以 翔	十 閱 十 惠心 ~ 驅逆	一一〇一心氣不定柳後"渴 宿服之	十一小見、腹、塊アテ寒熱ツ如、症者服之	一〇九九九四門湯藥	一〇八 一 陳皮桑白皮甘草	九 脹滿上 陽膈	一〇七 一	十 煎火下"亦"。時,尤神之	二 能》邓ヲ正。調公中進	一〇六 一 煎テ塩一捻リ入加或、熱酒	十 右末"爲"生薑二片入テ八分	一〇五 一酸水豆八海氣刺了多手足	一〇四十 痞悶々不以快~邊鳴り
	w 時不定服	糊っ	迎	服之	光程法服之				清秀升	元 申 之	AFG	或、数酒	入テ八分	刺でか手足	:鳴り
		一九	一八八		一七	一六	<u>一</u> 元.		四四			1111		1 111	
	十一理中湯	一九	一八 十 附子理中円	十 又大病	一一七 一 嗜風シテ全。不食	一六 一 土器"入于八分"]	一五	十 右末メ水二カハラケニ	一一四 ウツスコトク	"寫"注下"水	十間からより二クミ留飲アテ腸鳴温温海	一一二 九 助疠痛嘔吐噦道、噫酷、惡心。氣滿	一藏荷不罰"飲食ヲ不思四肢治"	一二二 東喬皮黄	之妙也

=0 -|-加野、候ヲ悪ム 大河不一後一門中 100 學電二大年夏湯···壽·斯·蘭·殷之 上高リ

又恐八年歌: 柱ラ湖テ 右末"為"大肥夢四十九枚生置四南切

片。同。煎メ ナツメ震……取一皮トだよヲ劉云肉ヲ

HILL ……病師遊タリケリ スルコト……沃か明ク……少然又

五 四四 八 門ヲタテスには以 快福湯 …… 谷宗 …… 陶江沙台治文

於三城近下八城 ?! 丁寿湯 濟生万云

桶皮白ヲショ 丁香各一南

二八 二九 + 橘皮竹如湯 私云家遊ノ方多り

=

金属二局万差目場 … 茯苓湯

宜。念 三国万云若シ

th 八 又云嘔吐ノ病云。 輕利益

ナレ 反胃脉

11111

三四四

无力 李一吐道照飲。……吐、因易

以、門っ煮テ

前"溫服"或、丁皮ヲ……人参蹇香湯

三元

或ハ丁皮ヲ去テ 一個使

八

穴ヲ灸『十肚若シ

九

				1四〇		三九				一三八		一三七		一三六
_	九	च्य	=	-	-[-	九	四	Ξ	=		た		+	-
	智問家滿也	熟光活	死トスルヲ治、方云	常風ノ注利クタスド比フス入テ	没小一茶土器テト出。報	母生薑 大ナルヨニ境ハカリ泉ノ火	理によっシ	局方云以テ韓	寒哉ノ渚へ冷っ思也	冷ヲ喜也がり湯也	者、生ク	食消セス風、吐利	展風多、寒葉ヲ	澗氣、病ト
四五														
75				四四四		四三					四四			
九九	四	Ξ	=	四四	-1-	一四三九	九	四	Ξ	=	四二	十二木瓜千根至	九	=

福田万石

一六一	卷第二	九	八	四	=	=	一四七	fici	Ξ	=		一四六	+
ことはで目録の分館本無し		漢宗、名確霜トモ作、方モアリ	傳屍置派	作りの魅し或カサル、二暴為	張方。云者为女暮,质陵原,	精之違近嘉荫、中縣人	註云者傳云王少『醫万習》	理中湯	雜食	与後、乃、意一マカセテ食息	日ラ	定于一日了全食住人仍~少女	其飲、宜。煮タルヲ吉方云病
													_
	一六五				一六四					一六三			1六]
	一六五	-1-		=	一六四	-1-	九	八		一六三	+	プレ	1六二三

福田方補	一七〇 一 又氣ョ傷ラス看聚嶽寢	十二盖沙豐、	一六九 一 礯石 巴豆 食積ヲ治ス	一六八十 雄黄 藍粉口物 海積ヲ治ス	十一條ノ筋脈アリテ急痛	九 積聚メ而腹ノ内 在テ	农 子生 ~ 之	一六七 一 病ヲ腹ニー物アリテ其形魚ノ如之即	中ノ僧覧を	假ナリ物ヲ假テ形ヲ成ナリ昔永微	堅ナリ堅ナル則ハ酸レカタシ腹トハ	十 饗震 〇以下館本小異あり」夫養トハ	一六六 一 字弦急ノ者へ生	十 脉來コト小沈貫、者、	六	
	TL TL	· 八	辺		一七三一		+	之即七	一七二一	徴ノ	トハ	トハ	1七1 -	4-	111	
	領積食績ノ面	兩ノ脇乳ノ下ヲ	聘塞虐疾ニハ	院	之子又大病化。難及心中	テ客語で収	傷耗スコト不能」語常、飲食、中院の傷	又云此方'局方'	韓塞ノ血髪 山	不思言を開禁。成ヲ治ス	不思考。	和獨方云心下脹滿ノ食ヲ	楽年。 疾債ヲ治ス	巴豆、 冷積ヲ治ス	者へ輕キ者へ	

物ニテ下婦人ノ脾血ノ痛經血ノ	超田方補
+	
右方寸づ見	
スクヒヲメシノ	四四
ノ湯	

七四 物ニラ丁好ノノ胆道ノ痛…… 経旦ノ

或ハ時ヲ過テ不二、來了酷ヲ

八

私云……、朱砂ラモスル事之

+ 紅円子 ::: 三因方整疾部章土朱 治證

七五

欲撿之者

中罗策

七六 本事方二

刺張上り筆葉の陽医シ腹フクレ関の小 變作出。一時……… 腰脇。攻

七七

腹順三大小便

曾ョリ……食後。

-6 消標散

TL

(左註)収テカス三兩ヲハスツへシ

七八

凡腹病ノ藥 点陳皮 青皮 落我术

七九

ナレ

又野辜、左討館ぶ無し

末メー南ヲ収テ

日二一当十服ノ

或八三稜ヲ

助氣丸……三焦痞塞スルヲ

一八〇

敬水下

=:

一八一

又一方……一套牛子。名。枳殼丸

.....老人, 腹讷

一八二 破嶽頭

--

尤"川拾……腰腫死者"

一八三

右白皮ァ取テ丸カサル、……病動。

治癌瘦方

草根モ良

香附子

DU

large man to disse	一九二 一 篇ノ方(地。シマワシタルカ如生	一九一十 ハナレテ臍ョマキテ	一九〇 一	十 飲門,中。枳皆湯	一八九 一 桂附湯産盤ノ如ッナル是ハ	一八八 一 腹瀬レテ脇ラ鳴り	十一飲ヲ挟ッレハ共氣凝飲ノ爲こ	一八七 八 中滿二皆相類名病	十 又醫學云一一酸スラモ治ス	八中宗橋漫等ノ腫	一八六 一 右芫化。	一八五 十	十 サハリン下サントノ 葉舞	一八四 如、梧桐子,酒可以テ下不公知まる	十 右干端。末,微火ヲ以テ
	一九七			一九六				一九五			力。四			一九三	
								T.L.			兀			-	
		-1-	=		4.	1)UI				九	四二	-1-	九	=	+

1.		IIOIII 1	+	A.	11011	+		1101 1	+	1100 11 4	九九九一	14	一九八一	+	
11日本人 ア	クニュデノニ	右欧咀、テ無服四錢生電五へキ干棗二	大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大	强中渴生冷。	陳皮各二分 华夏	傷動"心腹脹妨有ヲ	ヲ去ヲ寒多青ハ	明電者、中夏一分ヲ加。利スル者、大黄	右阪明ノ無限五片乾棗二枚水"煎	大異香散	脚二肢道爵二ノ脚職気ト	大陽-移。	青ナル之則水和飯也	牌店腹版者洲シ琳暉テ尿、	
		二〇九		三八八		二〇六							IC回		
	=		-1-	儿	-1-	六		+				十		十	
1 11 11	岐伯云必ҳ至ҡ時々	脛腫。腹仍で大たへ	状ノ如ク頭脉助った	始テ起作門装	橋蘇丸紅圓子、館本此二項無し	單方	:気冷テ	青木必勢方云一切、氣腹脹滿…	入党	与ヘシ乃至蓬莪朮 三稜 陳皮等	7	前/異香散"減シ或へ加減	スルヲ治スル方	桂心散平"心腹脹満。…・痛死ト	

		四						111						0.1.1		
•	九	-	+		-[·	[11]					-	+	四		- -	
	開スル者 (陽水也	當"道ヲ通ヲ而寫之	以下庫、宜力肝實治力	\$************************************	一或《不喘也此》	大自動物ト	图	私云韓院者、腹ハカリ湖、テ前日	答少衛宛十…一数十六年	脹也ト云ヘリ	腹筋地是人又以為裏云鼓	動版者 跨、又云色 蒼 黄	浩是水気 ノ	不人頸脉動テ面腫。	水腫ノ洛ハ必ス目、下腫べ	
			OIIII		三九		三八			二十七		二二六		三五		
		+														
		i		Ξ	_	4-		-1.	九		+		- -		+	

八

	出出			二二六	三五		三四				1111111		111111	11111
	-	+	九			-1-			=			+	_	-
入テー盃-前プ	右等分。吹咀、每服三大錢水二瓦器。	大腹皮 生蛋皮 桑白皮	喘不湯水氣治ス	水醬・而浮"治ス	陳皮京三稜 枳殼 檳榔子	而"手足頭面、	諸方。田セリ上、供順、	調之道済、	双和飲	妙ナリ	小便多の又利腹ノコハリ減神	私云此藥へ奇妙ノ効で尤	與茱萸湯選命方云一切/治之	滞*則、浮腫シ脹満ス如此病!、
二三六	三三五	一三三四			IIIIIII					Omiti		三九	三元	
- -	mak	-}-	四		_		+	=	-	十			- <u>I</u> -	=
里茱萸湯ト枳朮湯。又調經散皆	· 建ツッツッツッツッツッツッツッツッツッツッツッツッツッツッツッツッツッツッツッ	営歸 芍薬 人参 桂心 白茯苓	海温に	『ヘシ日』五六度拭ヘシ目・	汁中内でテ屋ノ上ラ拭へ手二隨テ減	取テ縄・以テ	右和皮、吹唱ノ水五升。以了煮テ三升。	鯉魚娑	度時ヲサタメス	每服牛应大棗破人日二二	小便赤。遊,	末通散家廠方云 脇肋刺 如《痛》膨脹	却。宜、大便三利下スへシ	コシテ服。

二 : 元 :	1	一 元 [2]	1	五三	- j -	三元	-}-	三元〇一	二四九十	二四八七	二四六十	四		二二十二	
中語下電乳トニ宿冷熱。一		此寒氣ノ外。寒ヲ縮総 絀	熨心腹乘容 卒然;	・薬豆苈(皇房胡椒=似)良蛮縮砂	血痕ノ胸ヲ徳テ	甚者"在特易"大黃尹心思新	沈細者主ク	理アリ凡ソ職権	舒玉	多少暗兴牧,	•••••• 夕愛、旦 『死ス	「以下館本三四六頁一行まで無し」	學多見行之。	治妊娠腫滿千金云妊娠ノ手足皆腫テ	
					二六一			- H O	三五九			二近八		二元七	
-!	-	六	=			-1-	九			+	儿		+	-	
攻メ時々初テ心平心則へ		計算思塞著	作之或、腰脇 攻刺	テ小腹	直指方論云 腎氣者 其候は腎ノミニ	音に関	質島宿者、肝絶腎ノ	方三心腹煩滿ノ智脇フ		脇助指治方	本事方ニ出タリ	脇肋骨?…下、小	或へ四肢アカラス	當歸二次	

		二六六			六五				一六四		云三				
九	八		+	=	_		-1-	ナレ		=			-}-	ル	
塩华雨別品。臺入	生器一闹 茴香"一宿。	茯苓一廟 桂心	臍ノ下怪励スル	<u>藤</u> 子隆氣湯	散ノ臺ヲ用。即宜。用藥フトハ	頭灌簽	個品イタクハ デ統集ヲ報、ヘカラス	傷て氣潤テ熱。ノ		脇ノ邊ヨリル。外腎マテ	危殆、以为了下,又云冷·熱·冷熱小調	無ノ腹 入り心で衝突	以テ兜住。大小腑极シテ通セサレへ邪	出。対態ヘン若が別息ヤスラヒ	
二七一			二七〇			二六九			二六八			二六七			
七一一		+	1140 1	+	=	二六九			二六八一	+	==	二六七一		十	

+ 以前"……上"向"……攻"打へシ……下 南盆也

化共用和潮方云.....或八酸腑

二七三 白簪 飛枯

九

休止アル事

二七五

--

當吐出

二七六 t 虫鱼 二十円ヲ米於……服

---九 上、ニーノ助強 則的…… 塩シ尾ヲ

二七七 治法云 其小キ則

12 经前.

ナレ 「以下館本統」

卷第三

二八四 九 利

+ 驚悸

二八五 腰痛

きに

ル (対法に板本「是」あり)

二八六

-!-**陰萎** 裏急 … 精少 精清

二八七

…… 白獨語一冷消

-!-……而"一學 又延中陽"以

月"スト雖よ"米"熊セサルカ朔、北何 ……不受熱スル者ハ帝温薬。

血氣無之道冷八是……行言後被

二九三

二九〇 二八九九 二八八八

+ 不 於修小 たが、身ホトラリケノ後。

二九九		+	二九八九	+	六	Ξ	二九七		二九六十	-1-	=	元元		二九四十
咳嗽行動喘乏、面色ツへ疼黄	クヲコリサメ	百篋枯搾メ四肢モノウクヨタル	*********虚*精血/氣	復セサルニ服之尤良方、先ノ	イタクヲトリ面	又當歸ヲ加テ	清池ト者、、胸飴ョ除ヘシ此方、傷塞	ヘス病者也若	中景云唱家二八不可服唱家、へいずカ	肺ト大膓ト	臥っト多ッメ	腰背心中虚っヶ悸ラより唇~	キッリ	吸、トノ氣少々行動喘慢。或ハ小腹ヒ
					11011				HOI	111100				_
	+	九												
			-			ナレ					-1-	六	=	

	= = =	Ħ	111111	儿	11011	三〇九一	三〇八十	-1-	三〇六九	=	三〇五	- -	O回 -	EOH 1
是ヲ服ニ妙之	佐トメ脾元ヲ助ル也	腎赤ノ心火"飛、水克	カ々メスハシ将二何ヲリ		小便不通婦人ノ懐妊メ	食ノ前二斑と	二十四或塩沸湯。下客心。	枯渇ラ枯ル、木「露ヲヲキ雨」			以下十味。大韻湯~	柱心 人参 自术	十四味建中湯	職者二八加工味子 藤者 加牛夏
==														
三八			三七			三二六			三元			三四四		
二八六	-1-		三七一	- j -	し	三六	+	ħ	五元	-1-	54		-{-	九

四

		=== +				+	三〇八	八		三九		-1-	九	八
一 又云天骨蒸 蹇滯 母連 死症 蠱	身內。居住,也故。名。注"云	又論云凡注、云ハ言住也謂。羽気、人。	11	ルヲ治ゴス	万金方云曾中,原"テ或"、河心 躁ス		八人多夕一等"音多之	ハ一盃『煎メコシテ	ラスケ。此薬、皆大寒	勘えか。寒冷、薬ヲ過テ人ヲ害スヘカ	病人ノ除意	- 然な難な寒でいいはゴリ起モアリ能の	ル 粗律"ナシト云 高然間	ハ所"アラス門
							三三四							
				-1-	76	凹			九	八			=	
版本の交を設すし意ニ個サレへ即嘱	二行「兩ノソハ、ラ」に續くまでの	にな二行言り、今こへより三二五良	三二五頁三行「ウツルヲ云也」の下	(比處本板本の文と異同あり、板本は		稱ヲ復注・云野俗、		及紫顏可以根下	男夫*多。	傳屍方云夫傳	和似《故 遁尸寒尸喪	尾下四…满上了下	冷座 に根本食産アリ 鬼産等ヲ皆傳	推 捷 虎 赞症

60 60 60 60 60 60	三七一		-1-	JL	三六八	-1-	JL	三元二						
挟タルハ害ヲナス其人	云鬼症"潛是尸ノ一座也又語,鬼邪ヲ	一ノ妙楽トス 萬洪カ	神州アリ私云傳云傳配病ア治での第一	氣不可,吐痢、蒙衛治不是	内コリ作の:苦効	无同子,大"丸ノ	禁一タヘサル 如、即	為口乾一常一然睡空有時八	アレトモ所精理尚モ好	スレトモ身、シ、付トハナラス須見	食ヲ思熱心達ッウヘタル如ニメ多っ食	或、多、驚悸有時へ氣急有時へ歌樂飲	リ夢二鬼ト交成、先亡セシ人ヲミ	怒ト欲シ行立。四弱の夜、風テ終汗タ
		- O						三九			三二八			
+	=	-0	+-	四	errord terror terror	=		三九一		-1-	三六八	-1-		=

	三五					111111111								
+	-		+	ル		-	+	ナレ	八	四	Ξ	=		-
	功"雪心野交養ノ妙ヲ濟パ大"諸虚"	造化	久。冷 巖甲圖下:積腹邊癬 陰陽	水氣アヘキ婦人ノ血氣	血肾小兒,	又大人ノ鼻鰕タリ 頻線 膿	透りいっとコトラ不能 ラ	丹街、モヘクサ未、田快り	限赤原等。順這員母祭,		製ヘカラサル所ナリ	去上欲八第一人藥之凡	何とサッ故・積・云	育云 百指万云 朝斯タ。斯。其、所由來
田門			三四三		三四二	〇回回		三三九	三三八		三三七			三三六
	八	六		-1-	九	4-	=		+-	=	-	+	九	-
ワツラフ病 尤良	流注ヲ治ス領虚メ		流注をアソコ疼痛ヲモ治ス之	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		川芎 茯苓 茯痹	遽々チャチュ 致、心脾、	富貴ト戚々タル貧態"久"	「左注、落下テキモツフレ名テ	過身"	与之父但。、ソノ牛"進ム	常一丹砂ヲ餌妄。父寒世っ	·····································	不死ノ妙樂ナリ

			三元〇		三四九	三四八	四七	三四六						四别
+	六	=	_	+	六	-	+		+	八			六	
武帝、箭涡、病玉時本	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		ノムコ度無ク 別熱	·····································		・・・・・・・・・但認問テジャセ珍疾	油一似。シケキ老、此清	亦野家八體习假 過多野	」三冷 っ張 酸浦 吸背の	腰中即還マルヘシ	者腎二停暑スル也	あり)云腎虚傷濕停ノ爲病也停著	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	古今錄論方名。千金方云
三八九	三人七	三八六	三八三	 	三八〇	三七八	三七五	三七二	三七一		三六八	结	è	四十二四
~		八	1-	=		-	-	4-	-	=		卷角四	3	四
用っ人ノ氣ョハカテ	中風代作者	怔行者	一切,中風。先此湯。	天全節。變	白朮"去防已齊芩	三錢當三片牛"入,一盡"官	旁下火	勝地ケデー	道資。同,	等 粉	題ヲ用、ヘシ據ヲ消、ペ朔辛		(館本鉄)	黄連・粉入テ

三九〇

効"…常、人ノ中風スルヲ

嘔吐者、

生薑五片

九

連***

三版ヲ進。

見一庸人	
	四〇三
Ξ	
社芸な此。以テ	不去虚ヲ補"榮衛"順"

四〇四 七 炒焦シテノ

八

蜜村,冷ラ

娘折傷ッチョクシカシ …胎子腹,中で

Ξ 死、《"服……三因指迷土便王氏等,方

四〇五

治ス 又口赎者

シナカラ猶。夢中

+ 八 學方式生盡十片,人意煎

世のとキツメ 歸荊湯…風痙ノ昏迷入

洪,吐,抽

四〇七 四〇六

… 日中、卽陽里、隂广,故也

本事方云予當

八 七

證アリ

四〇八

千金髓云腎氣攻

背強、也本事方云

四〇〇

八 化下 三九九

鶏頭ノ大「丸スへシ然ノ後 ……治 効アリ 但口閉手散"眼合了全造尿

+

三九七 三九六 三九五 九三 三九二 三九一

附子 地ョ

順氣散、枳殼

………丽木香

九 九 八

白殭蠶絕此(被本觜)

苦平有小毒……傷。多。

四〇二 四〇一 指摩甲一透。黄ナル者。眞、リトス

等分ナリ文選寄万、附子。去。芍薬、

二八

福田万浦	十 偏風 治偏風	九洗、亦一切。	四一六八山行	十 共指。引出、恐、人ノ指ヲ職破ラン	八種語	二	四一四一獨活二兩柱心	四一三一千金方云治口喝万	十 之差、云へり灸耳垂下っ	四二二 一 皂角 一兩皮ト子ヲ去 白禁一分生		四一〇一好大豆一舛クロマメ	十 又治洪云項强于顧視"治"事	四〇九 一 木瓜煎項強轉仄事不。得.治、	十 入。椒,用, 氣,引,經。歸、則安矣	
		四二七		四二六		四三万		四三四			四三二	四二		四门〇	四七	
	れ	-	- -	~-	+	No.	+	_	+	+	-	-	+			
<u> </u>	緑風者には人間の	陸風 者 盗汗?	隨風者 摩厘沙酸珍	手足祭轉	陽風者 聆肛》出声血。寫	節風者 肢節断續ヲ指手断落。	鼻恩。眼間兩了	元氣ヲ益ベト	末實結頭 鶴蝨"似今	筋力較健了郊晦端。多少	中風,床。枕云五五年百際差	連・年久嗽こ	食積、脹滿、	丸服、容心。酒ヲ以テ下	附子生皮酶。去"細"切·研·木香	

_
-
-
ſ
(

-			
	虎風者 羊,吼,如,叫	四四一	右交且每服四錢 水一盃牛"入"七分"
_	百者、死、若、叛性、其二盛、者、		前コシテ食前一般
-1-	中寒之狀而六下思寒少翁六下發熱分勢	を存在	() 版
	大下行有,如っ	2	7
	脇、下□急・ヒキツリ足伸で事エスメ	卷第六	7、
	而赤。		
-1-	***: 耳襲>> 精。	卷第七	-12
_	曹附湯二一般『但分量 不同パパナリ	五六〇 -	
	三因方云凡中國之死者	五六一 九	引テ痛者、留飲
+	陵体病。重。中暑二、小柴胡湯。与	五六二	大サヘカリナル者へ此へ則
	小便不、通言五冷散。与ヘシ	五六五九	**************************************
	生薑ノ大塊ワシテョー、鸭冷水ラ以テ	- -	脾吃了
4	飲了引"及道病、發湯、亦水可以	五六六一	陰ベトメ
	緊動で悪態メ逐痛ス	五六七十	平東坡,尺贖云与云
+	以で麻黄ヲ等分。	五六八 一	續養生論日中"曝

五七五			五七四	+	五七三	-}-	=	五七二一	+	五七一一	五七〇一	+	五六九	- -
加桂心去。南星一	右欧咀ノ・・・・・・一震・煎ノ	八与之	疾電ノ越*者ニハ与之疾證ノ紙熱者ニ	類書会族飲アテ塞熱スル者、与之	嘔吐者、服之中、酒惡心、	**************************************	()	又傷寒"時氣"病者,肚"不」吐	吐。粥藥"不」下"手足冷逆目眩	南星均平兩	半夏 陳皮各一兩 枳殼	温暖ノ電心シク	良薑 歡炯各一兩半夏	陳皮落表 二二陵次、尚,
五八六一	五八五十		七	五八四	五八一	五八〇十	-1-	五七九一	-[-	五七七一	+	五七六	1	八
熱證ノ者ハ 夏ニ酸テ	雨時アリ又水氣喘アリト云へり			沙湾セシム	塩ヲ不い用と…		陳皮	:	根尤易濟生方云	若辛熱,藥ヲ	私云痰於, 另主"华夏	三因方云崎ノ下ノ	・ 恩心・テ腹中・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	たでき

福田方補

7	五九八		五九七	五九六	五九五	五九四	五九三	五九二	五九一	-I.	五九 〇	五八九	五八八八	五八七
五		+	_	_	+	+		_		+		+		+
者是也	又咳ァロ中門斑沫ノ出、肺炎ナリ	小便數シ	内へ煩多。無ハキ唇。燥す	就テ即以	再贈っト如前	右等分。和テ	而艇スヘシ	喉ノ中「涎 智願モト	コシテ食後。氣喘急病	或人此響ヲ以ア	紫蘇 陳皮 桔梗	不得以者ヲ治ス	直指方云 上氣上者	腐ノ而殂、者モアリ
六	六二 -	六〇十	六八八八	卷第八		六〇元十	=	大〇四一	六〇三十	=	六〇二一	+	六〇一一	五九九十

	·	六二五				六二四		六二三					*1111		
漏	七	≓	-1-	九	八	_	-1-	プレ	-1-	九	八	七	-		ル
福田方 初	小便产生者八傷熱之	降。者是又一種利證「アラサルへ	又血毒 血后 內頭 酒훼	可治之		是"協無下利。云五苍散杏仁円	不利煩 燥喜水ホシク	·····································	冷ナリ治法治スペ温冷ラ	化セサルハ盖シ羽然ノ	又云赤り以テ		腎綱脾痢 休息纲 聽血俐	義制 產痢 禁口痢 稜炯人也	拼痢
		六二九			六二八			六二七				六二六			
	-1-	六二九	八		六二八一	-1-	===	六二七二	+	た		六二六		+	A

	六三七		六旦六		六三五	六三四		六三三			六三二	六三一		六三〇	
	-	+	七	+	-		+	-	查	=	-	_	-1-	-	福
不慈広當二	又云白膿ヲ点滴下。或、糞ョハリ	ヨハク多の引飲ラナシ	面ノ色	面黨腎泄"、補骨脂及"安腎円	以"ソノ陽ヲ切タルカ如故"	難經云餐泄上者貪不消化也	菖蒲ラステ・・・・自然ではラ思フ	赤茯苓上濃粱より入。同	レハ能安平也	死ス肤ハ若シ弦急へ死	血"下"者八身寒八熱、即	服、ヘキ也不以効者、	又冷物。ヤフレテ寫流教食	直指方脉、大小,不論一。	福田方補
六四一				六四〇					六三九				六三八		
六四一一	+	九		六四〇一	-1-	八	=		六三九		+	九	六三八一	+	

				=				-						
	Ξ	=		_		4-				4-	四	Ξ	=	
館本無し	「以下「胃苓散」「蘓感丸」「瓜窶」等	又小便赤澁、者"、可与之	治ス但痢ニ酒ライムへシ	服、方アリ傷寒門、見?又痢治治湯	ハ末トメユニ酒ニテモタテ、	入テ半分"煎ノコシテ服"時不定又或	スニモ並「皆治之」	豆汁が如の或ハハナヤカナル血ョ下	テ虚ッナリ下、物で	減少スペラ治ス湿っウケテフクレハレ	生々又自沫ノ除	大洏浮洪。	小ナル者生微少で者へ生々	化1肤微
		六四六									六四五			六四四
Ξ		*****		1	主	-1-	79	\equiv					T	九
									=		_		+	14

福田方補

白廟。	六四八 一 チャノ臘丸ノ服ス赤痢点服	書 自梅·煎物。字百一方。《白梅肉》	九 効アリ又多八熱證アリ或納血	五 阿廖三分蛤粉。	トヲリロ	一 狀ヶ魚際ノ如クロカハキ身ホ	冷熱不調	六四七 一 和劉方治證ニ 云ク 勝胃/氣ウツケテ	痢トスン光五苓散ヲ以テ此四味	ノ津液を不分大陽ニ併コレヲ協熱下	ナー ハアツマリの下館本左の文あり。巻き	一	十 下ッヒリ小便不利即極っ	四服血多・者鳥梅一ケ
<u>+</u>	服	日梅肉。四	対対血 六五一 一		±	カハキ身ホ 六五〇 一		ウッケテ	:此四味	ヲ協熱下	めりの窓ックミ 六四九 一	焦	即極,	+
身熟"加方"去茯苓	心"熱服又、加木香風泄	瘀血ョ下スラ名ラ	大人小兒ノ風冷虚。胃"入容テ	陳米飲メシノニョ以デ	右二味同ッカウハシク 毎服一銭	如`…當歸:煎物。。助檢、煎	17年	右ボノムキノリヲニテ…・米飲	白礬一朱	右ソ末メ温べんヲ待テ	後り重黄蘗 苗芩	純ヒタスコ血ッ下シ	壁皮湯 道灣方云 身熱リ 脉洪大ディ	右末メー銭

	六五四					六五三						六五二	
Ħ				主	=	-	士	-}-	th	Ξ	=		主
甘草各一分	和劑力八種ノ競荷ヲヒキツメ痛	京肉豆魕無シ新方ニ肉豆醬アリン	シ此箋へ的"神効アリ具"不可述古方	服へ立感の此下館本次の文あり。へ	(左注)陽門廬錫不調藏府。	虚労ノ下虚ケ	冷痢/瘀血ノ紫黑者三与之	不及塩少許點拿服	布末ト爲ノ生喜空心	水ウツスカ胃滿テ氣短っ	C左註 下〕傷テ泄瀉	血痢ノ肚キ者ナラハ尤妙也	簡易方云 今ノ人多。用之 痢ヲ治
	六五九			六五八		六五七		六五六			六五五		
Ξ	-	-	+		士		+		七	Ξ	=	±	+
加タリ或煎物 白痢ニハ	右紹研芥子ノ朱砂っ大っ七	杏仁	C右註一大人小見ノ積痢或酒	裏ウライクリメケトモ後へ	陽門虚ケ所滲流血ラ	肾膈不快。食不化	復變門云牌腎ヘラナリ洲瀉	育トナシテ桐子、大	駐車円	下之利不止与之トモ	瀉小湯後他藥ヲ以テ	魚・和ノ	分

福田方種

		六六三				六六二	六六一					六六〇			
士	=	-		八	六	-	=	士	-40	四			-1-	九	i i
五馬名突出ッヘクミイテ、	既効方云	一歲/內二已"數人	「累」字あり」	島荊円下血ョ二妙之の下館本	(右註の下)…及泄瀉。治、	清凉飲,際學方云	北大で者へ下町へ若黄脈ラ	叉玉血毒で宜~熏之ヘシ	中溫。《即血自》經三歸。之	大或、小澤紹	湿下ト男子ノ	陽氣不好降ル者也又云婦人	血線ノ如ナル湾へ	清血、色ハナヤカナル者器者ハ	
			六六九		六六八		六六七		六六六			六六元		六六四	
<u>+</u>	Ξ		_	+	_	<u>+</u>		+		生	九	_		_	
i															

· * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	六七五 二 大阪皮散	九小殿	二 大便	六七四 一	十 通制	九アフ	大七三 こ ほ仁	士	大七二 一 右童	六七一四	士二二錢	十二直指	-	
酒"和メ臍"中"ヌレ	皮散・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	小脚"散心已テ次。之又冷的。	大便不通な指ニケツァ	右嘉不勘三人然生薑 二 並 夕後 後ヲ	通州散選合方	アフリホイテ	ほに別研ラー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	繼淳相搏。· · · 大便堅, · · · 大便堅,	右童子ノ小便ヲ以テ難ノモ。以っ	針/アナノ炯ク	二銭メシノユニテタテ、下叉云	直指力大院虚グーニ論証アカの種ラ	裏ヒリメケトモ外云出	
				六七七					六七六	3				
	四		Ξ		+	+	九				主	1:	+	
ヘ シ	葉、中ヨリ苦クハカヘテ吹、	、マセ氣道シッレハ小	一寸ハカリ指入テ葉ノスへヲ人"ク	方弦葉ノホッキヲ	葛氏万迫ラレ袋網テ	尻欠ノ中へ三寸如クハシキ入つ	フショ丸、ノ水皂灰水」タテ	易へョ	内、シアツク拉…・鏡定テラケ冷で	勝ノ穴。	一『入合テタラト鍋一人テ炒温テ	アラフィ勿レ豆豉(キョー塊でを	不通、死: 思・ナカラフルン表	

福田方補

六七九 六七八 對治ヲナスヘシ若シ堅結メ不通ハ大便ヲ下ヘシ 治也諸藥"不隱、必死ト知へシ无宗々料簡ヲ入テ 不通へ循ッノミアリ南道トモニ不通へ第一ノ難 大寫スへカラス一度下八便冷弱ヲ食テ止ムへシ 小便 (此處館本博補ありだの如し) 小便 葱ト灯心ト和、煎物ニテ……私云大 大凡… 其本、腎。 夢歷桑皮ョ……得以必 ………蹇閉……熱ノ下焦"結 又ヨク透達 病"中"ソノ間更"木通……佐い 局方指南云 卽正"歸"コレニョテ……奏子散主之 六八二 六八一 六八〇 九 畫 四 九 八 截断散 治方 王不留行二分若無クハ可除 関領病。補終ヲ……勝下脹 赤茯苓 諸ノ小便不通……三和散甚者"、 C石葦湯 此項館本脱す) 直指刀同 石煮散千金云百種ノ淋 米ヲ末メ白茅根煎物ニ親テ、服メ愈 C貴下スの下、館本次文を補ふ。 淋ョ思ラルニ乾菱……又婦人ノ 云 一錢灯心,煎物 タテ、下也……方 白朮 ……治べきシハく効で ……竹葉少入が説服 甘草 木通 熱熱

每日斤浦	五粉行剉	三 子ウセラレスメ而	六八五 二 論云方光不、利、隆 不約、潰溺トス乃	入 方、傷寒門。アリ	七 五冷散 [[清方云、便不通者]。	六下ラノセ	三 小便不適亦《或蟲》。《皆	一 血淋"展血",尹治方升麻ヲ前吸愈	五度服	六八四 一 細"切テ水一碗"入テ煎ノ一日"	士	三 愛動メル便ハナヤカニ赤*音・風熱ノ	一 カチ或ハ内"志"傷り或房室ニ	六八三 一 淋閉テ痛で出へトコロハ	3
	剉 四	子ウセラレスメ而出自『不知者。 六八七 一	不約清濁トスガー		…小便不通者。 九	八	· 查言《皆 五	力升麻ヲ前収愈	=	郷。入テ煎ノー日。 六八六 一	牛墜	カニ赤する、風熱ノ	リ或房室ニ	D A	- 八
	平補鋼心丹モラスヲ 一省ッ夏 精ヲ	資下牌 自ラ堅・ソノ流清シ	吟多の時補 疾若中和、薬ラ	テ水ニコリ	白濁ハ腎ノ寒と史欽之カ云夏ハ土燥	論云失思盧不知。 為思了赤屬、	沸湯 "下私云小便	塩四南不当用一经智子	五味子円小便滑數、者ヲ治、	メヲミツケユハリ・・・・・腎絶、不治セ	又云諸病"狂言"	温水雪三度服之置尿一作尿床	挂心 外臺方遺尿日不覺治ス	ホテカスヲ去テ	タラト簿テ一時ハカリツケテシ

	五	丸三十粒服四等皆見局		-	聖惠方云思毒、腫、或、陰卵」ッキ
	八	大便失禁。灸陽肛冷滑大指,	六九〇		或一邊二ヒキツリ急率ヒイテ小
	九	老人小兒同之又足ノ大間ヲ			腹等を入テコラフへカラスメ
ハスス	=	倫云聖方陰顔へ肝。屬ノ宗筋·係: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		=	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	Ξ	橫骨上下之堅筋。		Ξ	右百葉ラツキテ取ず時ラサタメス
	九	無頼 水流 此二八条之治シャスシ		四	浮ラハ研テ順々とニッケョ
	+	腸瘤 此二へ治シャスカラス		<i>I</i> 1.	多八根ニテモデニテ
八八九	-	去言丸一、青塩丁ラ以下部一引入了…		七	巴弘七ケラ以ア
	=	服/果効アリ治ス薬多、疎薄との		八	同クイリテコカラカメ不用
	Ξ	害ヲナサスト云「無シ 此藥ハ覇		九	炒各一兩牛
		汁別にタリ事、一と		+	半錢紫黛,下空心食前
	四	競散スレトモ疎導、害無シ・・・・・生薑		<u>+</u>	又菜英门消円和劑方記了无神方也
	七	茴香、内テアカムホト炒ラ	六九一	_	(小兒 此項語本缺)
	八	末メ無灰酒ニテ	2	L	
	九	桐子大五十丸ヲ温タル酒若	45	を 第ナ	

			七〇三		1001						七01				00ch
福	+	=		+	九	+	八	四	Ξ	=	-	+	九	六	四
飆田方補	治證ノ基ニ	過度メ類任度損メ	殊トイヘトモ不ご云コトナシ	不生吧 斷緒不乳產	三施、松车棚、洛	冷霞的 港源面 小便痛	初カロキ時	二黑血 三紫汁	十二霉者	九痛 七害 五傷	同上 又孫子邈カ千金六疾。	是シルコトヲウヘシ…、病精論	コトフカク因トナリ夫諸病。至テ	產章	氣、ヲトロヘンコトヲ
	_														
			七〇七						七〇六			七〇五			七〇四
		. =	七〇七一	九	八		七	=	七〇六一	+		七〇五	- -	九	七〇四一

七二二 七一七 七二五 七三二 七二一 七一〇 七〇九 七〇八 コレ婦人ノ仙藥ナリト云ヘリ 又云直指万云 = C一行の終に續て圖書館本次の文あり」 七 四四 八 五 -1-Fi 內衣散 白芷 血ヲタスケ ---- 藿香 肉腹禁 洗テホシテ… 後ニウスニテ 又……… ……虚"乘又風寒內二極テ妙へ 婦人ノ諸病ハ此時 **浴**我 藁本 加艾柴司

> 香附子艾葉醋。テ者透り焙ン 右擣末ノ丸之艾 酷得ニテ下

ス 又方崩中漏下メ失血過多メ久々止コト不、能治

香油子一兩 甘草一錢

右續派ノ米飲『テ服ヨ自帶ミル者ニハ加芍藥

七二二 二 破壞円

[17] 万版円ト名

「終行に續て圖書館本次の文あり」

七三三 醫學方。「每服二十粒食後二服ヨト云ヘリ 血虚ノ……不行若破血

七二四 黄芩円

4. 十全大河湯……建中湯

七二五 Ξ 虚劣 情慾執著。 病人問臨。握

〇四行、道風ヶ病。この次に館本次の如し」

料簡アルヘジ只氣ヲ清、シ、精ヲ腐スル藥ヲ服 補益ノ氣ヲマセハ欲情願なるし、盗かって 送死ス尤

七三五 华莲

スレハ白然ニ平也

七二六 血量

+ 孕婦不公路不公

七二七三 九月ニソクチコモル

「石文に續て館本次の文あり」

箭へ腎ノ少族/除二國テ腎ヲ貫キ舌下二國力· 此ヲ何トカスル岐伯カ云南ノ絡脉ノ絶タルや胞

レリ放言フ不能也治スルフ無レトモ

「六行尺中ノ脉……の次に館太猶三行あり」

尺中ノ財 細滑ニメ不猶者へ胎ナリ

尺中,脉 微ナルハコレ經時閉塞メ胎ヲ成スル

七三二

福田方補

ナリ

尺中ノ脉 數ヲ帶ハ是血盛ナル財ナリ胎アリ

七二七八 滑ナル者ハ子アリトス

+ 一動一止,者八一月二

七二八一 關上脉……者一月……万二一*

「弁男女の前に館本次の文あり」

又脉滑三而疾牛者八三月胎ノ候也但疾メ不散者

ハ五月ノ胎候也

七二八四 好字ち

七二九 九 ケ 廃牛子 … 粉銀

+ 胡粉

七三〇 亭長 天南星

七三二 八 奸娠ノ二三月ヨリ上"

ナレ 漏胞ト名の胞カスケム 至ルマテ胎動 …… 揖一人者治ス

四五

熟党

74 湯デタテ、服

一一一一 或末りの次に館本左の文あり

酒事下時ヲ不定多ク服スル住よる若下戶ナラハ

C館本は四行の次に左の文を加ふり 崔氏方云

上漏散 妊娠ノ漏胞ヲ治ス千金方同

乾地黄四兩 恋遭二兩 之

右末ソ二錢ツ、淵酒ニ謝テ下日ニニ。千金方同

七三三八 帝婦ハ是機悪ナリトイへトモ

來ラン……見ペコト……生、カタシ若

七三五へ六行の次、「横産」の間に館本左の文ありし 多殿アリ予後ニコレヲ思「若シ寒月ニ之ヲ用」へ

ステニ産シッレ

死ノ者ニハ三服ニ不り過即下ルナリ 甚々的水當了多也、云隆暑ノ時八恐八輕ク服シ 胞類先ツ破ツレハ川胎蛇テ産シ難白電ト生麻油 調テ、服へ暑コサケ魂ヲ清ン胎ヲ滑ニノ産 カタシ不之若、五茶散ヲ以テ葵子ト灯心ノ煎物ニ 不及只一服ニ便産ルト云ヘリ 云道濟方云末子五積散四錢順兀散二錢ヲ水二カ 又云直指方云川芎ヶ縮砂ヲ加テ酷ヲ入煎へシ胎 煎ノ相繼南で服スヘシ氣内ニ和メ即差ユ 潤へハ即分免ス分免トハウマル、ナリ シ所施報殿アリ不敢白秘や併二並茲二録セリ又 ケニ煎ッ分テニタヒニ服へシ諸ノ方藥ハコレ ハラケニ酒一カハラケ生姜七片張入テニカハラ 順元散ノ多少八帝母ノ虚官ヲ量テ加减スヘシ又 又云无積散ニ順元散ヲ加テ水七分酒三分ヲ合テ シ安

文に選寄方云難産ッ胎表不下或へ降中ニュ子死 又気選寄方云難産ッ胎表不下或へ降中ニュ子死

七三五十一道生,手是先。見。洛,

七三六 - 聖惠方二一條トナス

右ヤキテ末メ

七三七C五行の終、館本「不然へ陰出也」あり】

文玉橋柚ノ仁ヲ焙テ末ノ三銭ヘカリ沸湯ニ湖テ下ト云コナシ尤級スヘシ局方ニ出ッ

服ヘシ立。下連進ニ服。即愈尤科薬ナリトス

「九行の初、館本左の如し」

蓬育保慶集云何以テカ其、胎ノ已 死スルヲ知、但

方。產婦ノ舌ノ色 ……

七三八 一 胎死腹中ヒカハキ……背。ックヲ治七三七 十 此方、産後病。尤良

七三九 一 「アルラ重復か館本左の如し」 十 又横道士学……腹ノ中・アルラ

若ハ母病"コレヲ下欲スル者宜服之

七三九 三 「与へシの下より館本左の文あり」

明二 撰テ国之中ニ 撰テ国之

名警談。 京師ニ婦人アテ下胎ノ響ヲ傷テ生ヲ爲 タスク急ニ賤痛アテ日&ニ其ノ腫ヲ増ス費機デ 身機ックニッニ達近、人皆聞之一日遂ニ家中、者 テ喚ヲヒコツニ達近、人皆聞之一日遂ニ家中、者 ニカタテ云珍蕎トコロノ下胎ノ万へ。悉、我タメ

福田方補

百ノ 見アテ投職ノ袋ヲ職アウ所以ニ疼痛ナリウス某子母ニ告ナ云ク我母己ニ依テ家ヲ・コス

瓊々とラとり也此へ是我毒藥ヲ以テ胎ヲ壊リシニ依百ノ 見アテ我職ノ袋ヲ嘔ッウ所以ニ疼痛テ吽

七四〇一難定

テ此報ヲエタリト云記テ選ニ死ス

十數口。飲、惡

七四一十 酒药 灸博 …… 麗燕

七四三 一 熱氣ノ血ノミチニ

十 産後最絶 己 産メ血アカリ

七四四 一 生半夏

七 産後ノ展議が治

七四五一右歐咀又四錢

七 治スト云へリ悪

十 黄色 思語 清

十 ツキフシ心ヨカラス多子フル……コ

七五〇九

灸治スルニ 供テ

ハク消シ

七四六 一 シカタキ物……針灸ツ、シム……行

九日トチ物不言

七四八 一 電道ノコ、チアシキ者ニハ 加人参

橘皮煎物服

二此外

三不下奔母,舌背者へ

七四九十 大便秘澁『五淋トスルハ

ツリナントセハ急キ州薬ヲ服ヘシ時々稍やムハ治シカタシ肝ノ藏熱ノ背カ急ヒキ

省島

七五三 + 當歸二兩 內挂 附子均各半兩

九 若上氣ノ者アラハ和桂心一兩 一銭ヲ温ダル

七五四 下到。圖方衛云歸八大陽

九 打船一人

4-ツ・ミテソノ上

七元五

機制方

五 陰挺出コト塾す

於權 恰到方云……發揮…… 一黄瞳

七五六 記之法 右等分二合則以洗光河之 紀人終身上至治方

福田方補

七五七

四

上肾

生志

七六七

傷惡問題。

七五八二 九雙 牛脾

七五九 ---他術ノ登禁ト差別之駅

Ξ 耳を熱り見き熱り

て、常、味

Ξ

一隻八一息九至了

タク気結塞ルヲ治 マコリサメイキタハシク……ヘレイ

七六五

右五香皆火ヲイム改明ノ……小見, 沈香 丁香 南木香 乳香

七六六

四

此:表第一藥二人参 惣四、アッ…… 影香ヲ用ル

九

白元ヲ以。主トメ……スルノミン

四九

四 軍引出,司

手足。ヒキ及と……時ナラス師以

目赤咽痛 …… 通セス面アカク

赤のロノ内 ……小便赤の遊り大便

七六八

裏ノ熱ナリトス……肚の熱質タル

右父明ノ毎服一銭

加倍次贵

七 兀

九 治ス妙薬、シ……内熱ラ散スル 恨々散、表執沙

弁へ見テ与之一百二一で

七六九

ハラナリクタリ手足

八 三円ヲアサーヘトアル

九 費湯煎物ニテ……加減メ与

斑瘡响瘡論治

四

七七〇 諭云或云宜下之或云不宜下之諸說子。

脂シン

コト無ニアラス千金云

 \mathcal{F}_{i} 野シヒ テ

九

細疹で愛ス

七七一

必ス輕シ五七日

療疹已。出る治シヒトシク

右粗ボノニ毒…… 毎服一銭煎ノ服

大人小見ノ傷風傷寒溫疫

七七二 班瘡スニュ

70 局方ニハ舛賦

水二選"入"七分"煎」 コシテ熱服

Ti

小兒,斑瘡 身ヒヘタラハ

右剉テ煎メコシテ綿。シメシテ

五〇

福田方補	七天六 三 C左注〕中"夏	七八四八(右注ノ下)、緊傷	77.76	空 1	不能	11 四氣・著小見忽。氣絕テ暗コトモ	七七八一皆小兒ノ病也	二 右抵末ヲ酒、和ノ即語	七七六.一 時至レトモ赤小豆	十 小陰・輝ヲ鑁ッカタシ故『	七七五 九 シテ舌本"力"ナク不得是。以	七七四二 好哪治方	レトモ尤	十 轉。擦破以八即口闊。便。安勿	七七三九コトシ治之法	
	· fi	七九七四	-	七九六六	Æ	トモ 七九五 四	+	七九二一	+	七九〇一	以	七八九一	+	: 勿 九	一七八八	
<u> </u>	肝臟受及遠比	慰量円二	- 遯上の無閉覧。ミヘタリ	服ノ共子。湯へう	2 即長。 整。 疼。	駐景円ヲ与ヘシ	臨睡呵洗	右細末又面上瘡"三"內"	- 方鳥梅肉	猪脂和村,	色。ナシテ	後」カミヲ 痴。サフタ・赤	一頭光文熱 號水,… 甘草、煎物。	先,熟	右毛ヲ拔去、釜之	

少が研合テ即止へシ黍米、大なな

史。腈 當

眞珠散 名が秘スへシ

一二寸許突出。者治

爛此

筆。以 爛ノ上。ヌレ日。三銅鎌トハ銅

										A				
				XOII				XO			八〇一	700	七九九	七九八
九	七	四	Ξ		+	九	八		+	Ξ	=	四		+
如クッ次。黄丹『入テ	神方也消石透明者	即淚出、新綿ヲ以,	色明浄治 右細スリテ	白藝散 聖濟万云膚ヲ淫。赤	燻洗達以:穩度	右等分。宋、勉、アツナカラ	當歸	鬼絲子就乾地資各二兩	近、ナミタクム久、服、肝腎。	加味四物湯、名。	一切、動風毒物ヲ	服セヨ食後ト	盖。五蔵質スル則	百一三効無
八〇六							八〇元						八〇四	
	+	七	六	四	-				+	六	四	=		+

七 右等分"末之井花水"

昧目

维目 時月7不許

サヒタル時間トリ……末メ用欄眼

・・・・ウツァセテ青ク

一三日煎メ後酢スステ、器物ヲ濕氣

ノ器二酢ラーンラステ

りし

熱態或八裸 暑

耳等人、治多易

解倉飲……風熱上リ蓮テ耳内ツフレ

八〇七

フタカリ

ソコニ徹。イタク膽ト血ト流出っ

赤芍藥……大黃台木盤千度

右粗散メ……瓦器"入了一"

膿水ウミシス

石

右末メ……耳、中。…… 脖耳膿斗出な

七

治万

右末メワタニ

或、石ヲハ去テ二味ヲ

-1th

稲田方補

八〇八

树目膏

家蔵方……風雨ノ路ノ如

八〇九

+

投"養核、如言」云へり 管、ナシテワタニ……劑生

九 八

耳卒ラッキ

易 又……硫黄糸等分……ワタ

树目

石菖蒲

カ如シ小

腎、入…… 独極 "死セル

耳、策大、痛ハ皆風ノ腎經ノ中、イレ ル之治サレハ流ツタヒテ

約命湯 陳三卿……若耳ワッキ……老*乃無

 \mathcal{H} 袋「入一社ノ耳」アテ、ムセ冷へ 病之小統合湯ヲ与ヘシ諸方 四

叉云耳ウッキ

治方松脂ラ

t

須臾。虫外メワタニッイテ

五三

八〇 又方兩ノ刀ヲ……アヘセタ、イテ

鍋器モ又良

耳、中、物ニサシ著、徐二

熱則清之寒則通之獲則散之

九

治方 汗出者肺……大躁ナル者へ死

鼻、中-

不り拘り多少で右灰でヤキテ性で存っ末り

濟生方衂血吐止血

 π 末メ入良

又云冷水ッ以がから口っウカイテ

八一四

時氣ノ鼻衂へ……三舛已上。"多、方。

實熱ノ衂血ブ

千金方言 ヲ等分ニ加テ末メ水ニタテ、

便少去

九

八

湖江

五四

千靈二分 桂心一分 大豆、セイ許。……中『窓入『藥"行

息肉了,……不聞治一千金云富次

律上云物曾此

加丁川瓜人

又鼻中、息肉、俗、是ヲ

効。取ルノミ又通草散

通草 酒熱ノ風冷・搏・也治之 細辛

右末メ梧丁大、丸ノ

ZU 濟生方。肺熱ノ

Ti 赤凛

心氣、主、處之風寒、則舌強、蹇

九

福田方補

五五五

八 九 治、……右水 恒痛力……後歷子。生力 ソノ膿血ッサクリ 右方病、刀、鋒 層黒 層皮黒ク 九 + 夜ニヤスクチラレス或へ牙根 疳鹽調 脱 澄・ナル ウツキ日 禁忌油契 酒醬 酸腊

ス二〇

久近一カ、ラス皆治之

Ξ 潔蜂房

五 燒齒法

因テ以、燕也

八二七

Ξ 也フサカリテ 痛。爲。喉脾,

79 賜砂一字 或ハアヤマテ硬ス事物ヲ

八二八

五. 吹樂人 如《紅色

八

八二九

閉纏喉風ノ者:、……積熱ノ喉痛

コシテ温一般

九 不該ノ胸中、入、己上不愈

四

乾葛 杰芍藥

八二

舛麻故 …… 壅毒"テロ舌"瘡ヲ生" 熱之則へ苦。從……者、熱生スル之 酸則、ト、マリト、コホル凝則、因燥

九

 $\pm i$

常一面"ヌテ

論云口是脾胃ノ主ル

唇須

ヲモ治。日三… スコシ是ヲノメ

1 6

--去、主五七歩立ノイテ領ラ

太三〇 ル 明候一セメ北テ

ワッラハシュ及肺塩ラ

スニーー カハケトモ水ぶ八以下館本左の如し

咳嗽シ……ツキハキ……フルイツキ

湯のは時や濁、沫ラハキ氣息イキスルニモ腺見 ナマクサクメ外ンケレハ膿ョルキ状チ米粥ノ如

八三三二 調器

クナルヲ治ス

ル 付へシ葛氏方

---針郷云傳云ハ以下館本左の文あり」

四ノ中ノ職ヲ思フ醫ニ命メ止、薬ヲ用テ是ヲ治 嘉祐ノ中二太傅程公アテ汗夏二件ス母ニハカニ

スへキ由ヲ云ケル問是ヲ用ヒラレス際博范九思 スヘシ針ヲ施ヲ是ヲ損スルヿ勿レト云諸藥皆針

> サトテ而歎ノ鍼病ヲ却ル功アリ 頭フテノサキニ酸シテ妄ソラコトニ樂ッ以テ點 求山九思大二笑テ若シ公力意二從シタカハ、心 二達セリ公九思ニ命ノ政サケノマシメテは、方ヲ チニ出テ漸ク領地が而差タリ公力云此神聖ノ妙 點ノ治之ト云テ藥到リシカハ則紫血頓出タチマ スト云テ其曜ヲ開サイテ而効アリト云公方テ省 ハ治ヲ施ホトコスファタハシ當日小針ヲ以テ事 ス命ラアヤマタン若シ公力意二從シタカハスン ト云物カ云未使いな中国以テ事ヲ付テ羅直ニ

八三三 家衛方云咽喉ノ双雖、及。單

九 設ラ去 禁口向ク 右沙馬ヲ胡桃

+ 又方同方"侯閉?治?

_ 鼻。中。吹入。

八三四

福田方補

八二八

木通 宽三次快子内思……又若少二二日,後

散。精思云……サキヒロケヨ又云

ロ、中一血出コト

蝶針法。用"是光切當……ソノ應

八三九

再'秘"、須由"服之又云…… 五香湯

八三五

弱ラトレ又四畔

大黄厂草湯

不可拾

香連慰湯,服ヘシ

寒。此皆多時

水二カハラケ入テー「煎」コシテ

大黄ヲ去へシ連劇湯……交量ノ合之

八三六

服スルフヲ止

又方甘草

一切了直面所看不成

八四〇

下日夜。敷度服多ヲ以テ……酒『愛

者へ酒ニテ服スレハ即死……不可服

叉云瘡口

館垣ニハ害ヲナスコト反テ基シ

+

盛ナル時ハ五香湯

八四二

服才熱毒……則灸、灸ノ數、必至多力

…… 亦冷薬

五八

壓污各三朱

八三七

外科精要云宜作"……後此湯"……相

九

五香連翹湯

八四一

静ト云物

生一分 右剉テ

+

道濟方

治丁瘡

間

沈香一朱

+ 九

若无、以一升麻、代之

		八四七			八四六			八四五				八四四			八四三
福	+	六	+	八	五.	+		-		+	八	-	九	π	-
福田方補	丁瘡八風邪毒氣,肌肉"入"由。	无苦	以"瘡"口"ヌル三日"傷"。	嗣伯湿テ	 1 1 1 1 1 1 1 1 1 	乾へ又易之當。消	ラハトヒテ	一錢ツ、蜜酒ニトヒテ服モシ 瘡ヒタ	シタラハ米ノ酷ラ	又打撲テ・・・傷及高所ョラチクシカ	五倍子	桥、上"生鹅等分	右末、新水膏子・ナシテ	等习付以事	拈 薄"叉當頭"大針サスヘシ即
	八		_						_						-1
	八五三		八五二			八五一			八五〇		八四九				八四八
	五三	九	八五二二	-}-	JL.	八五一			八五〇十	=	八四九		+	九	八四八一

不教罗致人

九

烙針 忍多煎の服スル良 叉云

產婦、喜 凡附骨疽トハ

入五四

凡ソノ人ノ財卒「熱リ無ノ……冷」由 ツキメノクカ如クニ……身ラハタラ カス……不得」是ヲ按"骨ニ

八五五

夜々骨ウツキトコカヘリ

寛丁作……針灸シコレヲ熨スヘシ 身躰ミノケタテテ

20

附骨ノ治ョ……学曲、疾・ 附城ノ差異

又云凡コレヲ治スルコト 元香……湯芦湯ヲ服メ下

八五六

又連翹尚ヲ服ス……外に小豆散

下へシ若多病人クハ

界ペトノ

÷ 七

勞,甚少……既蝕、八ツレハ後 外野ステニ慈悲少メ又利、積日一十

八五七

(左註) 壓,如三 ヒテス時宜被之

ミヘタリ……大黄一味

六

未是版

九 治 之良 取 、 腹血ノ淋漓

牡鹑 牡蠣一味。以

治法云 五瘿ヲハ……膿血ニ多

八五九 八五八

您ノノ外元ノ

八. 語で亦タヤスクサクリ……順之之

八六二 一學。キクメクリニ瘡ラナシ	+	九 時ニ汗川、又ソ・ロハラノ皮	七論五	六陽癰	五 輪、文テフレ	四 肉製コレヲツケョ	9 ×	八六一一 末ヶ宝三テ杏仁ノ大:食後、カヒ	十 然夢写字	三右綱。齊	11 住天衛星一枚五ヲ冼ァ	八六〇一 ヤメウックヘキャウナクメ	十 網の多 吸ハサハラカ或ハコハク	九治方
	八六近						八六四		八六三					_
四		+	七	五	Ξ	=		儿	八	+	七	六	五	Ξ
元祖	問ルニ年内、治ヤスシ四十月	意・ナーリス婦ハノ妬乳	大費、加える	可下之當"血	熱。胃、口	5中ご云野ノ								冷證

福田方補

六二

八 傳ぐシホメカハ即……引へカラス 生産自然ノ

八六六 一 又産經云……右ノ乳ラシホリ 右末メ温タル……下時ヲ ハレコハテ石が加ナルヲ

人多ク針灸ヲ用……若至極ウミ ステョ……乳シホレ吹烟者

吹如不赤不痛……非未等,付

八六七 腫テコトナラス……但ヨキ刀ヲ以テ

70 但急ニハレテ色赤

風結 隆中、……黃蓮黃藍各三分胡粉一分 雅直思阿等……虚宏損人なる 諸ノ核腫……竹歴ヲ

右末メカサー付

八

八六八

七

八六九

-以納共

又黄蘗ヲコク煎ノ管

「ツケョの下、館木左の文あり」

又妬精搶者選欲ノ人ノ疾ム病ナリト云也避欲ト ハ他人ノ交接シタル女人ヲ犯ニ依テ鑑精相合デ

起ル病也

八六九 四

便毒……男女大慾ニュ……不能

セニカサハ是……相搏

アシモ、ハレテ瘡ヲ……下部カユキ

八七〇

平門散ブ水ニトヒテ

九

薄秀ノ糊、如ク

又局方指南云

風瘡ト……ウミホヤクシ濕爛

風熱ナスへ酢漿草……又水声ッ

 π

節ノ下。……玉門ノ……ナシテ食入

入七四 一 治丹方水。以和メヌレ		六 此ョ以ョカハリメトスへシ	ルフナシ白癬	四 毛髪髪を皆白、ナリテ髪ハヲツ	一右同少ョ傳『仍茄子ョ切テ薬	八七三 一 靈傷硫黄白礬白獸粉	九 如ナルヲ取又千金方云錢銀	八 歌竹中水,馬,夕ソ	七 〔同〕柏脂。合、ヌレー宿。	六(同)白蜜ニ和ノ傳	五 (右註) 凡柳,葉ヲ	八七二 四 得ッレハ快シ六七度	古 右等分末ノトヒテヌレ日一と
八七六				ッ		八七五							
- 1	八	六	Ξ	=		_	古	+	+	九	七	Ξ	=
薀積天生ャイ・クサキ者へ治ッカタ	論云孤臭ト者人ノ腋ノ下狐※哩*	(左註)塩 右コレヲヒ、ノ上。ヌテ	アツクユテ又変ノ葉	數十過七日	スミヲ	右又ヨキ割去ス、リ	間"肉子完一 驚隆香 硫黃	イユー又蔓菁根	シャタカヘラカメユニテアラへ:乃出い襲て	蕎麦醋『トヒテヌレ極効アリ	洞鷹ナク用。 …サイカク	赤小豆尤良水藻	カハカハ又ヌレ

福田方補

六四

八八八一

石灰っ人 存合 ツッテナ所ラ 五日薤、葉ラ以、…、内『ソタラト

-1-

八七九 卷第十一 五 29 卒金瘡 竹葉一斤桃白皮华斤 衣ヲ汚是へ 洞腋'者……手"掌 下、ヌレ根本タツ……良秘、ヘシ 青木香……右末,常一付……研" シ……者、治易 卒傷折

八八八二 --止血 血产比 咒作……今日不良為某 又云甲前草ヲ前ヲ洗。

7 IE

同の研ックル大デス 交流道ノ不感 青丹一が 五倍子 有一、血獨名 又云躩奇方云……斧"斫 ホシカタメテオヒテ

M.

ラシックレハ即止 論云 凡"金瘡"……當"コレヲ

Ŧi

腸出行……易上……白皮 戦で以 " 渇ッ 止へシ 慣っ

禁忌 資怒 言笑 思想

取ラ糸ニメ腹ノ皮ラ

1/2 八 七 -2

匹

八八〇

卒得金箔 万病惣治

九

傷災

急疾

一云血ヲ出『不斷ノ

カ 外貼 蓮葉一斤洋アラテ 脉沈小な者へ生ク

玉

差後。ナヲ禁。百日半年

吞然即血動が……人デコロス

=

H 四 下漸加力 内服…莆色。放レ……白芍薬

瘀血ノ内「アル……立"下。文云金

八八四

 $\overline{\mathcal{H}}$ 卒被傷折 弱素……腹脹

(右註末) 或へ 除年大大人者

血ョッキ血、下ノ不止或ハタマリ

ハレフクレアヘキシイキタハシキヲ

JL

治ス…… 右等分。末メ

(左註末) 呼ョヒコチサケヒ

毎服二銭温酒 タテ、下時ヲ

八八五

福田为補

Fi

ヲヒタ、シクハ痛ウツカス

聞へカラス服之使艇ル 其膝ノ 皮ノ肉シ、次サッラレテ骨。目アラハレ テ即絶死メ小シハラクアテ蘇ヨミカヘル啼コト --絶死る二八此處館本左の文なり」

八八六 走行了表……又干金翼方云

H 血ョハク

jL 右同拌和。研

-1-八能勢散……能 ヒルツクレバ六七日二愈硫黄ト柱ト

八八七 スチ脈、和 ……又云縣葡萄

足っ打折ッ點銅末ヲ取リ酒ニ和ノ服セサセテ澄 熟頭八不堪用 朝野食歐云 九 Ti 【右註末】右是ラムシテ 熟鍋ハタへス用ヨ「館本左の如し」 提務カ馬ヨリ除テ

愈ッ後十年二改葬シツ其骨ノ折タリシ處ヲミレ

八銅末アテ東之

ョ大豆也 聚血 り去へシ大豆ト格膏トヲ存合テ血ノ上ニ途レ燈 カハカハ又易之。又竊葉ヲ以テ殿ノセ亦汁ヲ付 凡血聚テ折タル上。アラハ刀ヲ以テ是ラ破

八八七 八八八八 + 折タル上 ……竹木ラリ……一日一 筋断骨折……石タラトツイテ

クヒツメテ人致。若已

生 ョ酒"一錢"服死相云血匠"不止……

四陂

八八八儿 冷ルハ皆死

八九〇 卒凍死 一日……不可治。灰ヲ

四 即活ヘシ又ソノ心

物・ノホテ

九 ソノ頭……其身ヲタキアケテ

細亞

古 吹氣,通也又

八九一 カメヨミカヘラハカミヤムヘシ

卒歴死……事勿レ

月經ノ……又雄黄……人"クラウ

八九二 白優蚕ヲ末メ馬ノ

爲テ絹ノ袋ニ盛ニ臂ノ上ニ緊ヨ男、左女八右 腫心消心又受職利方二八乾姜ヲ加コト等分末と 八 シル流 疼止「此下館本左の文あり」

10二十摺合テ毒地/咬タル所ニ傳之依有驗社之 ラハ博場梅皮 她ノ薬ノ気がヲ聞っとテ人ヲ避よ云へリ若シ強をシな 水銀 流黄 右各等分細末メ續

水銀ナクハ輕粉ヲ用ヨ

原方云 又她骨ノ人ヲ整ニモ此等ノ方ヲ用ヨ内服方 右未ッ酒ニ調テ限ヨ又水調なテ南ヨ 虵毒ノ心ヲ攻テ死トスル者ヲ治方 究

六六

取テ温タル酒ニ和テ服ヨ又落カスラ以テ原ク電ホ 名消毒散 又方着耳 ち歌葉ラー握 研テ汁ラ

地に焼きない地ノ焼で人力

ノ毒ニモ良

勝金方二世タリ

又蜂ノ盤ヲ治ス又沙虱引工

Fi (左計) 塩皆 蚯蚓

八九四 娛虾清

新公園 此以へ沙ラ

黒ク大い骨

+ 九 門者、皆證野沙北之 東城雄黄円 直指方…… 山地ノ

八九五 福言治之 雄黃 ヨトヒモ梧桐……南无郷上花七辺 白莲等分……黄帽

生 李周弱意……清清…… 陸心器

澤田方補

八九六

消セス 地脈トオカタクフミ

庭ノ土ヲ

PU 圧サラ 人トカキカテ

頭垢何 "モ……魚肉等/…:肝"

生 五、皆選がない 茶中墨諸葉,中毒、莫根……死去之

八九七

豆分

又類初七良又料籍习得了八カリ石之又編二合テ (水・服の下、館本左の文気り)

シハフリ風セ又貫中ラ前含散

-L 茶手 関連 服.

八九八 石灰杏仁大碗買

調行とい

Do

六七

九 誤香石。葵ヲ煎ノ.....梳、髮、、灰っ 万病松治門

八九九九 千金論云聖人ノ……濟ハ博。

凡ソ人家

儿

辟鬼丸

不能……常」閱少……不及。……百一

備急丸

五種/顯病上

九00

樂方上並「毒地蜂鳩……帶」身 隨へ

不差五種下利上

冷熱。……飲っ積モフリヤセカレ力無 身体ハレ「此下館本左の文あり」

飲食スレハ幅道シ腰脚酸漿シヒレテイダク四肢 沈重タルクラモク人の行アルキ人の立コト不能 婦人ノ産ニ因テ冷ヒへ子蔵ニ入り職中不浴サハ

> 冷灘テ田流タリ田テ盡ス時々疼痛テ思ラ作シ或 ヤカナラス成閉塞トチトマリテ不通胸中ノ瘀血

此二因テ斯産トマ 1]

当

見、赤白ないるヒリワキノカ

耳ツフレ

九〇一 服万病悉の除イユ 鼻塞……此藥

當皈

+ 千金云被除日一平旦

1 止之七日製色ペアリ「以下館本左の

生冷 文あり 酢滑

陳臭 服メハ二日補。之 鹽內 白酒 行房 粘食 七日ノ外へ始得ヨシ一日 大蘇 猪肉 牛馬

シ三四項スル大二良亦全ク飽コト勿レ産婦へ勿 新米上華上骨汁可食可得回美粥八點可作以飲食

义催氏方二八黄芩 桑白 私云右藥服方 冯便多下雖下平略之若要用之 精神ラ人

時二臨テハ和剛方ヲ引檢ヘシ

义云或酒成へ米飲ヲ以テ下利動ノ後ニハ栗粥 ヲ以テ自補へ忌毒如前 紫檀香忌火

inj 茜松 ル〇二三

○皆畧への下に館本左の文あり」

小魔論 ト省の子へ如直二似テ皮白シラケテ黄ナラハ亦 モ石榴ト別無之 又云子薩ラハーニハ山石榴皮 八小厦下省ク义云子慶、刺多キ小橋ナリ小魔二 小魔一二八山石榴ト名の其不八枝モ薬

私云 是ハ常ノキハタニアラス或人云皮ウス

麗田方舗

アラスト云へリ

ル者ナリ、或人云メギ是也 ソコニ黄ナル皮ウスクメ常ノキワタニアラサ

キキワタ也ト今家二皮白シラケテアラ皮多ク

紫檀香論 本草云……(下路す)

溫白円 · E函方 佛說阿伽佗

不容量索……「下略す」

100 杯院ノルク黄疸宿食

上氣テ時々……八下……カタマリ

+ 茯苓

+ 厚朴

九〇四 蜜。以、……桐子、大。円テ

常暇及雕急譯般疾息……熟水 食後臨臥

病寒……風者……塩潤草下 如》傷寒 腹痛 酒食所、傷

九〇五

又大病。温"ヲ番ナシ	ハキツキコ、チアシク門隔
九八九	九〇八
領病ヲ治スル名郷之	マ本事方ニハ人参ヲ加テ干藍円ト

九一〇 -6 煎物」タテ、食前」

九〇六

==

柔米,大ラ

+ 八

六

杏仁七十粒

銀器ニテモ石ナへ…・火ノ上。

スヘテ黄鰹……トロくトトヒテ新

カラハスッヘシ又次、アクナキ好な酒

九 一 士 産牛子炒一兩頭末ットリテ用 二物湯 直指方云……疝氣,サシコミ

Fi 電ニテ吾同子大。丸七十円

九一二 __ 一枚サチヲ去 道濟方式二枚上

八

久近……膿ラナシ未膿ラセサル

鲍虎妈大汤火刀斧

カ

=

九〇七

蓝

赤芍婆……玄參 ヲシヒロケテ……水ヲ以、服 白芷 . 桂心

生

九一三 ± 柳ヲ打キセテメクリ

世 ユルクスレハ油ナマテリ……ヌメク 二十ラハテカケテ……火、消ル之

九四四

リテツカヌへ

又云下後腹痛八

十分『ヒトシクト、ノヘテ

=

アハスルニハ……秋多……半ヲ以

朝ノ四ノ上……又春夏コシラへ

アマダ、ヒワカメトリアケテ冷テ

シツル鱧が入、麦テトロくト成ノ

一兩……人。前口

151 方光氣 奔豚氣

習頭 脚岸等

七〇

九一九					九一八					九一六				
	-1-	-4-	八	=		-}*	士	六		_	+	+	Ξ	=
店而損者 加鐘氣	虚 加熱者 加黄芩天門多	康而谷老	患而多粉袪者	「左計」虚ヨリ起レリ	瓣說門	極合。ヘシ藻ノ分量へ油ラ	入ラヨク〈マリテ水黄丹ラ	脚気ノ腫	カタクハス重而チリ	胡馬油	乳香膏傷折	萬金膏和劑方。出,	ヲカスマハスヘシ	ヘラニテ手ヲ
-														
		九二三					九二二				九二		九二〇	
=		九二三	九	六	四	=	九二二	七	六	Ξ	九二一	+	九二〇二	+
	1 唐而損者	二 鷹加製洛	土 廬伽教者	一	二 〔左註〕處司	一	一 嫌説門 一 嫌説門 一 嫌説門 八 た託ご康ヨコ た 虚 而 多 粉 表 本 虚 信 熱 著 本 虚 信 熱 著	大・ヨク〈・チリテ・・・・・水・・ 「一 雑説門 「一 本説に「本学/テ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大	カタクハ久重而モリ 大、	一 胡鵬/油。 カタクハ久重而モリ 大 脚氣ノ腫 大 脚氣ノ腫 大 がヨク 〈 モリテ水… 基 極合《ヘシ薬ノ分量へ油。 一 嫌説門 二 C左託J虚ヨリ起レリ 、 虚而多者 虚而多者 虚而多者 虚而多者 虚而多者		十 萬金青 和翔方、出,	

桂心忌 生葱

茯苓忌

細辛忌 生薬 华高高精二日

繁甲忌 枯砂黄連

九二四

Ξ 巴豆

20 牡丹 黄精

朱砂冷青………厚朴……一五加皮

九

服藥通禁

九二五

生冷 油腻……石榴……魚膾

服臊

一刀圭省

八

方寸匕者ヒカイヲ作ペコト正方

銭五ヒ若今五銖、銭ノ漫五字

每服四錢者

薬升、分量上ワタリハー寸

八 細縣大者胡屬、大也胡豆大者唯二二大 丸藥勢分

九二七

小豆大洛

巴豆枚六 爽枚數

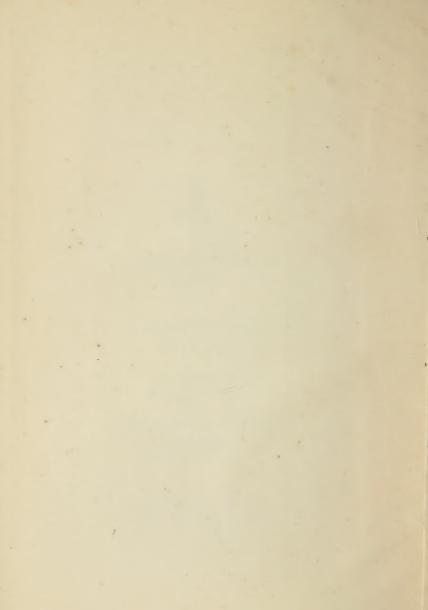
四

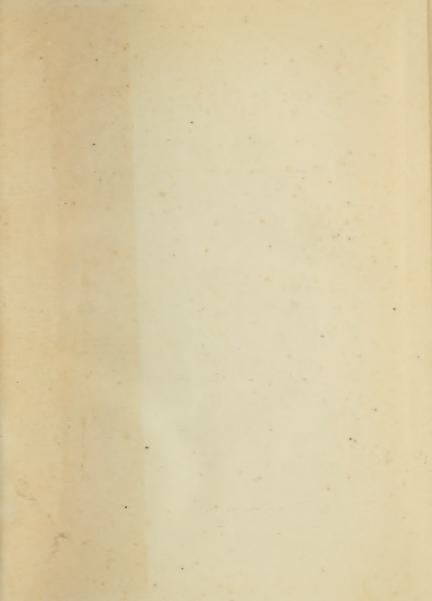
卷第十二 〇〇館本映卷なり今補はずり

福田方補塡終











UNIVERSITY OF TORONTO LIBRARY

WILLIAM H. DONNER COLLECTION

purchased from a gift by

THE DONNER CANADIAN FOUNDATION

